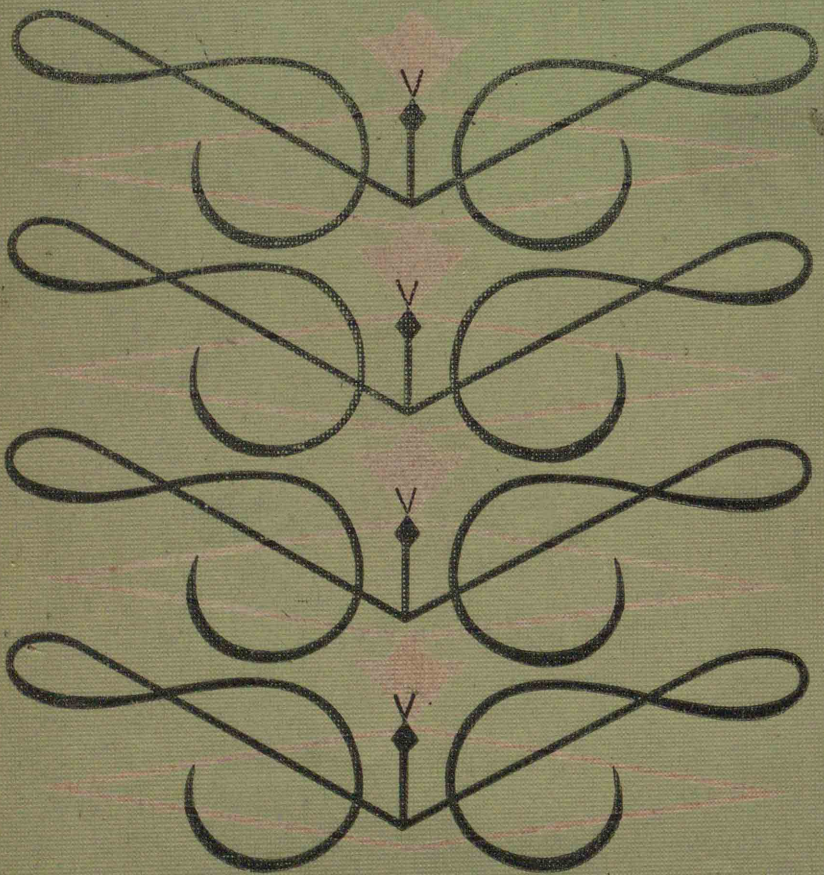
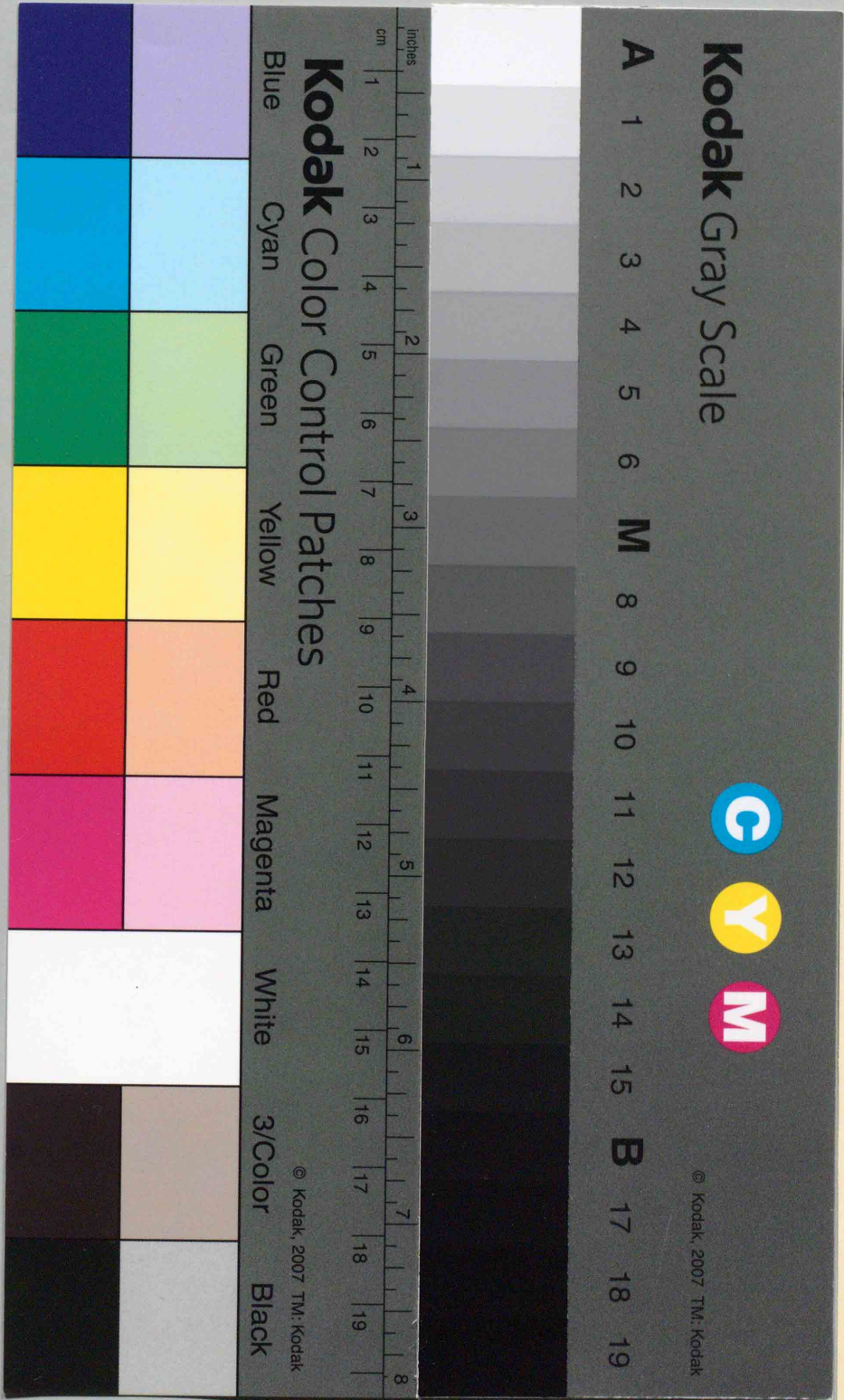


新最 說概理地子女

授教學大科商京東 · 師講學大國帝京東
著 弘 藤 佐



教
4
200



42876
教科書文庫

4
290
42-1943
20000 80144

20
19



資料室
濟定檢省部文
用科理地校學女等高 日七月八年八十和昭

教科書文庫
4
290
42-1943
2000080144

46
290
BB18



最新 說概理地子女

授教學大科商京東・師範學大國帝京東

著 弘 藤 佐



広島大学図書
2000080144


南洋地名の訂正 (昭和一八年五月)

大東亞戦争の勃發に伴ひ、南洋の地名中訂正せられしもの左の如し。

新

舊

新

舊

マライ

マレー

昭南島

シンガポール島

昭南市

シンガポール市

ジャワ島

ジャヴァ島

ジャカルタ

バタヴィヤ

南ボルネオ

蘭領ボルネオ

北ボルネオ

英領ボルネオ

序

本書は高等女學校並にこれと同程度學校用地理教科書として編纂したもので、曩に公刊した最新女子日本地理及び最新女子外國地理と合して一全體をなすものである。編纂に際して、著者は著者自身の立場から最近地理學界に於て注目されて來た地人交互作用の原理の成果を幾分なりとも取入れ、以て地理教育の革新を促したいとの念願を以てしたことはいふまでもないが、別して左の諸項について特に十分留意した。

一、文部省の新教授要目に準據したこと。高等女學校の教科書は内容形態共に文部省の教授要目に準據するのが適當であつて、獨自行な取扱ひは教授者諸賢の裁量に倚藉すべきものであると信ずるので、本書に於てはなるべくこの方針に従つた。殊に今回の文部省の新教授要目は從來の地理學通論のやうに自然地理人文地理

に兩分する二元論的立場を採用せず、地球から始つて産業交通に至る一元論的立場を採用し、著者の日頃抱く地理學觀と一致するので、著者はこの新教授要目に忠實に準據しつゝ、編纂した。

二、説明的な叙述方法を採り、單なる記述を避けたこと。在來の地理教科書は事實の記載に専念する餘り、往々形式的・抽象的に流れ、爲に簡に失し急所を逸してゐる憾みがあつた。これに對して最近眞に科學的な説明が重視されて來たことはまことに喜ばしい傾向である。著者は、中等教育に於ける地理教授は、先づこの方面から開拓すべきであると信じ、出來るだけこの方針に従つた。かくして、自然を述べる際にも必ず人文との關係を説き、また人文を述べる際にもその自然的基礎に及びつゝ、而もその間に交互作用の原理そのものが理解出來るやうに努めた。

三、科學的な見地に立つて公正・穩健な内容を盛つたこと。高等女學校用の地理教科書は地理教育の實踐的目的のために科學的な地理學から多少離れることは熄むを得ないが、さればといつて餘りにこれから離れて非科學的であつてはならぬ。著者は地理教育の實踐的目的を脱しない範圍で徹頭徹尾科學的に説明を進め、公正・穩健な内容を盛るやうにした。

四、女子教育の本旨に鑑み、殊に人文地理を重んじたこと。高等女學校に於ける地理教育は地理學者を養成することよりも、他日國家の公民たる生徒の一般的教養に資すべき實踐的知識を會得せしめることを主眼とすべきである。著者はこの觀點から人文地理に重きを置き、在來の類書には見られない新知識までも取入れて述べた。幸に文部省の新教授要目も人文に重きを置くことになつてゐるから、本書は分量的にも人文に重きを置き、一貫して人文地理を基調として論述した。

五、地理教育上價值ある寫眞及び地圖を豊富に採つたこと。俗目を惹くやうな珍奇・華麗なものが必ずしも地理教育に效果的である

とは限らない。著者はこの點に潛心し、眞に本質的に價值あるもののみを蒐め、最近の撮影に係る寫眞は固より、挿繪・地圖類を多數に挿入し、一は直觀教育に資し、一は生徒をして學習の興味を惹起させるやうにした。

六、行文を平易ならしめたこと。難解な地理學上の用語の濫用はなるべくこれを避け、且つ文章を簡明平易にし、生徒をして辭句の爲に無用の負擔を強ひられることのないやうにした。

要するに本書は全卷を通じて、地理學習者として是非必要な知識のエッセンスを會得せしめるやうにしたつもりである。幸に教授者諸賢が多年の經驗に基づいて適當にこれを敷衍講說せられ、尙本書の内容その他に關し叱正を賜はらんことを切望する。

昭和十五年十二月

著者識す

序 4

最新女子地理概説

目次

第一章 地球	1
第一節 宇宙及び太陽系	1
第二節 地球	4
第二章 陸地	3
第一節 陸地の變動	4
一 土地の昇降	5
二 火山作用	6
三 地震	3
四 水の作用	5
五 大氣の作用	8
六 生物の作用	3

1 次 目

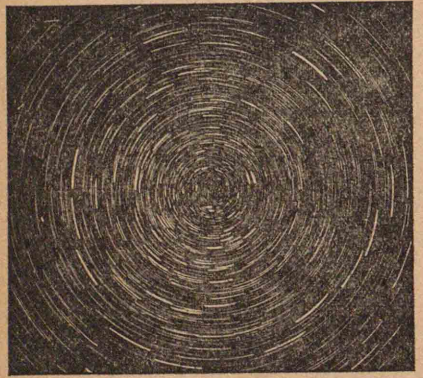
第二節	地形	三
第三章	海洋・湖沼	四
第四章	氣候	四
第五章	住民附聚落	五
第六章	産業	六
第一節	農業	六
第二節	漁業	七
第三節	鑛業	七
第四節	工業	八
第五節	商業	九
第七章	交通	九
第八章	政治	一〇
附録	地圖の描き方と読み方	一

最新女子地理概説

第一章 地球

第一節 宇宙及び太陽系

〔宇宙〕 晴夜天空を仰ぎ見れば無数の星が輝き、概ね東から西に動き、天極の周囲を廻轉するやうに見える。これらの星は恆星・遊星衛星に分けられる。恆星は相互の位置を變じない星で、自ら光を放ち、且つその多くは群をなして星座を作る。太陽・北極星等は恆星である。遊星は惑星とも稱し、太陽の周囲を運行する。地球は遊星の一である。衛星は遊星に附屬してその周囲を運行する。月は地球の衛星である。恆星の数は非常に多く、望



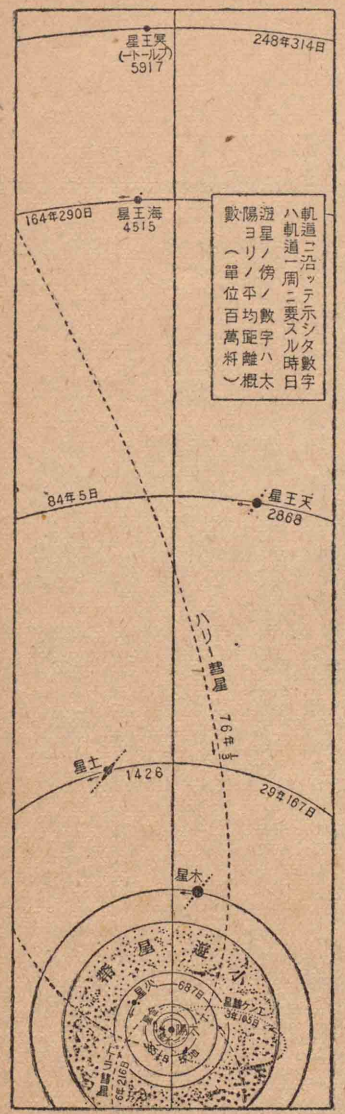
1 …… 系陽及び宇宙 ……

星の運行
晴夜北天に向
ひ長時間寫眞
機の種板を露
出して諸星の
視動を寫した
ものである。



宇宙間の距離を計る尺度に光年といふのがあつた。これは光線が一年間に通過する距離を単位としたもので、太陽以外の恒星中地球に最も近いものでも四・四光年の處にある。

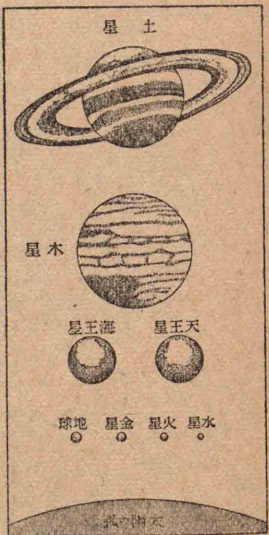
太陽系に属する諸天體



太陽の周囲には水星金星地球火星木星土星天王星海王星冥王星の九大遊星があり、又火星と木星との間には一千餘の小遊星がある。遊星

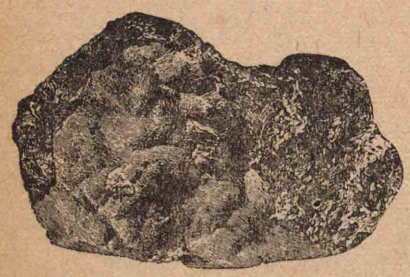
(右) 各遊星の大小比較
(左) 隕石

は概ね一箇又は數箇の衛星を伴ふ。これらの遊星と衛星とは殆ど同一の平面上にあつて、同一の方向に向ひ、一定の軌道を通つて太陽の周囲を回轉する。太陽を中心としたこれら一群の星を太陽系と稱する。尙太陽系には若干の彗星がある。



彗星の軌道は區々としてゐる。

太陽系	水星	金星	地球	火星	小遊星	木星	土星	天王星	海王星	冥王星
直徑比(地球を1として)	0.38	0.96	1.00	0.53	1.1	11.2	9.5	4.3	4.1	0.2
太陽よりの距離(地球・太陽間を1として)	0.4	0.7	1.0	1.5	2.7	5.2	9.5	19.2	30.1	39.4
比重(水を1として)	5.5	5.2	5.5	3.9	1.3	1.3	0.7	1.2	1.3	1.3
地球にての重量	0.4	0.8	1.0	0.4	0.3	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2
衛星數	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0

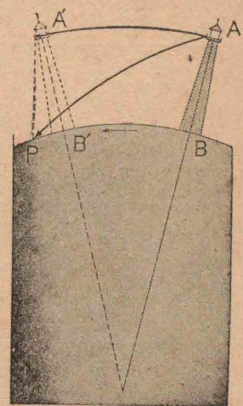


〔流星〕天體の小片が地球に近づき大氣と摩擦して灼熱せられ光を發する時これを流星と稱しそれが地表に墜下したものを隕石隕鐵といふ。

(上右) 落體の東偏
A 點の回轉速
度は B 點のそ
れよりも大で
あるから、A
點から落した
物體は B に落
ちず B' P だ
け東偏して P
點に落ちる。

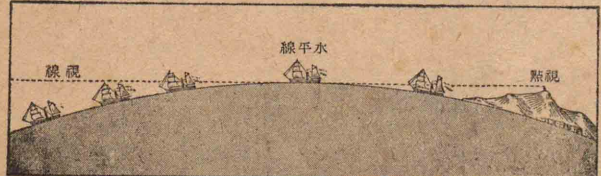
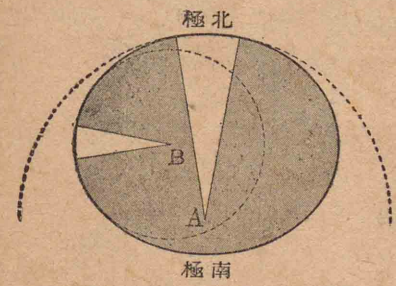
(上左) 地球の橢圓
體である證
A・B はそれ
ぞれ極地と赤
道附近にある
二點から赤
道の垂線から
角を等しくす
るために、極
地の弧を極
大の弧にせ
ねばならぬ。

(下左) 地球の球體
である證據



〔地球〕 地球は太陽系に屬する一つの遊星で、西から東に自轉しつ
つ太陽の周圍を公轉する。自轉には約二
十四時間、公轉には約三百六十五日四分の
一を要する。而して公轉の軌
道は圓に近い橢圓形で、太陽は
常にその一方の焦點を占めてゐる。地球の軌道上太陽
に最も近い點を近日點と稱し、最も遠い
點を遠日點と呼ぶ。

〔地球の形狀〕 かつて無限に擴がつて
ゐる平面であると考へられてゐたこと
もあるが、その後、地球は一箇の球體で、且
つその回轉によつて生ずる遠心力のた
めに南北に稍扁平な橢圓體であること



- 地球が自轉する證據
- 一、高所から落した物體が東偏すること
 - 二、貿易風が北東又は南東から吹くこと
 - 三、北極星を中心として天體が左轉すること
- 地球が球體である證據
- 一、海上・平野に於ける視界が圓く、且つ觀察點が高まるにつれて視界が擴大すること
 - 二、港に近づく船は最初橋頭が見え、次第に船舷が認められるやうになること
 - 三、月食の時地球の陰影が圓形をなすこと
 - 四、世界を周航することの出来ること

が明らかになつた。従つて地球上の重力は兩極に近づくにつれて赤道地方よりも増加する。

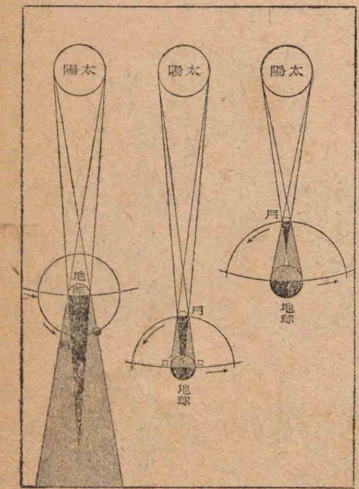
〔地球の構造〕 地球の外側は大氣の層で蔽はれ、表面には水の層がある。地球の比重は五・五二五で、地球の外殻をなす地殻を構成する各種岩石の平均比重二・八よりも著しく重く、これによつて地球の内部は重い物質から成ることがわかる。

日食と月食

左、月食
中、日食
右、中の場合より、地球から遠ざかり、その圓錐影が地球に達しないとき、その附近に環食を見る。

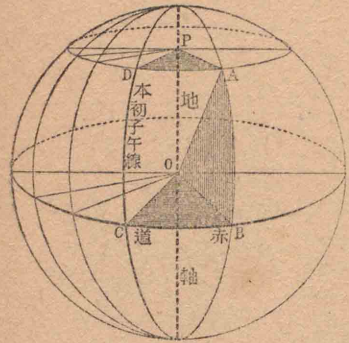
〔月〕 地球の衛星で、地球を中心として自轉しつゝ、公轉する。その自轉と公轉との周期は共に二十七日餘で、常に同じ面を地球に向ける。月には空氣も水もないが、その半面は太陽の地球に對する位置によつて朔(新)望(満)上弦下弦等の現象を生ずる。

〔月食・日食〕 月は地球の周圍を公轉

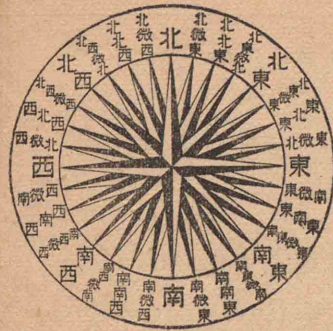
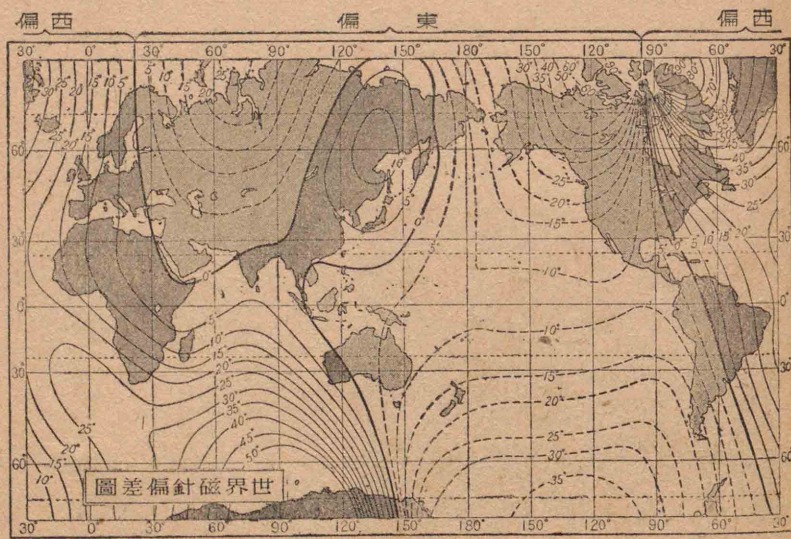


(上)
 經緯度と經緯線
 AOB角はA
 點の緯度、B
 OC角及びA
 PD角は經度
 である。

地球磁石の北極
 西經九十七度四
 十分
 北緯七十度三十
 分
 (カナダの北部
 プリンツヤ半島の
 西方)
 地球磁石の南極
 東經百五十五度
 十六分
 南緯七十二度二
 十五分
 (南極洲のウイ
 トリヤランド)



「緯度と經度」地球の表面上の位
 置は緯線と經線との交點によつて
 定める。緯線は地軸に直交する大
 圈たる赤道に平行な地表上の線で、
 經線は兩極を
 通過する地表
 上の大圈で、と
 もに緯度、經度
 を以て表され
 る。緯度は赤道と緯線とが地軸に於て交はる



(上左)
 方位とその呼
 び方

日食には別に金環
 食がある。

(下右)
 皆既食と部分
 食の出来る理

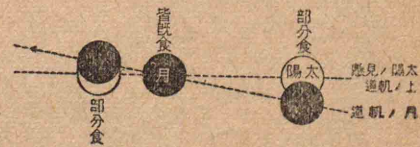
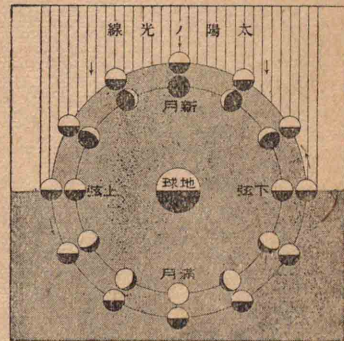
(上右)
 月の盈虧

しつゝ、太陽の周圍を回轉するので、太
 陽、地球、月の位置によつて月が地球の
 影に入り、又地球が月の影に入ること
 がある。前者を月食、後者を日食とい
 ひ、共に部分食と皆既食とがある。皆
 既食の際には平常は見ることの出来
 ない白光・紅焰を太陽の周圍に見ることが出来る。

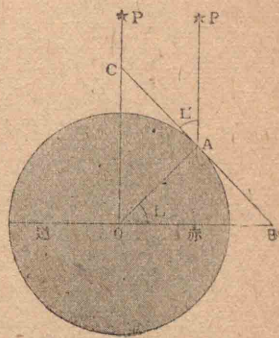
「方位」

地平線上、北極星の直下に當る方位を北とし、これに反する
 方位を南とし、又南北線に直交する直線によつて東西の方位
 を定める。又北もしくは南から數へて北何度東とか、南何度
 西とかいふこともある。方位は晝は太陽、夜は北極星の位置
 によつて知ることが出来るが、普通磁針を用ひて定める。

「地磁氣」磁針は常に眞の南北を指さないで、多少東西に偏倚する。これは
 地球自身が一の磁石であつて、その兩極が地軸の兩端に存在してゐないから



(上) 緯度と北極星の高度
 L 角(北極星の高度)と L 角(A點の緯度)とは相等しい。



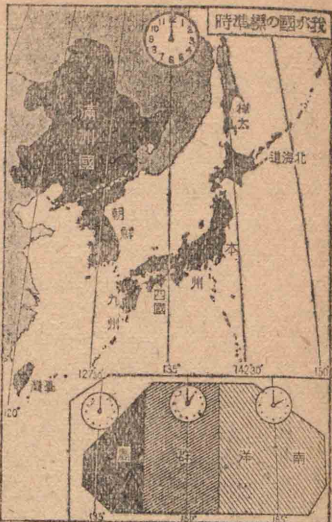
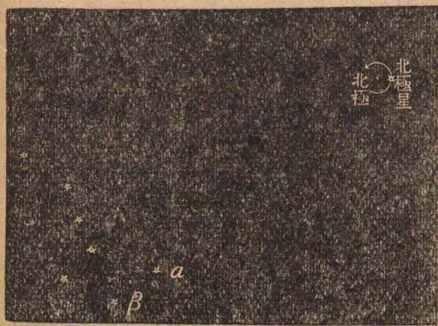
角度で、南北各九〇度に及ぶ。經度とは經線と經線とが地軸に於て交はる角度で、イギリスのグリニッチ天文臺を通る經線を基準として東西各一八〇度に及ぶ。

或地點の經度を測定するには、その地點の地方時と既に經度の分つてゐる地點の地方時との時差を測ればよい。地球の自轉は約二十四時間であるので、經度十五度を隔てた地點の地方時には一時間の時差があるからである。

(下) 北極星と大熊星

大熊星の β を連ねる線を延長すれば α 間の長さの約五倍の處に北極星を發見することが出来る。

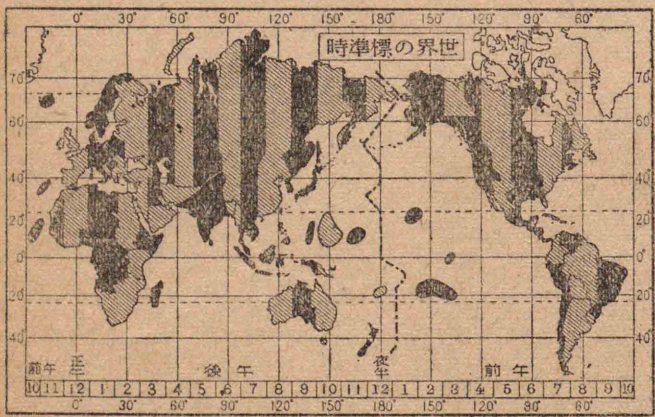
〔標準時〕 地球は約二十四時間で太陽に對して一自轉するので、經度十五度毎に一時間の時差を生じ、又經度が僅かでも違へば地方時がそれだけ違ふわけである。或地點の地方時の正午とはその地に於ける太陽南中の時刻である。

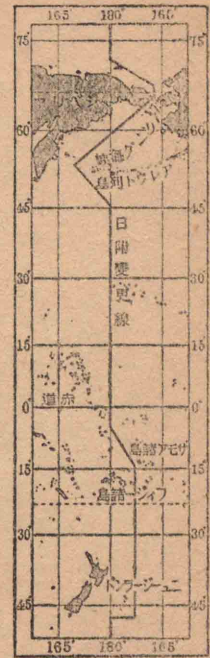


この地方時が各地で區々になつてゐては交通通信の他人事百般に不便であるから、或地域内の各地では、便宜上その地域内の或地點の地方時を一般に採用してゐる。かゝる地方時を標準時と稱する。

我が國の標準時は東經一三五度により、これが南洋群島を除いた全土に用ひられてゐる。南洋群島には東經一三五度一五〇度及び一六五度の三標準時がある。なほ滿洲國の標準時は我が國の標準時と同じである。

〔日附變更線〕 太陽は東から西に進むので、地方時は西に進むにつれて遅れる。従つて西に向ふ旅行者は經度十五度を進む毎に時計を一時間づつ遅らせることにな



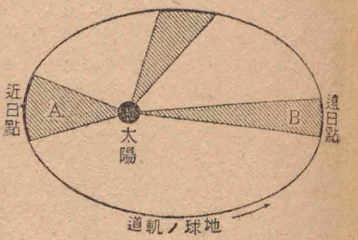
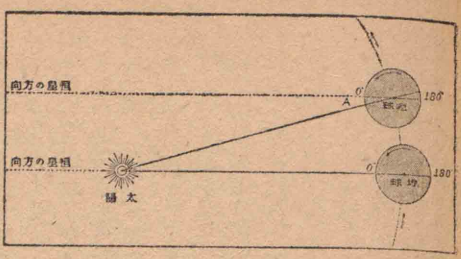


り、三百六十度を進めば二十四時間遶らせ、日数が一日少くなることになる。又反対に東に進んで地球を一周すると日数が一日多くなるのである。つまり、その間に一日の差が生ずるわけである。この差を除くために太平洋中に日附變更線を設け、この線を東に越せば同じ日時を繰返し、西に越せば一日を省くことにしてゐる。

日附變更線は地球上で某日の午前零時が最初に始まる地点である。グリニッチの正午を過ぎた次の瞬間には日附變更線の西方では翌日の午前零時が始つてゐるが、その東方では同日の午前零時であつて、この間完全に一日の差がある。例へば西行して某日の午後十時にこの線を越せば、その次の瞬間には翌日の午後十時となり、又東行して某日の午後十時にこの線を越せばその瞬間に前日の午後十時となるのであるが、これでは不便であるから、その日はそのまゝとして置き、その日の午後十二時を越す際に一日を省くか又は同一日附を繰り返すのである。

日附變更線
日附變更線は大體に於て經度百八十度の午線を用ひる。併し島嶼のある處は便宜上東又は西に偏倚してこれを避ける。

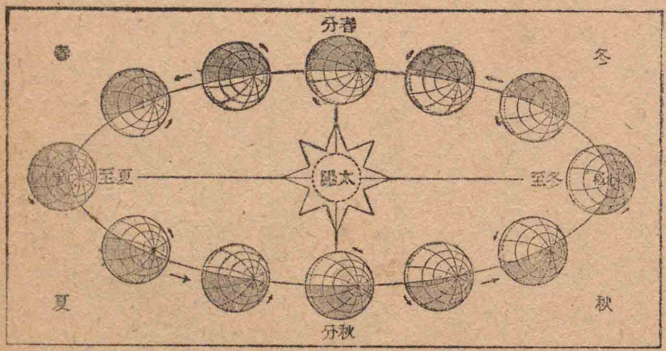
(上頁次)
太陽日と恆星日とが異なる理



〔平均太陽日〕 地球の一自轉に要する時間を恆星日といふ。恆星

日は或地點に恆星が南中してから南中するまでの時間である。然るに地球は自轉しつつ公轉するので、太陽が或地點に南中してから南中するまでの時間は自轉に要する時間よりも長く、これを眞太陽日と稱する。地球の公轉速度は軌道上の位置によつて異なるので、眞太陽日の長さは一一定せず、近日點で最も早く、遠日點で最も遅いので、これを平均して二十四時間としたものが平均太陽日である。

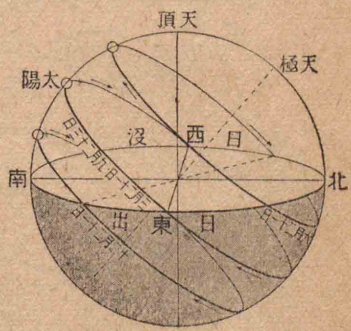
〔四季の變化〕 地球が一公轉に要する時間を一年と稱する。地軸は地球公轉の軌道に凡そ六十六度半の角度を保ち、しかも公轉中地軸の方面を變へないので、赤道以外の地方では晝夜



(中) 地球の公轉軌道
同時にAとBとが等面積になるやうに公轉するから近日點に於ける速度は遠日點に於ける速度よりも大である。

(下) 四季の循環

の長短、四季の變化が生ずる。即ち地球が春分
點・秋分點にある時は地球上到る處で晝夜の長
さが等しく、北半球の春秋、南半球の秋春となる。
夏至には太陽が北回歸線上を直射するので、北
半球では夏で、高緯度になるほど晝が長く、北極
圏内では日没を見ないが、南半球では冬で、高緯



…… 球 地 …… 12

一般に用ひられる上層の語

春分	太陽が赤道を直射し各地の晝夜平分(三月二十一日頃)
秋分	同 (九月二十三日頃)
夏至	北半球では晝が最長、夜が最短(六月二十一日頃)
冬至	北半球では晝が最短、夜が最長(十二月二十三日頃)
立春	冬至と春分との間(二月五日頃)
立夏	春分と夏至との間(五月七日頃)
立秋	夏至と秋分との間(八月九日頃)
立冬	秋分と冬至との間(十一月八日頃)
節分	立春の前日
彼岸	春分・秋分を中心とした前後の三日宛即ち七日間をいふ
入梅	六月十二日頃で之から凡そ二十三日の間は霖雨が多い
土用	四季の後期五分の一(夏季の土用のみを特に汎稱する)

八十八夜・二百十日・二百二十日 いづれも立春から數へた日數

度になるほど夜が長く、南極圏内では太陽を見ない。冬至には太陽が南回歸線上を直射し、これと反對の現象が生ずる。かくの如く晝夜の變化は人類に活動と休養とを與へ、又生活に規則性を與へる。又四季の變化は人類の活動を刺戟する。〔曆〕主に季節の次第を示すために作られ、太陰曆と太陽曆とがある。太陰曆

太陰曆では朔望月を一箇月とし十二朔望月を一箇年とする。それ故その一年の日數は太陽曆に比して十一日少い。

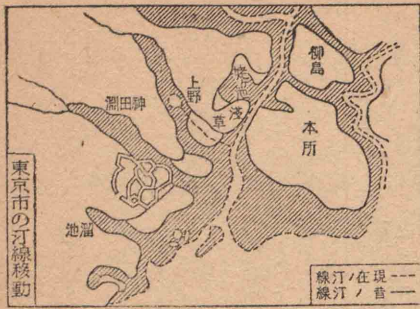
我が國では明治三十一年勅令を以て神武天皇即位紀元年數を四で整除し得べき年を閏年とする。但し紀元年數から六百六十を減じて百で整除し得べきものの中更に四でその商を整除し得ない年は平年とする定められた。

海洋・河湖の面積は三億六千一百万方呎で、地球面積の七六%といはれてゐる。
大洋の面積 百萬方呎
太平洋 一〇六
大西洋 一〇六
印度洋 七五

は月の運行を標準としたもので、從來我が國でも用ひられてゐたが、今日では太陽曆が採用されてゐる。太陽曆は太陽の運行を標準としたもので、一年を三百六十五日と定め、この年を平年とする。然るに公轉の周期はこれより長く、四年に一日弱の剩餘を生ずるので、四年目毎に閏年を置き、三百六十六日とする。しかし、四百年経つと反つて三日不足するので百年・二百年・三百年の各閏年を平年とする。

第二章 陸地

人類の活動舞臺は地球の表面である。地球の表面は陸界・水界・氣界の三部から成るが、人類が定住して經濟活動を営む處は陸界である。陸地は地球表面の約三割に過ぎず、ユーラシア・アフリカ・オーストラリア・北アメリカ・南アメリカ・南極大陸の六大陸から成るが、ユーラシアは歴史的にアジア・ヨーロッパの二洲に分たれ、また南極大陸は極寒で人類が定住しないのでこれを除き、世界の陸地は六大洲となすのが普通である。陸地の分布は甚だ不平均で、その大部分は北半球にあり、又地球は陸地の大部を含む陸半球と殆ど水に被はれた水半球とに分けられる。大陸には多くの半島・岬角があつて、海に



東京市の汀線移動

ナボリ灣岸にあるセラピス堂の遺址

上 陥没後一旦建設してまた隆起した状態

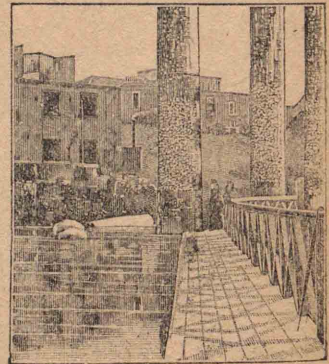
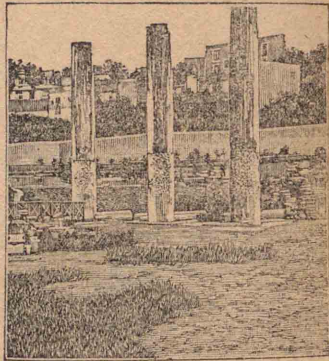
下 近年また陥没しつつある状態

と、空氣・水・生物等外界から來る外力作用とである。内力作用は地熱の作用又は地殻の平衡を調節しようとする作用のために生ずる。

一 土地の昇降

土地隆起の證據

- 一、海面より高い懸崖に海蝕の跡のあること
 - 二、汀線以上の地に海棲生物の跡のあること
 - 三、海岸段丘の存在すること
 - 四、三角洲の發達すること
- 土地沈降の證據
- 一、海底に森林の跡のあること
 - 二、陸上の建築物・地物等が海中に存すること
 - 三、三角江の發達すること
 - 四、溺谷の存すること

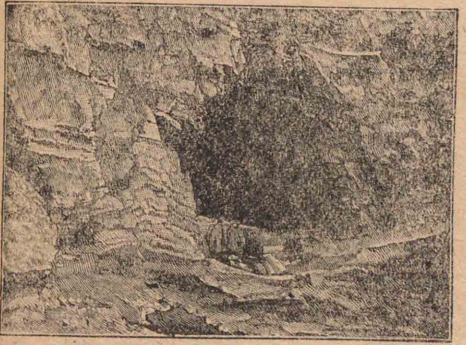
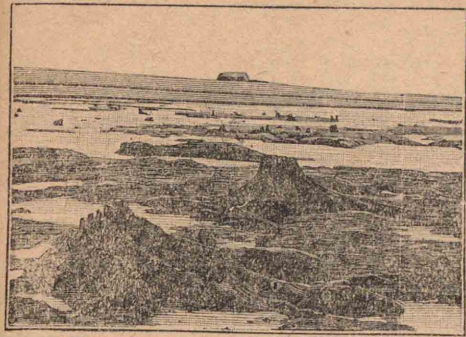


〔土地の昇降〕 地盤は極めて徐々に隆起又は沈降することがある。その結果海岸では水準線が變化し、汀線の移動を見る。又それが悠久に互れば大陸・大洋の別を生ずる。この運動を造陸作用といふ。

(上) リッブアール
の北方にある
森林の遺址

(中) 房總半島南東
海岸守谷の洞
窟

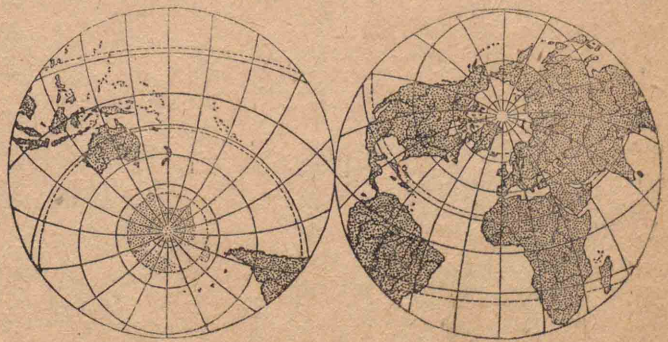
(下) 陸半球と水
球



地表面の状態は永久不變のやうに見えるが、實は絶えず變化して止まない。しかし、この變動を惹起する營力は土地の昇降・火山・地震等地球の内部から起る内力作用

向つて突出し、これに島嶼が附屬する。島嶼半島岬角を水平的肢節といふ。陸地の表面は高低起伏が様々で、平野・臺地・山地・盆地等がある。陸面に聳立する山地・臺地を垂直的肢節と呼ぶ。尙陸地の間には河川が流れ湖沼がある。

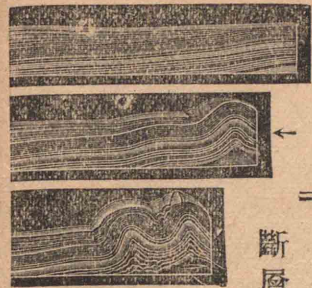
第一節 陸地の變動



(上右) 斷層によつて生ずる地殻の分裂

(下右) 近畿地方の地壘

(上左) 側壓力により地層が褶曲する有様

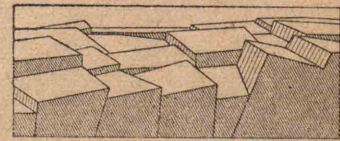


〔褶曲〕 造陸作用のため、地殻は側面から壓力を受け、波のやうに曲つて皺を生ずる。これを褶曲又は造山作用といふ。世界の大山脈は多く褶曲によつて生じたものである。

〔斷層〕 地層が斷絶してその一部が他の部分に對して上下又は水平に位置を變じたもので、

横壓力のために生じ、その大きなものは斷層山脈を作る。斷層のために生じた急峻な傾斜面を斷層崖と稱し、これが一方だけに存すれば傾動地塊と呼び、兩側に存すれば地壘と稱し、

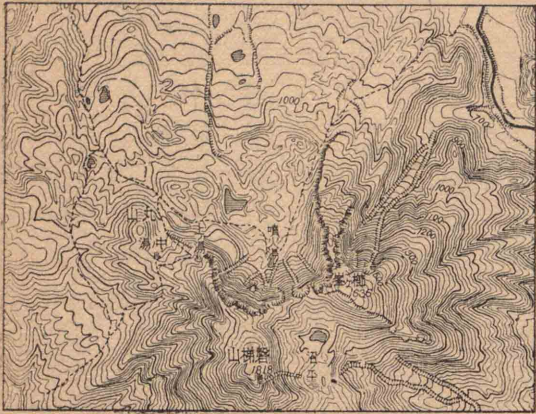
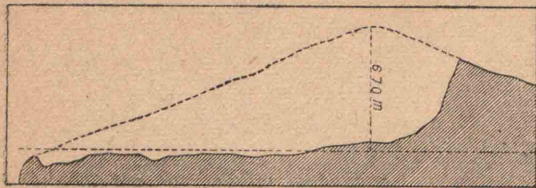
斷層崖に挟まれた陥没地を地溝といふ。



二 火山作用

〔地熱〕 地下二三十米の所には地表の氣温の變化を感じない常溫層がある。この常溫層より更に深く進むに従つて約三十

(上左) 磐梯山 斜線の部分は現形、點線は舊山形を示し、爆發によつて飛散した部分を知ることが出来る。

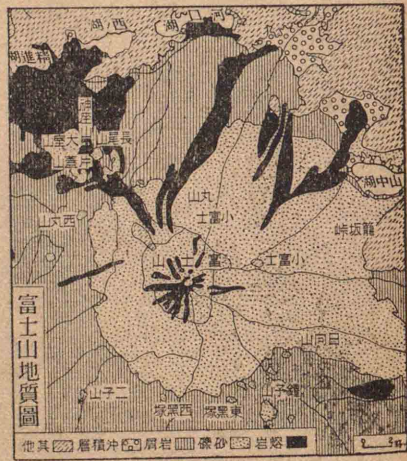


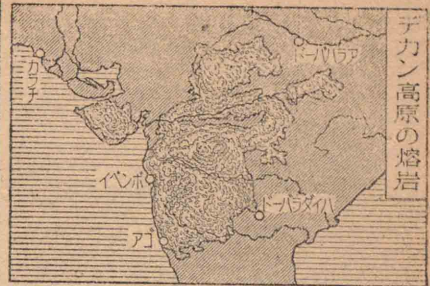
地熱のためである。この割合で地下六十料に下れば二千度に達し、如何なる岩石も熔融すべきであるが、地殻の高壓のために液體とはなつてゐない。併し、この壓力が減れば融解して上昇し、地表に流れ出る。

〔火山〕 地球

の内部から岩漿又は水蒸氣が地殻の弱所を破つて地上に噴出するか、又は地殻の内部に侵入する作用を火山作用と稱し、噴出物は堆積して火山又は熔岩臺地となる。

火山の噴出に際しては水蒸氣、炭酸瓦斯、一酸化炭素、亞硫酸瓦斯等の氣體の外、熔岩の破片たる火山彈、火山礫、火山砂、火山灰、火





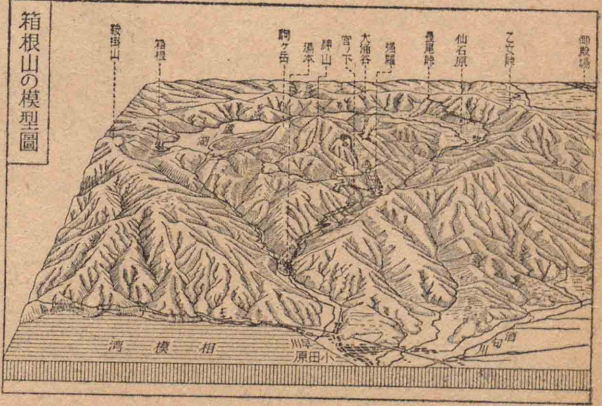
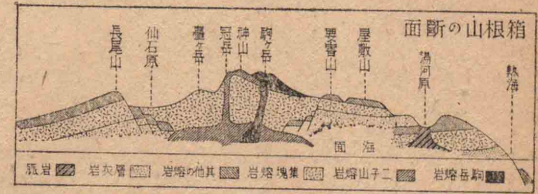
デカン高原の熔岩



阿蘇山

山毛や泥流を出す 火山灰は氣流によつて遙か遠方にまで飛散し、又熔岩も山腹に始つて遠方にまで達することがある。

火山活動に伴ふ熔岩流泥流は附近の原野を埋め、人畜に甚大な被害を與へることがある。



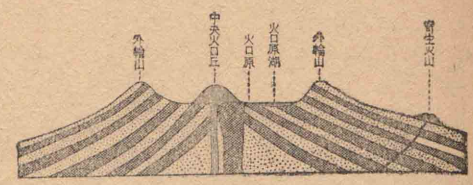
併し、火山活動の前には地鳴や地震を續發したり、その他前兆が少くないので、その災害を少くするやうにしなければならぬ。又火山はその活動によつて屢、湖沼、瀑布を生ずる。かくて火山は風景が麗しく、且つ温泉を伴ふために保養遊覽地をなすものが多い。又火山の裾野は好牧場となり、火山灰の被覆した地方は耕作に適する。

成層火山の断面
男鹿半島のマール

一、目瀉・三目瀉
はマール、戸賀瀉は火口港である。

火山の形態

- 一、ペチオニーテ式 (デカン高原)
- 二、アスピエテ式 (マウナロア)
- 三、トロイデ式 (フランスのサルク山)
- 四、ペロニーテ式 (西印度のモンブレ)
- 五、コニーデ式 (富士山)
- 六、ホマーテ式 (アイスランドのフェルファイエル山)
- 七、マール

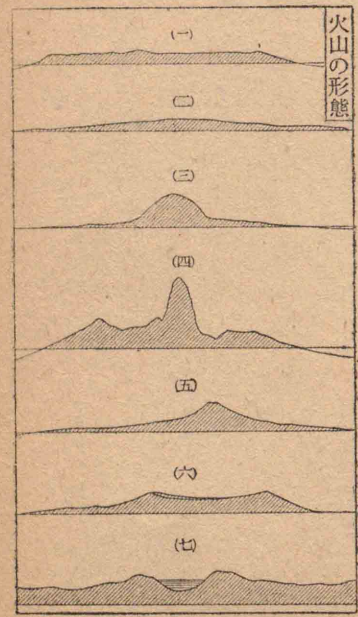
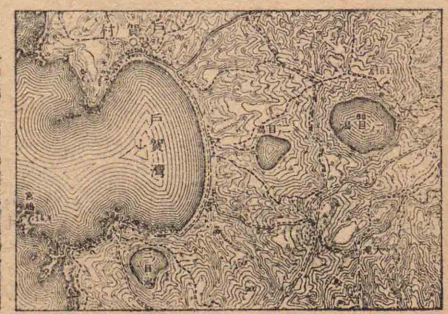


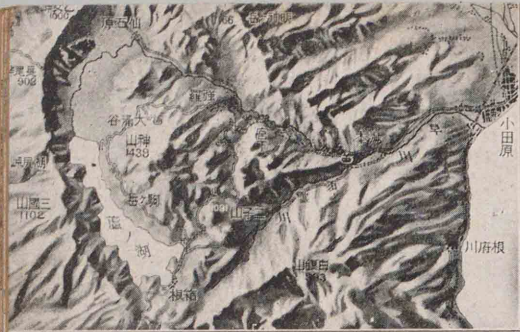
「火山の七種に分つてゐる。」

〔火山分布〕 火山は地殻構造の弱線に沿つて噴出し易いので、自然線狀に配列して火山脈又は火山帯となる。大洋の邊緣のやうな地殻の構造が最も擾亂した處には火山が連なる。太平洋沿岸はその適例で、日本列島も、

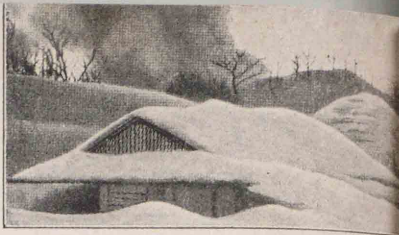
〔火山の分類〕 火山は火山活動の有無によつて、活火山・

休火山・死火山に分つ。又内部の構造によつて成層火山・塊狀火山に、外部の形状によつて單式火山・複式火山に分つ。尙シユナイダトは形状や山體を構成する物質を標準としてコニーデ式・トロイデ式・ホマーテ式・ペチオニーテ式・アスピエテ式・ペロニーテ式及びマ





火山灰

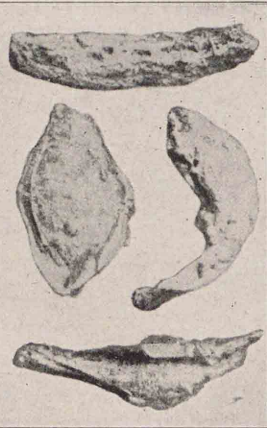


火噴中海の島ウタカラク

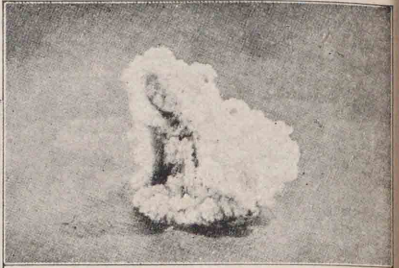
型模の山火根箱



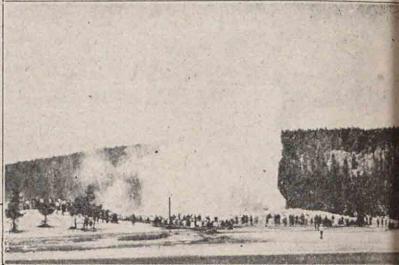
柱岩塔のーレベンモ



火山火

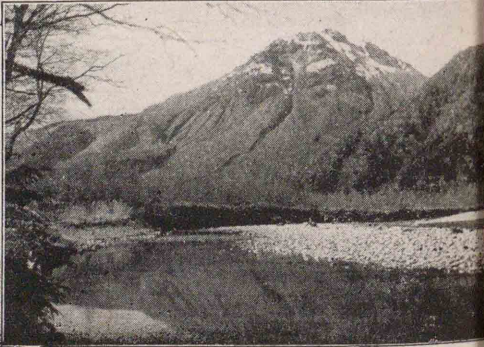
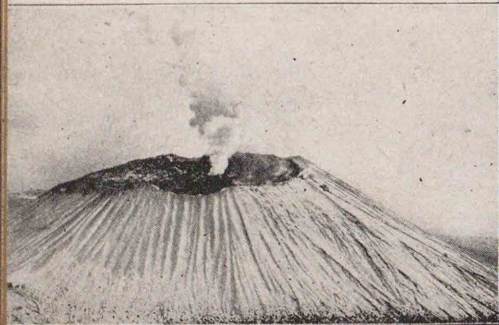


泉歇間の園公ントスーロイ



池天の頂山頭白鮮朝たへ瀉を水に口火
スヤィヴスェヴの山火式デーニコ

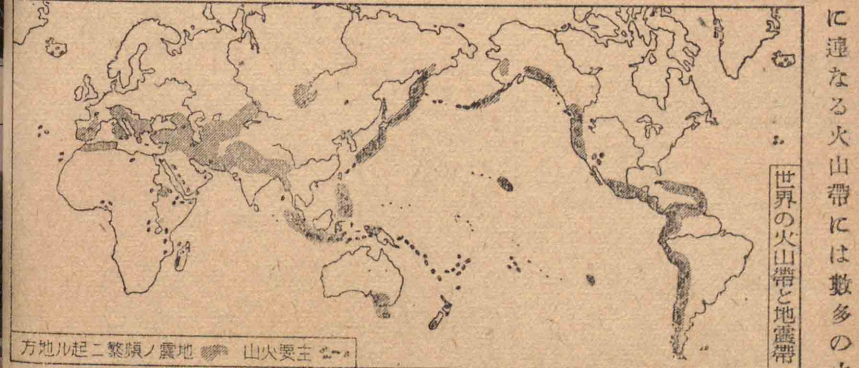
岳、焼の山火式デイロト



蒸氣孔
阿蘇山の湯ノ谷
長野縣澁の地獄
炭酸孔
兵庫縣有馬の鳥
地獄
三瓶山の鳥地獄
硫氣孔
箱根山の太浦谷
北海道の跡佐登
硫黄泉
上諏訪
鹽類泉
熱海
炭酸泉
別府
酸性泉
草津
單純泉
道後

諸種の瓦斯體や液體を噴出する。水蒸氣を主とするものを蒸氣孔、炭酸瓦斯を出すものを炭酸孔、亞硫酸瓦斯、硫化水素、硫黄等を出すものを硫氣孔と稱する。
〔温泉〕地熱のために温められた地下水が涌出するものを温泉と稱し、火山活動の餘勢として生ずるものが多い。温泉は含有する物質によつて硫黄泉、鹽類泉、炭酸泉、酸性泉、單

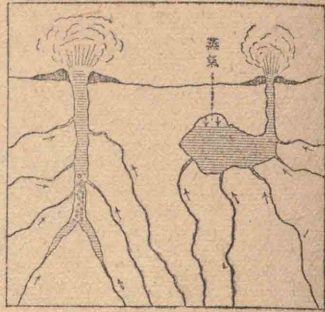
動の餘勢として生ずるもので、
〔噴氣孔〕火山附近に火山活
動の餘勢として生ずるもので、
その變形に沿つて、千島那須、阿蘇、霧島等の火山脈があり、又これを横斷してゐるものには富士火山脈がある。



方地川起ニ繁頻ノ震地 山火要主

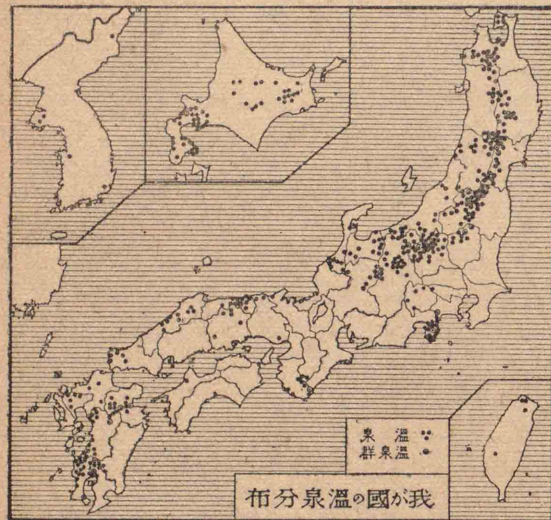
我が國の温泉中ラ
ヂウム含有量の最
も多いのは山梨縣
の増富鑛泉で、中
國地方の北斜面に
は三朝温泉を始め
含有量の著しい温
泉が少くない。

間歇泉噴出の
理

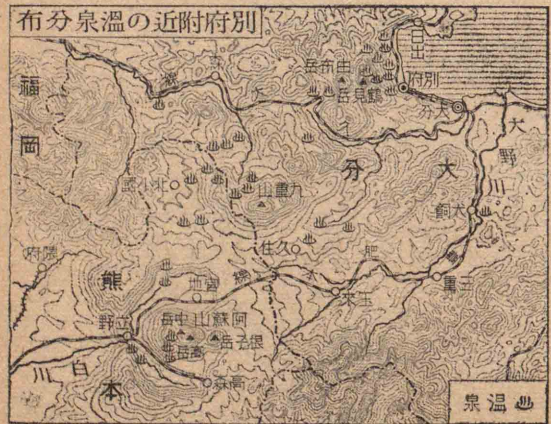


第に上昇し
て、底部の水
が氣化する
と、忽ち水柱
を伴つて高
く噴出する。
その後噴孔
内に再び水
が充滿すれ
ば、この現象

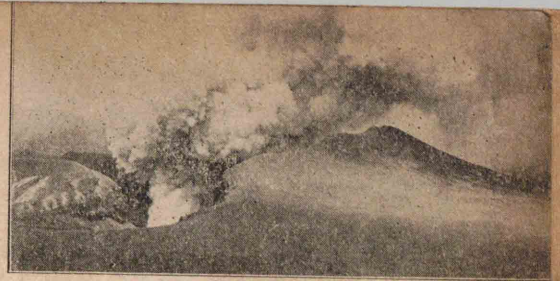
純泉ラヂウム泉等に分けられる。又温泉のうちには間歇泉と稱し、時を定めて周期的に水蒸氣熱湯等を噴出するものがある。尙鑛泉とは鑛物狀瓦斯を含む冷泉をいふ。
〔間歇泉噴出の状態〕最初噴孔内の水が既にその底部に於ては沸騰點に達してゐるにも拘らず、上層の水柱の壓力のために容易に氣化しないが、水柱の溫度



布分泉温の國が我

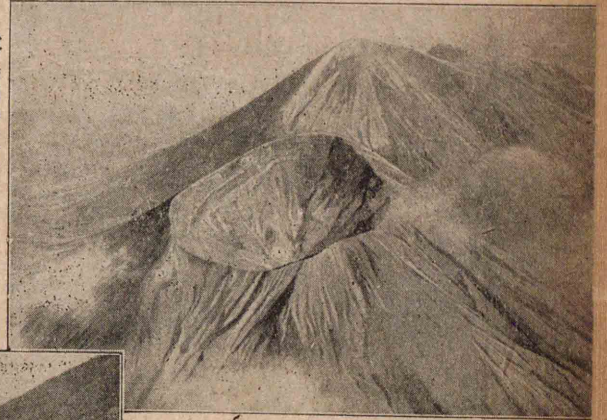


北海道駒ヶ岳の爆發



煙噴の山蘇阿

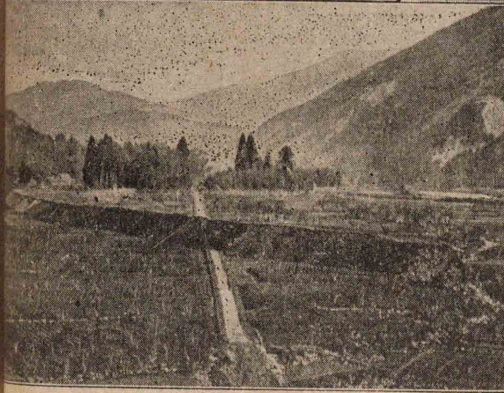
霧島山の火口



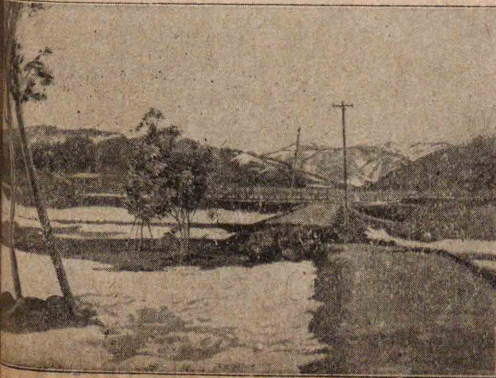
孔氣硫の谷涌大根箱



層斷の谷尾根たじ生に際の震地尾濃



層斷の村郷たじ生に際の震地後丹北

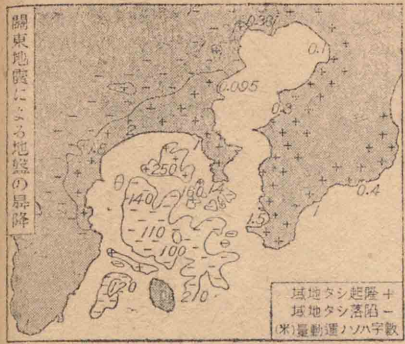


が再び繰り返返されるまで一時噴出を停止する。

三 地震

濃尾地震の際に生じた根尾谷の断層

〔地震〕 地殻の一部に急激な變動が起り、その波動が次第に遠方に傳はつて行く現象を地震と稱する。地震は火山の活動や地下の洞穴の陥落等によつても起るが、断層によるものが最も大きく、且つ最も多い。

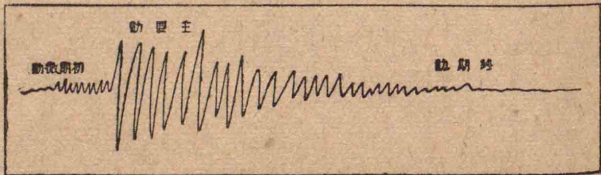


明治二十四年、濃尾平野に起つた大地震は断層地震の適例で、その断層は延長約百軒に及び、その變動の最も大きな處では上下地盤の差が六米に達し、且つ著しい水平的移動をも伴つた。大正十二年九月一日、關東地方に起つた大地震も断層地震で、相模灣底に於ては地殻に甚だしい隆起と陥没とを生じ、房總三浦の兩半島には断層を造り、東京灣相模灣の海岸は一帯に隆起し、その甚だしきは二米にも及んだ處があり、又一部沈降した處もある。

〔地震の諸現象〕 地震の發源の點を震源といひ、震源の上

地震記録の一例

に當る地點を震央と呼ぶ。地表は震央では上下動を主とするが、それを離れるに従つて水平動となる。地震は通常初期微動に始まり、次いで主要動となり、最後に微弱な終期動に終る。地震の強烈なときは屢、鳴動を伴ひ、地面に龜裂を生じ、地下水或は土砂の噴出することがある。海底に大地震が發生すると津波を伴ひ、沿岸の地に非常な災害を與へることがある。大震の後には餘震が必ず相續いて起る。これは地盤が次第に安定にならうとして起るもので、時日を経るに従つてその度数が減ずる。



地震の分類

- 微震** 静止してゐる人又は注意深い人のみを感じ得る極めて輕微なもの
- 弱震** 一般の人が感じて、戸障子が鳴り、釣ランプ及び垂下した物體又は液體が振動するもの
- 強震** 坐りの悪い物體が顛倒し、液體が溢出し、振り時計は停止し、石門・石燈籠が顛倒し、古い家屋や土蔵が破壊し、古い塙壁に龜裂を生ずるもの
- 烈震** 山岳を崩壊し、家屋を倒すに至るもの

濃尾地震の際には、岐阜市に於て二年間に三千三百六十五回の餘震を感じ、關東大地震の餘震も大正十二年中に既に三千二百四十回を感じた。

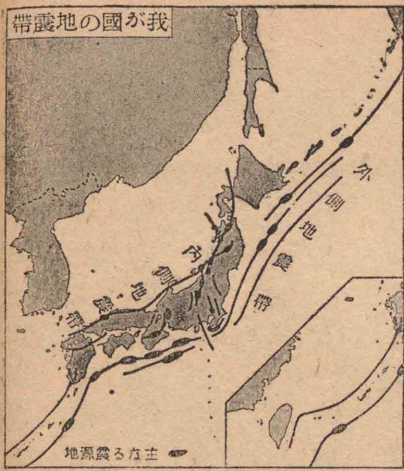
〔地震計〕 地震の震動を記録する機械で、

(右下) 水平動の地震計

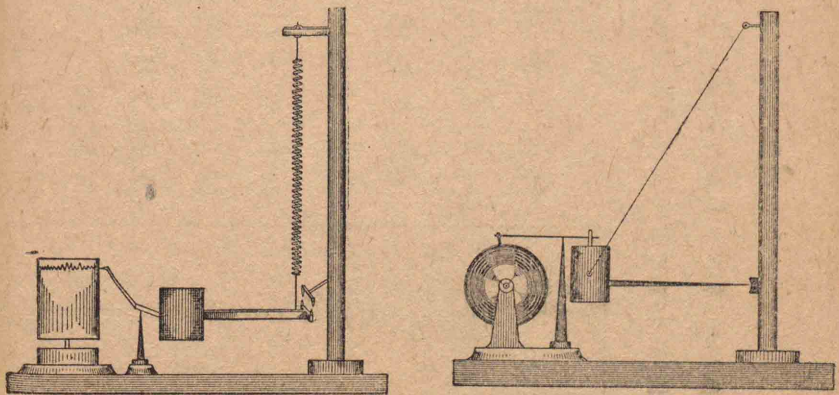
(左下) 上下動の地震計

その原理は震動を感じない不動點を設けこれに描針を付け、地盤と共に震動するものに記録させる仕掛である。

〔地震の分布〕 地震は地殻の構造が脆弱な處に多く起り、その地域は帶狀をなしてゐる。これを地震帶と稱する。太平洋岸並に地中海沿岸地方は世界の地震帶をなす。我が國は世界に知られた地震國で、最近三十年間に各地で觀測し得たものみでも一萬八千回以上及び、その最も頻繁なのは太平洋に面する地方である。



我が國は世界に知られた地震國で、最近三十年間に各地で觀測し得たものみでも一萬八千回以上及び、その最も頻繁なのは太平洋に面する地方である。



……地 陸…… 24

明治二十四年の濃尾地震は二十八萬の家屋を破り七千の人命を損ひ、大正十二年の關東大地震は東京及び横濱のやうな大都市を含む戸口稠密の地方に起り、且つ火災が續發したので、その損害が極めて大きく、家屋の破壊、燒失したものは六十八萬戸、死者は十萬人に及び、直接の損害が五十五億圓の巨額に達したといはれてゐる。

水の循環

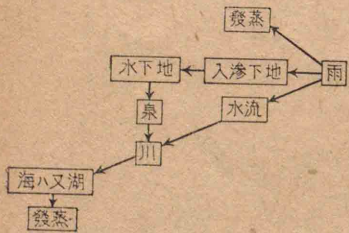
〔震災の豫防〕 我が國は史上に大地震といはれてゐるものが二百二十餘回にも上り、甚大な災害を蒙つた。地震による災害を豫防するためには、家屋は建築地を土質の堅牢な所に選び、基礎工事を堅固にし、建物は耐震耐火構造とし、出来れば鐵骨鐵筋コンクリート造りとするがよい。又地震の際は火元に十分注意し、沈着に戸外に逃避しなければならぬ。屋内では堅牢な家具類の側に避難し、屋外では瓦壁等の墜落する處のある處を避け、煙突、石垣等の側に近寄らず、又海岸では津波山間では崖崩山津波等に注意しなければならぬ。

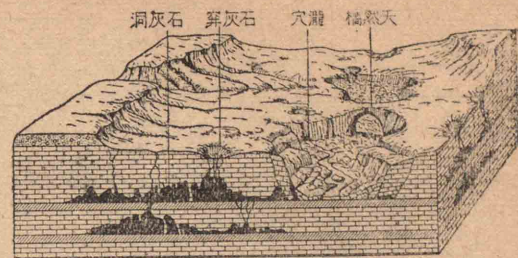
四 水的作用

水は氣體・液體・固體の三體に變化しながら、地表に物理的・化學的に作用してこれを侵蝕し、土砂を運搬・堆積して、その活動は絶え間がない。

〔雨の作用〕 水は雨となつて地上に降下し、地盤を崩す。地盤に固い部分と軟い部分とがあれば、一部を侵蝕し、一部を残し、奇岩怪岩や土柱を作る。

〔地下水の作用〕 雨水は地中に滲入して地下水と

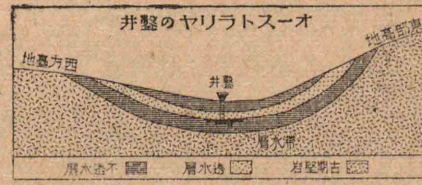
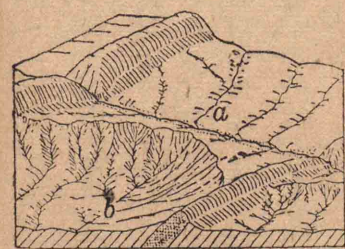




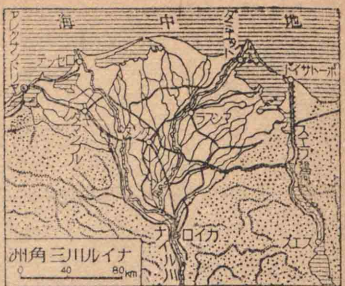
布分スシアオのカリフア

(上右) カルスト地形
 (下左) 河川の争奪
 侵蝕の著しい
 川がa b二
 川の分水界を
 破つて終にa
 川を併せたの
 を示す。

解し、地下に空洞を作ることがある。
 かのカルスト地形は雨水が地中に滲入する際に石灰岩を溶解した結果出来た地形である。
 「河水の作用」 雨水又は地下水は集

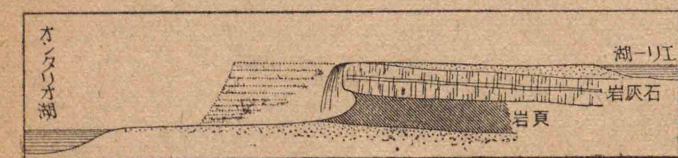
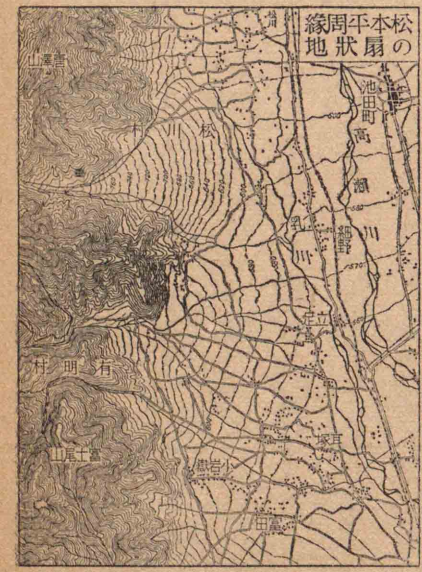


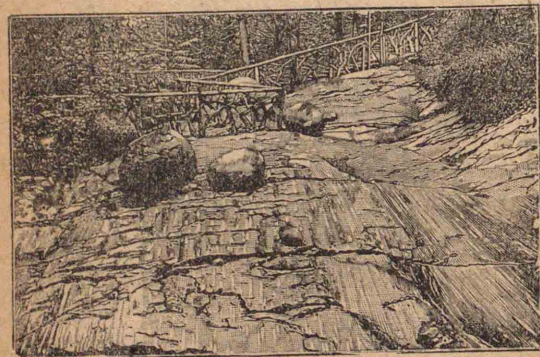
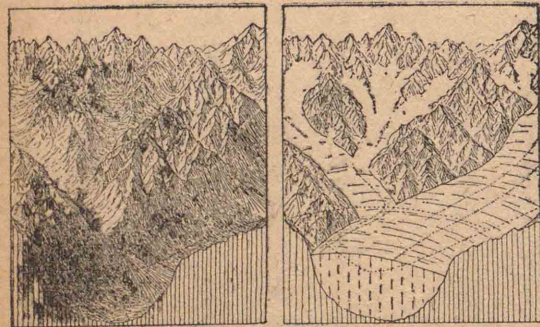
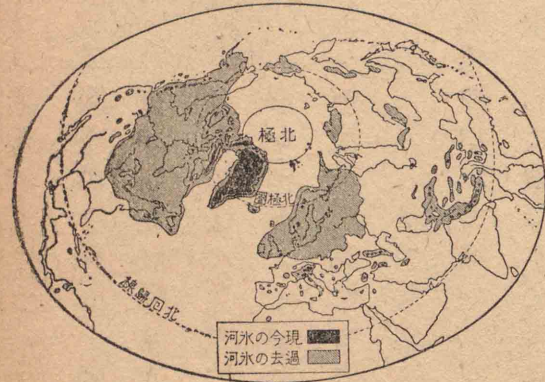
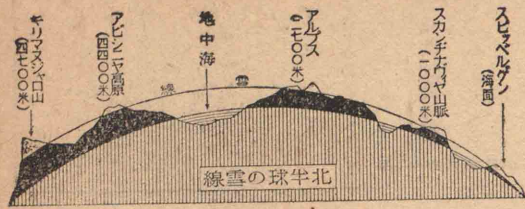
なり、或深さに達するとそこに停滞するが、泉となつて涌出することがある。地下の滞水層に達する穴を穿つて地下水を汲み取る時これを井戸と稱し、又井戸のうち地下水が自然に噴出するものを鑽井といふ。共に人工の泉である。地下水は種々な物質を溶解する。殊に石灰岩地方ではこれを次第に溶



(下) ナイヤガラ瀑布の後退

大で、下流に至るに従つて小さくなり、下流では運搬作用が衰へ、流して来た土砂を沈澱堆積する。これを堆積作用と稱する。谷口に發達する扇状地や河畔の沖積平野や河口に發達する三角洲はこの堆積作用の結果生じ





(下) 氷河を造りつ
つある谷と氷
河消失後の谷

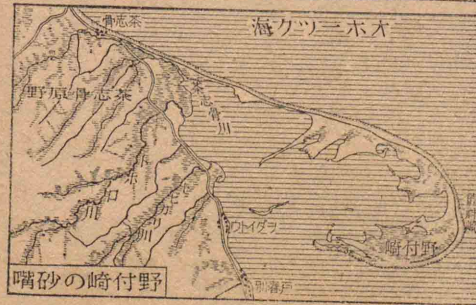
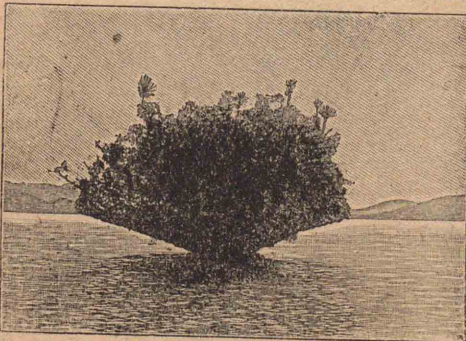
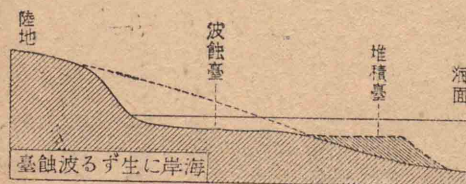
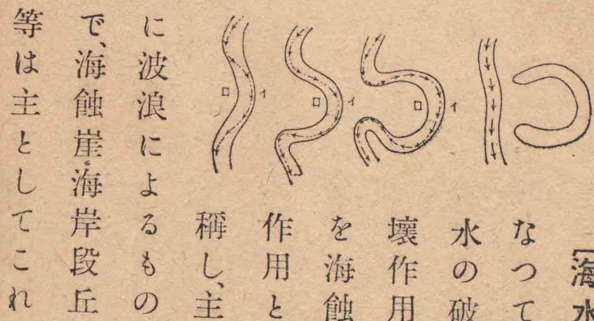
(下中) スウイスのル
ツェルンで營
て氷河に蔽は
れた處

によつて生ずる。又その堆積作用は砂嘴、陸繋島、砂濱等を作る。
「氷河の作用」 水は氷河となり、固體として地形を變化する。雪線
 以上の高山又は極地で雪が厚く積り、萬年雪となつて下方に移動す
 るものを氷河と稱する。氷河には内陸氷河と溪谷氷河とがある。
 氷河は百米から千米以上の厚さを持ち、移動の速度は極めて遅いが、

(中右) 南洋パラオ諸
島中の海蝕を
受けた一島

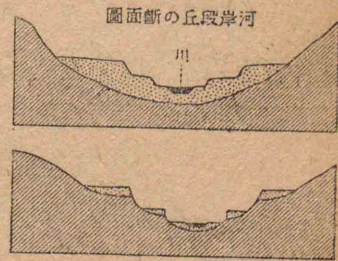
(左上) 蛇行路の發達
と三ヶ月湖の
生成

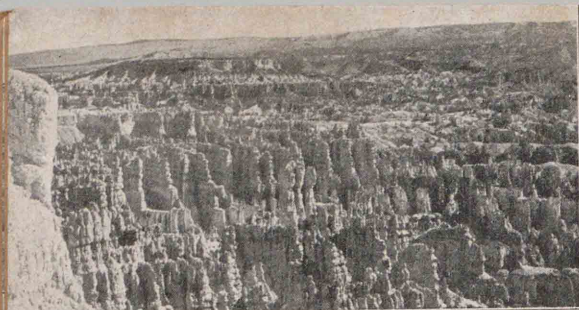
イ、侵蝕の進
む箇所
ロ、堆積の進
む箇所



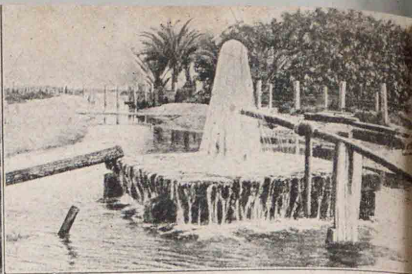
「海水の作用」 海水は波浪、潮汐、海流となつて破壊、運搬、堆積の作用を営む。海
 水の水の破
 壞作用
 を海蝕
 作用と
 稱し、主
 に波浪によるもの
 で、海蝕崖、海岸段丘
 等は主としてこれ

たものである。水勢が弱り、河床
 に土砂が堆積すれば水流は砂泥
 を避けて蛇行し、又屢、流路を變じ
 て河跡湖を作ることがある。

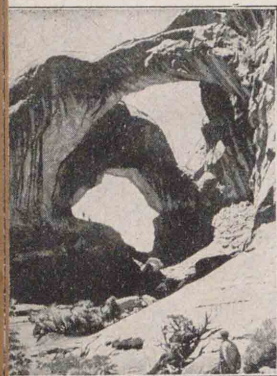




(國家合カリメア) 景奇るよに蝕侵の水雨



井鑽のヤリラトスーオ



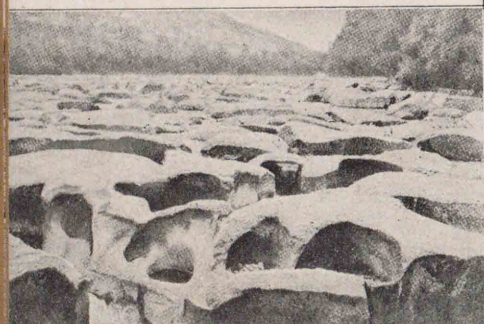
橋然天るよに蝕水



岩奇るよに蝕水



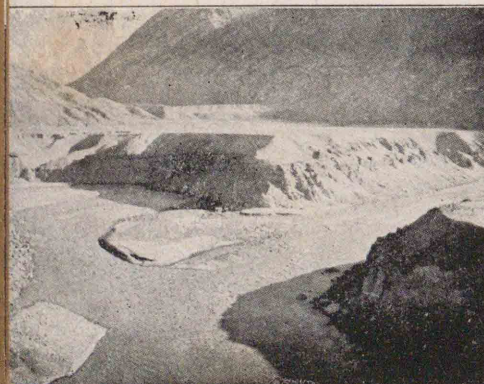
洞乳鍾蓮風の縣分大



穴甌の流上川淀大縣崎宮



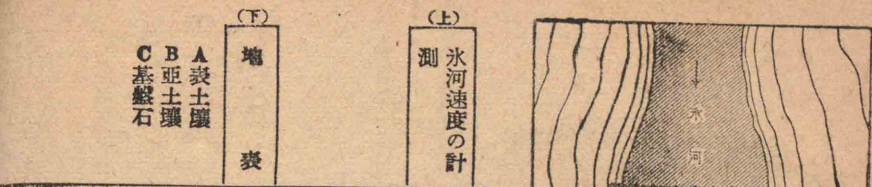
形地トスルカの臺吉秋縣口山



丘段岸河の流上川スダンイ



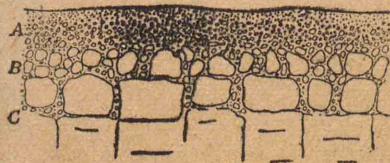
丘段岸河の近附原野上縣梨山



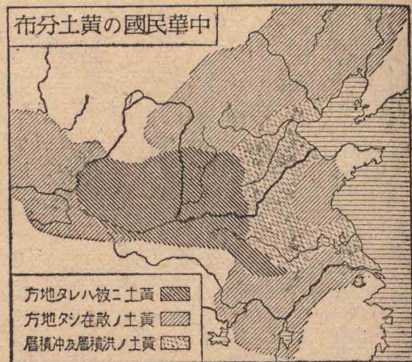
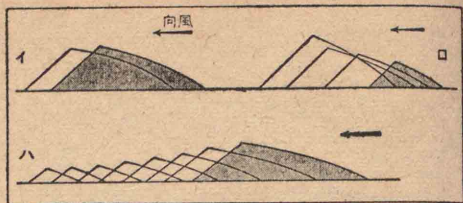
重量が甚だしいために地盤を著しく侵蝕して、U字形谷懸谷、
 圈谷等を作る。融解する末端部に堆石を捨て、又谷底の岩盤
 や堆石には摩擦のために搔痕を生ずる。かの漂土は堆石の
 破碎によつて生じた岩粉である。又堆石は時に水を堰き、湖
 沼を作ることがある。かの峡灣は氷河のために生じた深谷
 が沈降し、海中に没して生じたものである。

五 大氣の作用

〔風化作用〕 大氣の溫度の變化は地表に露出する岩石
 を物理的に破碎し、又炭酸瓦斯酸等はこれを化學的に分
 解する。殊に雨水が伴へばその作用は著しい。この現
 象を風化作用と稱する。風化した岩片や土壤が斜面に
 沿つて移動して山崩や地之を生ずることがある。
 〔風蝕作用〕 風は砂を伴つて岩石を衝擊し、これを機械
 的に破壊する。この作用を風蝕作用と稱し、乾燥地に最



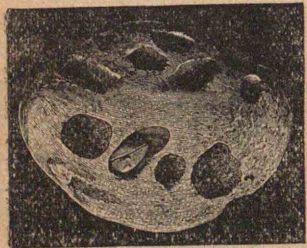
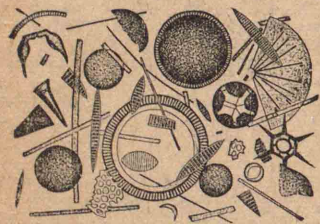
(下左) 穿孔介
(上左) 珪藻の擴大
(上右) 砂丘の進行



運ばれて飛來した砂塵が堆積して生じたものである。

六 生物の作用

生物も地形に著しい變化を與へる。例へば人類は山を崩し、河を堰き止め、湖を作り、海を埋める。殊に文明が進むにつれて人類のこの作用は著しくなつた。又植物は根株を岩石の間に



も旺盛である。

〔大氣の運搬建設作用〕 風は又風化風蝕作

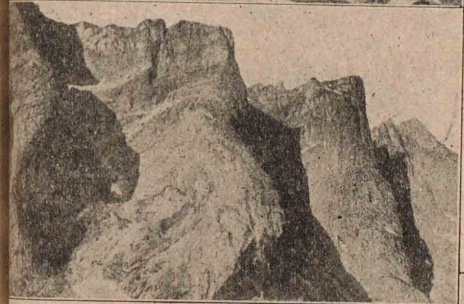
用によつて生じた土砂を運搬して他に堆積することがある。沙漠や砂濱に存する砂丘はこれがために生じたものであり、又砂塵は風のために遠隔の地に送られることがある。北支那地方の黄土はアジヤ中央部から風に



スブルア北本日るす星を形地の期年壯



氷河の遺した堆石



氷河に侵蝕された谷



林森たし廢荒てつよに動移の丘砂



礁珊瑚のヤリラトスーオ



河川の蛇行

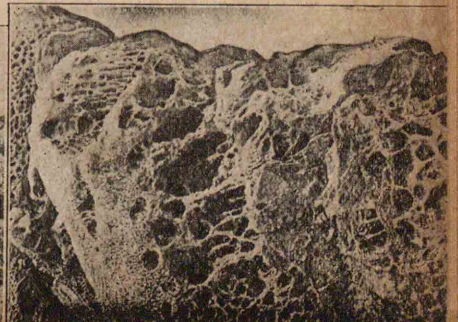


風の侵蝕によつて生じた奇岩

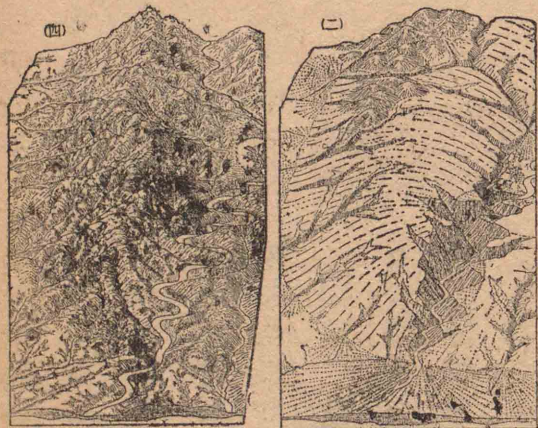
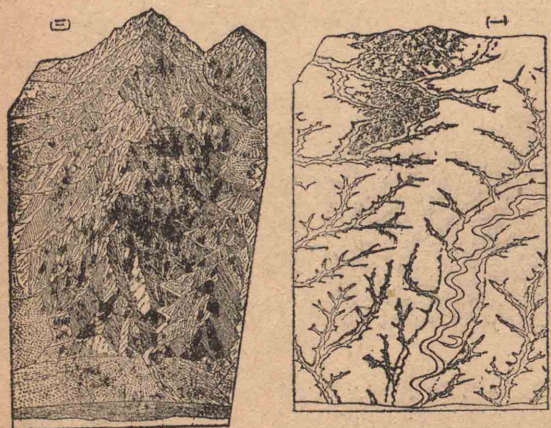
丘砂の岸海縣取島



石岩たれさ蝕侵に雨風

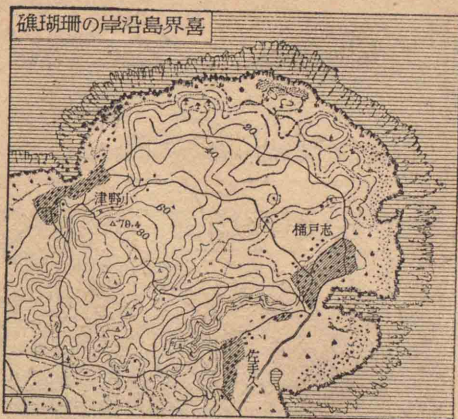


地形の輪廻
 一 幼年期
 二 壯年期
 三 老年期
 四 準平原期

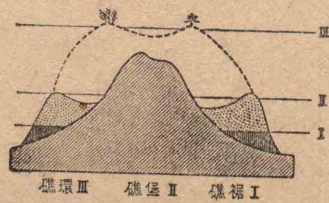


〔地形の輪廻〕 地表には山野や河谷が横たはつて、甚だ複雑な地形を呈してゐるが、その原形を作るのは内力の作用で、これに外力が加はつて今日のやうになつたのである。内力の作用によつて或土地が隆起して新たに生じた時には、外力が直ちにこれに侵蝕作用を加へ、地表面を平坦にし、遂には海洋面に等しい水準に達せしめる。かくの如くに地形の變化には一定の順序があり、幼年期、壯年期、

第二節 地形

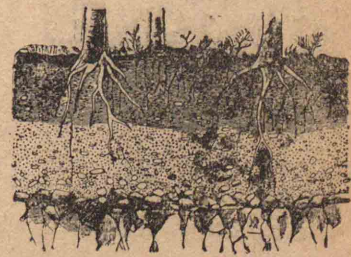


〔珊瑚礁〕 珊瑚は攝氏二十度以上の水温を有し、深さ四十米に達しない清澄静穏な浅海に蕃殖する生物で、炭酸石灰を分泌して珊瑚礁を作る。珊瑚礁は太平洋に最も多く、我が國では臺灣・琉球・小笠原島に於て見られ、南洋のマーシャル・カロリンの諸島には到處に發達してゐる。珊瑚礁の中、海岸に沿つて生ずるものを裾礁といひ、海岸を離れて带状をなし、海岸との間に海水を挟むものを堡礁と稱し、海中に孤立して不規則な環状となり、その内に静穏な礁湖を湛へてゐるものを環礁といふ。



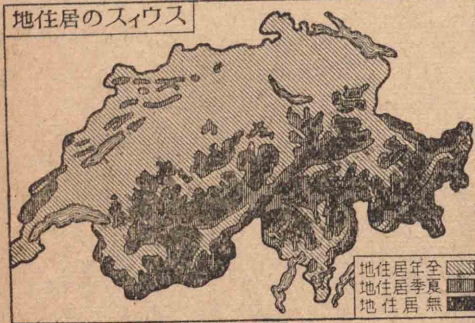
(左下) 植物の根が岩石を穿つる有様
 (右下) 海洋島の沈降により環礁を生ずる有様

挿入して割目を作り、その腐敗したものは有機酸を作り、岩石の分解を促す。多量の植物は沼澤・地中に埋没し、泥炭・石灰となつて地殻の一部を作ることがある。土龍・海狸・蚯蚓・蟻等は土壤を移動し、穿孔介は海濱の岩石を穿つて崩壊を促し、海鳥はグノノを作る。有孔蟲は石灰岩を作り、珊瑚蟲は珊瑚礁を作る。



湖盆地
會津・甲府・山
城・伊賀等の盆
地
断層盆地
諏訪・大和・近江
等の盆地
侵蝕盆地
狭い盆地

地住居のスイス

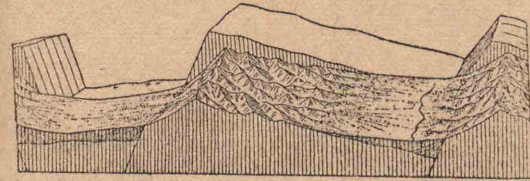
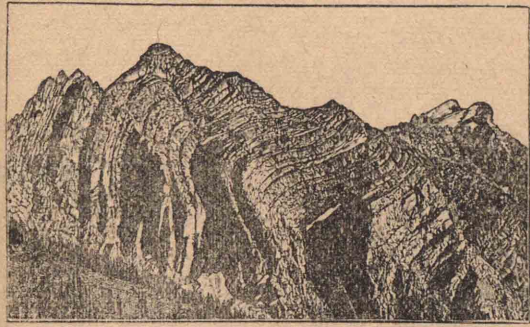


〔盆地〕山地又は臺地によつて圍まれた低平な地域で、湖盆地、断層盆地、侵蝕盆地等がある。大陸の内部には乾燥して沙漠をなす廣大な盆地が多い。

〔山地と文化〕山地は概して寒く、且つ寒暑の差が大きいが、雨が多く、森林が繁茂し、水力に富み、礦物の埋藏が多い。山地は交通の障碍となり、耕地が少い上に、地味もよくないので、農業は不振である。低い丘陵や高原等では牧畜が行はれ、果樹茶等が栽培され、又階段耕作や季節的な住民移動が見られる。かくの如く山地は概して物産に乏しいので住民は少い。山中の盆地には住民が集り、又鑛山林業地、温泉等には人口が密集することがある。又熱帯地方では氣候の關係で反つて山地に人口が多い。山地の住民は身心が頑強で、鬭争心に富むが、保守偏狹で、文化に遅れてゐるのが普通である。



(E) 褶曲山地とその断面
(中) 断層山地の模
型
背景は断層のために地殼に高低を生じ山を造つたのを示し、前景はこれに雨水・流水の作用が加はつて更に複雑な山岳・谿谷を造つたを示す。



〔山地〕陸面に聳立する土地の高所であつて、褶曲、断層、火山、侵蝕等の作用によつて生じ、多くは脈狀に連互して山脈・山系をなす。山地が頂上に廣い平坦面を有する時は高原又は臺地と稱し、又山地が低く、且つ傾斜が緩かな時はこれを丘陵と呼ぶ。

期老年期と變化して最後に準平原となつて侵蝕の行はれない基準面に削平されて變化を終る。従つて侵蝕作用は結局準平原に向ふ過程にはかならない。而して、準平原が再び隆起すれば第二次の侵蝕作用が繰り返へされる。この變化の系統を地形の輪廻と呼び、今日の地形は幾回も輪廻を繰り返へして來た結果である。

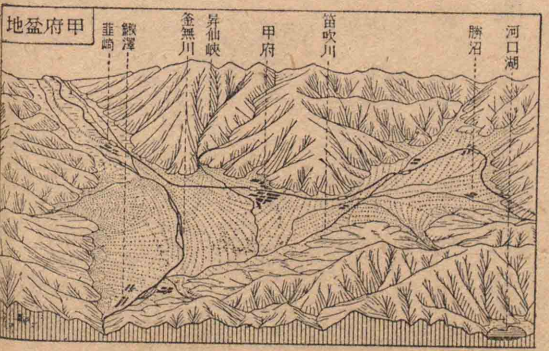
堆積平野
 關東平野・大阪平野・甲府盆地・大和盆地・富士山の裾野・兒島灣の埋立地
準平原
 樂浪平原・ロシヤ平原

(E) 平原の成生を示す圖式
 ハニホの山岳が次第に削られてハチホの平原となり、イロハの水深に沈積した土砂は遂にヘトハの平原を造つた。

〔盆地と文化〕 盆地は自然の要塞をなすので、獨特な文化を持つものがある。盆地には割合に人口が集り、且つそこに一二の中心都市が発達し、山岳地方の文化地帯をなすものが多い。

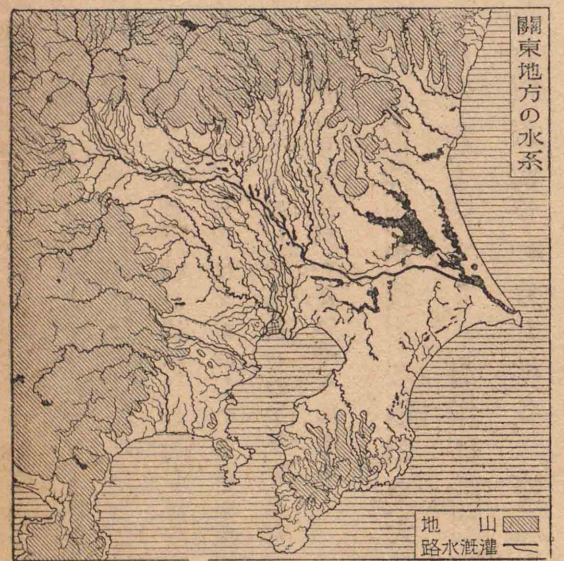


〔平野〕 低平な土地で、平原ともいはれ、大陸の大部分を占める。平地には沖積平野・三角洲・海岸平野のやうに堆積によるものと、準平原のやうに山地が削剝されて出来たものがあるが、前者は一般に肥沃である。

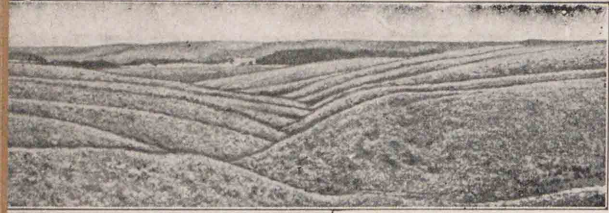


通が便利で、又地味が極めて良好で、灌漑の便も多く、農業牧畜に適するので、概して早くから産業が発達し、人口も稠密で、文化も進んでゐる。

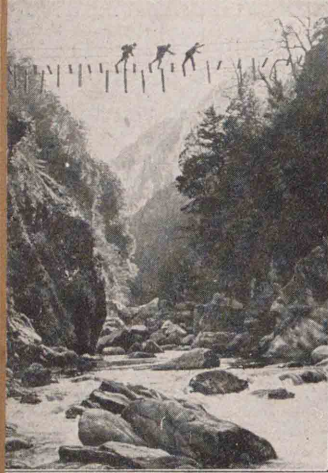
〔河川〕 雨水・地下水は合して河川となり、概ね海又は湖に入る。河川の本流・支流・分流等を河系と總稱し、一河川の流れる沿岸地域をその河川の流域と稱する。



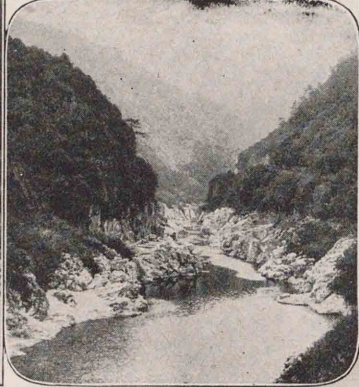
〔河川と文化〕 河川は飲料水・灌漑用水・工業用水を供給し、又水力の源となり、産業に貢献する。河川は天然の交通路で、舟運の便を與へ、又その水路は古來交通路として利用された。併し、大河は時に政治的境界となり、交通上の障礙となることがある。河畔の渡船に適する所は交通路



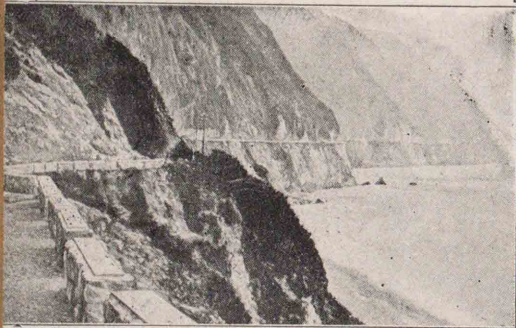
横谷をなす吉野川の長大崩壊



黒部の峽谷



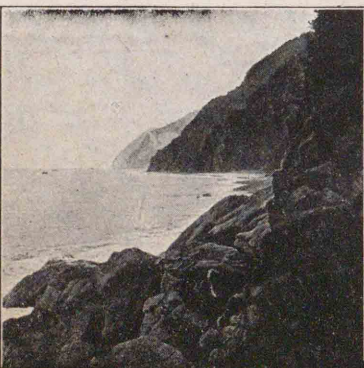
臺灣東岸の斷層海岸



ノルウェーの峽灣



親不知の斷層崖

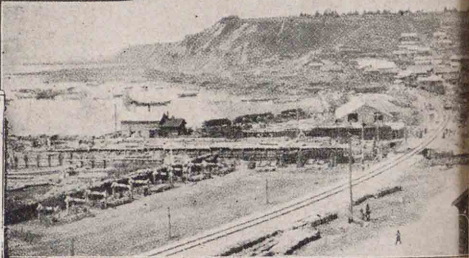


沈降海岸岸

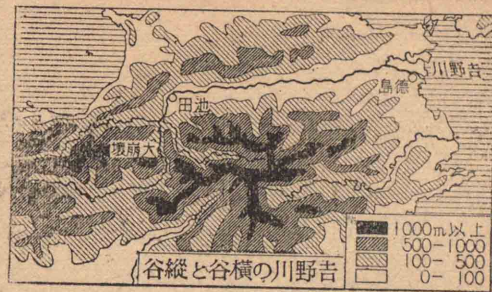


メリアカ合衆國西部の部の峽谷と大陸横斷鐵道

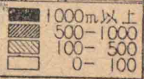
海岸段丘



ノルウェーの峽灣



吉野川の横谷と縦谷



が集中し都市が発達し易い。又河川の流域は多く地味氣候が良好なので早くから農業が行はれ文化が発達した。メソポタミア・エジプト・印度支那等の古代文明はいづれも河畔に發達した。河川の上流には屢々峽谷を作り、又山脈を横切つて横谷を生じ、山脈と平行して縦谷となる。縦谷は風景の美を以て人を呼び、路は交通路として利用されることが多い。河川は又氾濫して人畜田畑に被害を與へることが少なくない。これを避けるためには、砂防治水の工事を完全にし、水源地方に植林し、又住居をなるべく河岸の低地に構へないやうにする。

〔海岸〕 陸地と海洋とが接する地帯で、大陸の軀幹から突出した部分を半島岬角と稱する。海岸は地盤の變動によつて隆起海岸沈降海岸斷層海岸に分たれる。隆起海岸は多く出入の乏しい濱で、海岸段丘や潟湖を伴ふことがある。沈降海岸は潟谷峽灣・三角江を作り、リヤス式海岸や多島海もこれに屬する。斷層海岸は概ね直線狀の峻岸をなす。

〔海岸と文化〕 海岸線の出入の多少は文化に關係が深い。即ち出入の多い海岸は交通の發達を促し、文化を發達せしめる。

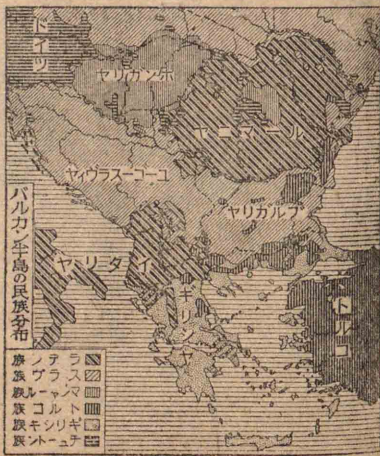


結成中一
結成期或
影的治政と
岸海のヤシロ

海岸は概して氣候が溫和で、又水産業の手段となる。かくて海岸は人口が稠密で、大都市大商港がある。半島の中には大陸と大陸又は島とを繋ぐ橋梁の役目をなし、民族文化の移動する通路となり、文化が早くから發達する所もある。

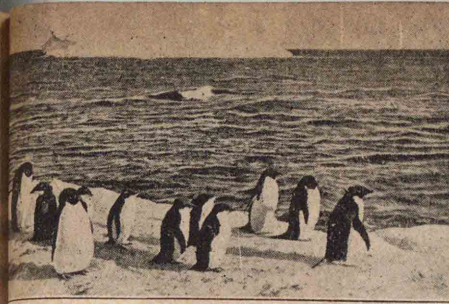
〔島嶼〕 海に圍まれた小空間で、陸島と洋島とがある。陸島は大陸の近くに位し、地帯構造上大陸の一部をなし、斷層汀線の降下等のために大陸から離れたものである。洋島は大陸から離れ、大洋中に散在し、火山島、珊瑚島から成る。

〔島嶼と文化〕 島嶼は概ね地域が狭小なために、物産人口が少く、しかも人口が増加するにつれて食料に不足を來すことがある。この缺點は洋島に甚だしい。併し陸島は大陸に接近し、早くから大陸の住民文化が渡來し、しかも外敵を防ぐに適してゐるので、島内の自然の富源が豊かな時には國民文化を作つてゐるものも少なくない。又洋島は大陸から離れてゐるので、概ね文化の發達が遅れてゐるがそのうちには交通上軍事上の要點になつてゐるものもある。

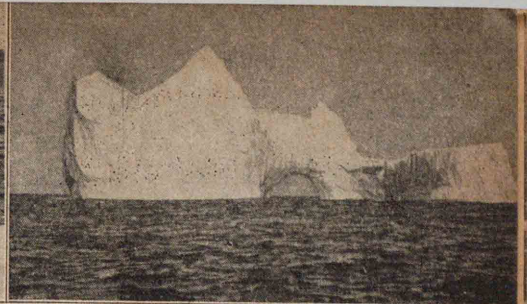


ラスバトギナ
アラバトギナ
コシラ
モシラ
シラ

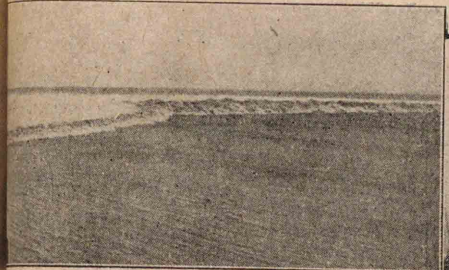
海岸は概して氣候が溫和で、又水産業の手段となる。かくて海岸は人口が稠密で、大都市大商港がある。半島の中には大陸と大陸又は島とを繋ぐ橋梁の役目をなし、民族文化の移動する通路となり、文化が早くから發達する所もある。



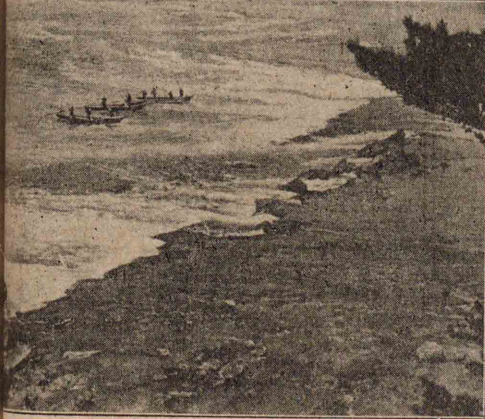
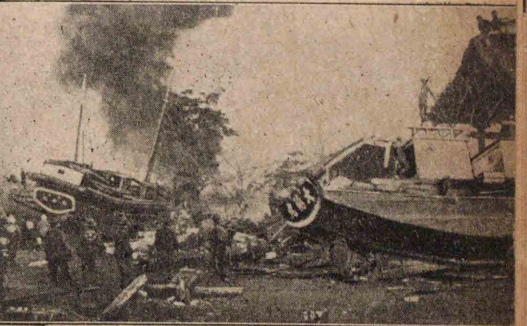
山水の状地臺るけ於に方地極南



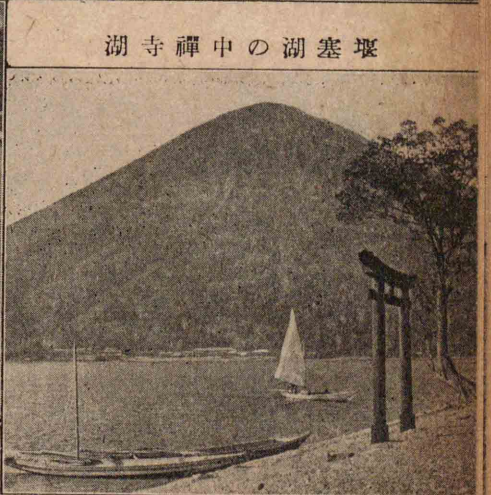
山水の状兀突るけ於に方地極北
(月三年八和昭) 害慘の波津の方地陸三



噴海るけ於に江塘錢の國民華中
潮急るけ於に峽海門鳴



島山火の上洋イワハたし後に海ば半



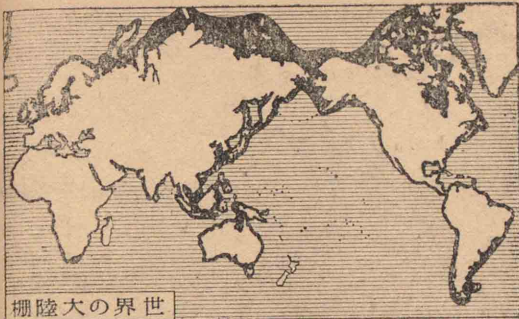
湖寺禪中の湖塞堰



海 島 多

第三章 海洋湖沼

(上) 海洋の平均深度と陸地の平均高度との比較



〔海洋〕 海洋は地球表面の七割餘を占めてゐる。世界の海洋は太平洋・大西洋・印度洋の外、北極海・南極海

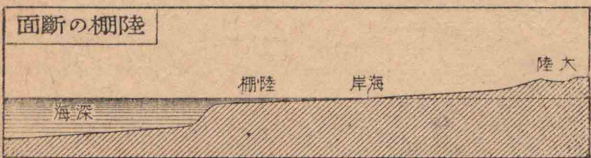
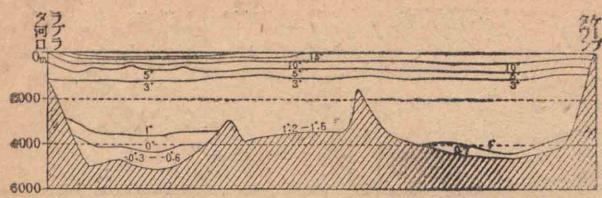
に分たれるが、陸地と異なつて互に通じてゐる。又これ

等の大洋は内海・縁海・灣等の支海を有する。



〔海底の形状〕 海底は地勢が割合に簡單である。大陸の海岸から深さ二百米までの浅海は大陸の傾斜面の續きで、大陸棚と呼ばれ、緩かに傾斜して

(上) 大西洋南部の断面と海水温度

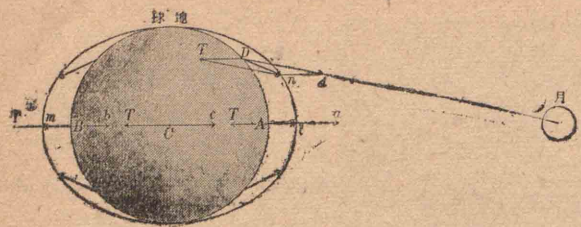


ゐる。その外側は急に深くなつて、二千米以上の深海となる。深海床では侵蝕を受けることがなく、専ら沈積作用が行はれるので、その起伏は極めて緩かである。併し、五千米以上の海溝や深淵がある。



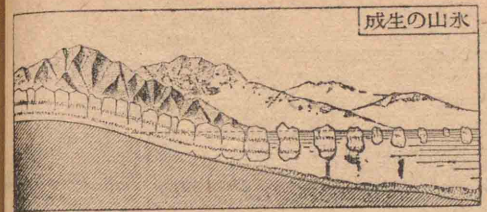
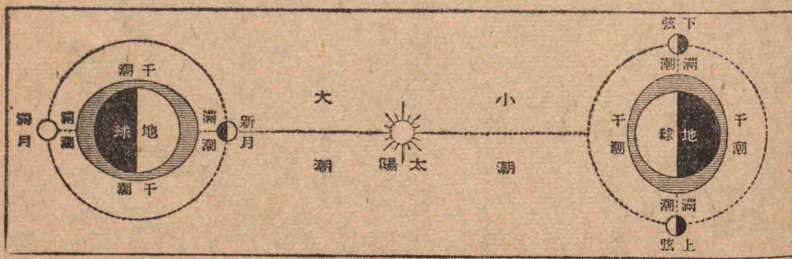
〔海水〕 海水の比重は一・〇二六で、重量の三・五%の鹽分を含む。但し、鹽分は海洋の部分によつて差違がある。海水は鹽分の多い時は濃藍色、寒冷な海水は綠色に傾く。深海の水溫は零度内外で變化が少いが、水面は太陽熱を受けて熱帶地方では三十度以上になり、寒帶地方では零度以下になり、しかも冬季は凍結して海水を生ずる。

〔氷山と流水〕 氷河が破壊されて海上に浮んだものを氷山といふ。氷山は海流と共に移動し、氣溫を低下し、濃霧を生じ、航海を危険ならしめる。蘇

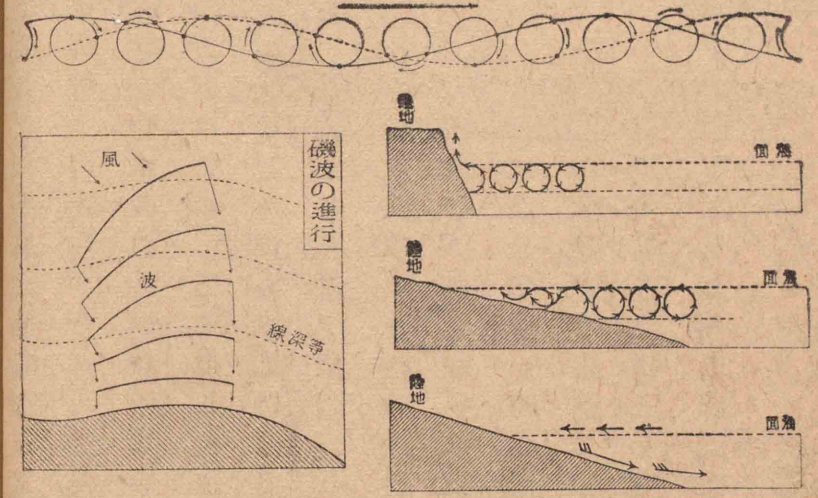


(上) 大潮と小潮
(下) 潮汐起因の説
明圖

太陽の引力も潮汐の原因となるが、月の引力に比すれば非常に小さい。月の反対側に満潮を生ずるのはその地が最も弱く引かれるので、海水が引き残されることになるからである。新月と満月の時は太陽と月との引力が同一線上に働くので、満潮が最も高く、大潮となり、上弦と下弦の時は月と太陽との引力が直角に働くので、満潮が最も低く小潮となる。潮汐干満の差は水陸の分布、海底の深淺等によつて各地一様ではない。大洋中の島や廣い海に面した海岸とか、陸地で圍まれた内海では小さく、入口がかなり廣く、しかも長く入り込んだ浅い海では概して大きい。我が國近海は朝鮮西岸では十米に及ぶことがあるが、日本海岸では三十厘米を超えることが殆どない。狭い水路では潮汐干満の際に海水が流動して速い潮流を起



(上) 波動に於ける水分子の運動
(下右) 底流の生成
(中右) 遠淺海岸に於ける磯波の生成
(上右) 斷崖海岸に於ける磯波の生成

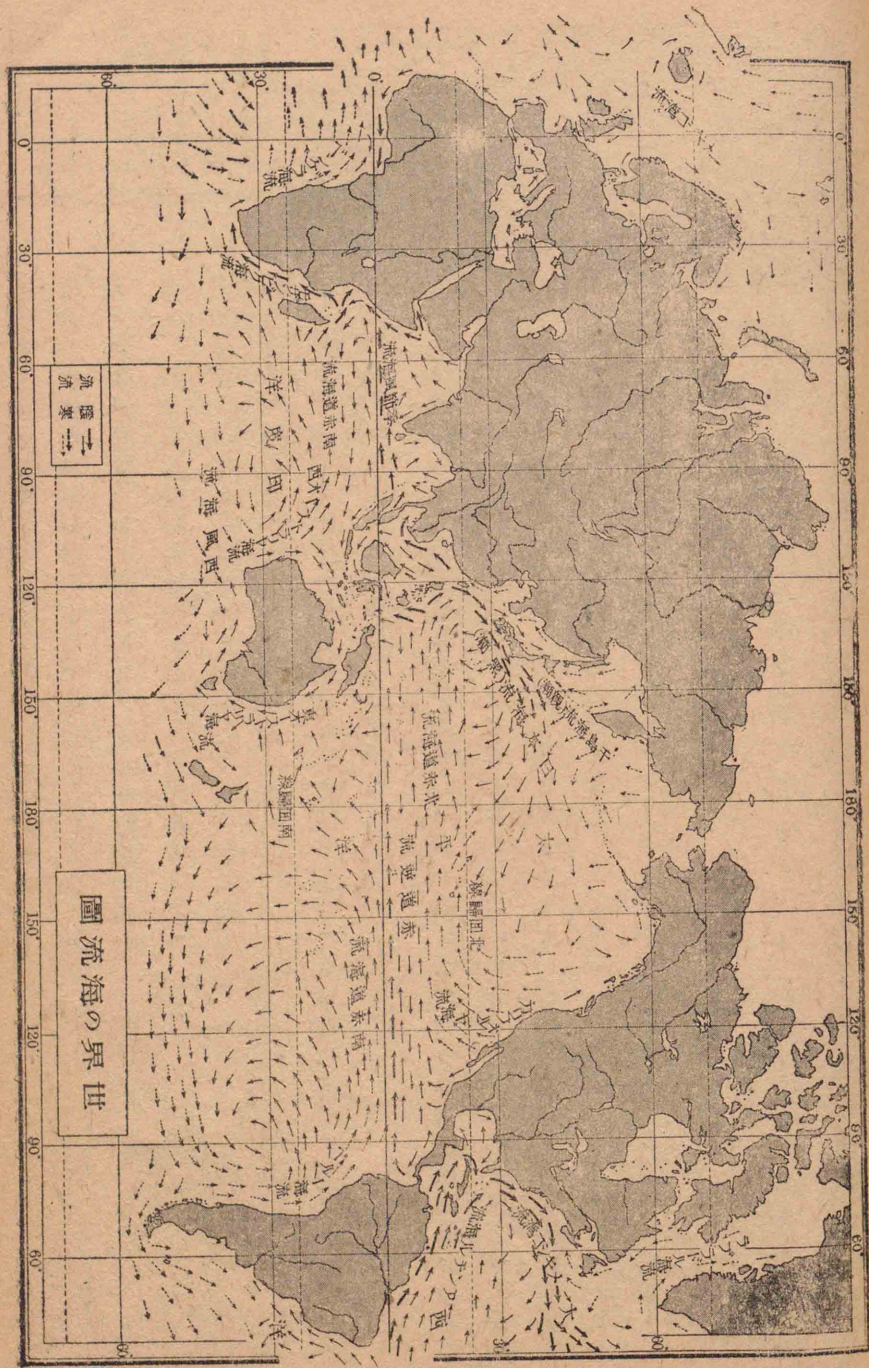


水が破壊して海上に流れるものを流水と稱する。海水流水は共に航海を妨げる。

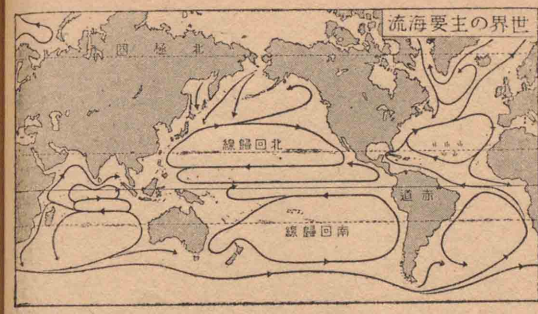
〔波浪〕 風の作用によつて生ずる水の運動で、恰も前進するやうに見えるが、その實水は移動せず、水分子が圓運動を行ふのである。

〔磯波と津波〕 海岸に打ちあげて碎ける波を磯波と稱する。磯波は風向の如何に關はらず、常に海岸に平行に打ち寄せる。

地震火山暴風等のために起つて海岸に押し寄せる大波を津波と稱する。津波はその波動が全世界に及ぶことがあり、又人命財産に大被害を與へることが少くない。併し、津波は豫知出来ることが少くないので、その襲來の虞のある時は急いでこれが對應策を講じ、又住所耕地等もなるべく海岸の低地を避けるやうにすれば被害を少くすることが出来る。



世界主要の海流

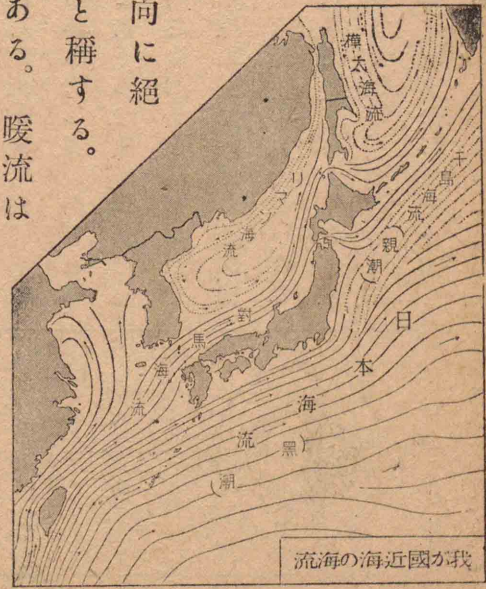


すことがある。喇叭状に開く河口では満潮の際海水が次第に追つて海嘯を起すことがある。
 潮汐は航海碇泊等に関係をもち、又干潟に於ける魚介の養殖採取等産業にも関係をもつてゐる。

〔海流〕 海水が一定の方向に絶えず流れる時、これを海流と稱する。

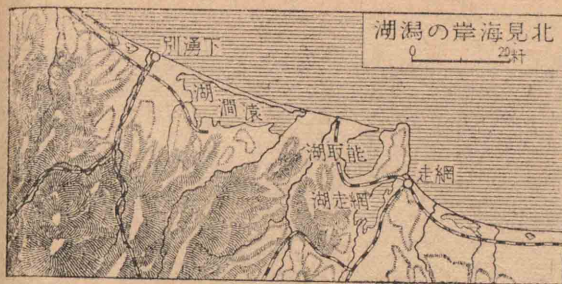
海流には暖流と寒流とがある。暖流は赤道附近に起つて南北赤道海流となつて西進し、大陸と衝突して一部は赤道逆流となつて東方に向ふが、大部分は北又は南に向ひ、次第に東に轉じて又元に歸る。メキシコ灣流・日本海流はその代表である。寒流は高緯度地方から低緯度地方に向ひ、ラブラドル海流・千島海流等はこれに屬する。

〔日本近海の流れ〕 暖流日本海流はフィリピン群島の東方から来て、臺灣東



我が國近海の流れ

海流の成因
 一、風が同じ方向
 に向つて永く吹
 くこと。
 二、海水の密度が
 一樣でないこと
 三、風海水・雨水
 等のために海面
 の水準に差違を
 生ずること。



方を北上し琉球列島を洗ひ九州の南西で對馬海流を
 分派し四國九州の南岸に沿つて伊豆七島を洗ひ北緯
 四十五度の附近で東に折れて北アメリカ洲の西岸に
 向ふ。對馬海流は對馬海峽を通つて日本海に入り本
 州北海道の西岸を洗つて間宮海峽に入る。寒流の千
 島海流は千島列島を洗ひ北海道奥羽の東岸に沿つて
 南下する。そのほか樺太の東岸に沿つて南下する樺太海流間宮海峽から朝鮮の
 西岸に達するリマン海流も寒流である。



〔海洋と文化〕 海洋は氣候を緩和し降雨の源を養ひ、食鹽・魚類・海獸・海藻等多くの
 富源を與へる。海洋は往時は國家や民族の間の障壁であつたが交通機關の發達
 した今日では開闢で自由な交通路となつてゐる。潮汐は交通産業に深い影響を
 及ぼす。ヨーロッパの西岸が緯度に比して非常に暖いのはメキシコ灣流により、又
 日本近海に大漁場があるのは海流によるところが少くない。海流は又交通・水産
 業の發達と密接な關係がある。

〔湖沼〕 陸地内に水を湛へたもので、水質によつて淡水湖と鹹
 湖とに、位置によつて低地湖又は平原湖と高地湖或は山地湖と

に、成因により火山湖・河跡湖・海跡湖・水河湖
 潟湖・斷層湖・環礁湖・人工湖等に分つ。

〔湖沼と文化〕 湖沼は飲料水・灌漑用水・工業用水等
 を供給し、又水力の源泉となる。水運・漁業にも利用
 され、内陸の鹹湖の如きは天然曹達鹽等を供給する
 ことがある。湖沼は氣候を溫和にし、又風景をよく
 する。殊に山間の湖沼には風景のよいものも多く、
 遊覽保養地となつてゐるものが多い。



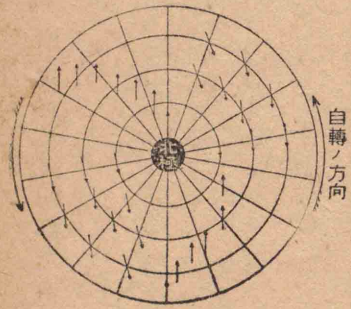
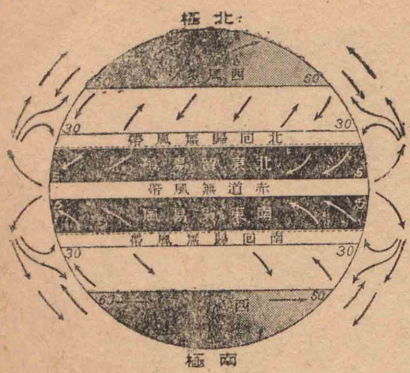
第四章 氣 候

〔氣界〕 地球の周圍は大氣に包まれる。大氣は主に窒素と酸素と
 から成り、地表から上層に行くにつれて次第に稀薄となる。

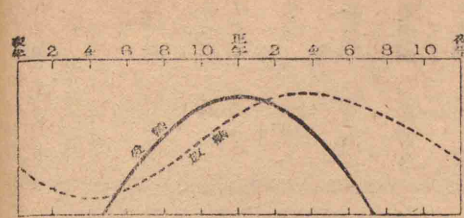
大氣層の高さは五百呎に及ぶと見られる。そして地上十一呎くらゐまでは對流層
 と呼ばれ、溫度の變化、風、雲、雨等の天氣現象が見られるが、それより上は等溫層又は成層
 圈といはれ、溫度が殆ど一定し、天氣現象が見られない。

空氣の容積百分比
 窒素 七八・一
 酸素 二一・〇
 アルゴン
 炭酸瓦斯 少量
 水蒸氣

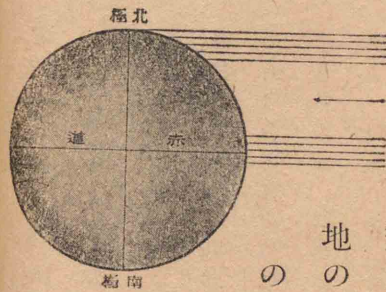
火山湖 蘆湖・中
 禪寺湖・洞爺湖・
 五色沼・男島半
 島の一日沼
 河跡湖 石狩川流
 域の三月湖
 海跡湖 宍道湖
 水河湖 ジュネー
 ヲ湖
 潟湖 サロマ湖・
 河北潟
 斷層湖 琵琶湖・
 諏訪湖
 環礁湖 南洋群島
 に多い
 人工湖 村山・山
 口等の貯水池



(下) 風向は地球自轉の影響を被り北半球では右に偏し、南半球では左に偏する。
 (上) 地表に於ける氣流の循環
 北半球で地球自轉の影響を受けて風向の右へ偏するのを示す

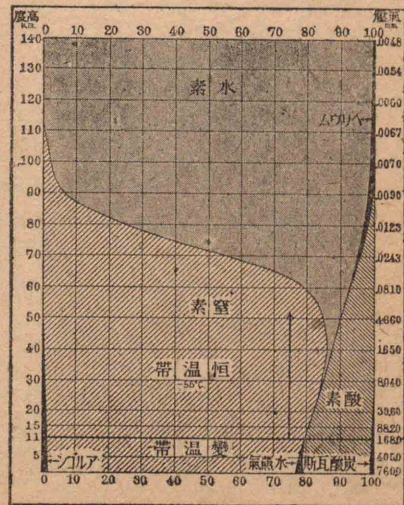


(下左) 熱線の直射と斜射とによつて受ける熱量の差等があるのを示す
 (上左) 一日中の陸地の受熱と放熱
 (下右) 氣圈の縦断面



〔我が國の氣温〕 我が國土の大部分は温帯に位し、且つ周圍が海に圍まれてゐるので、氣温は概ね温和である。併し、國土が南北に長く、又地勢海流季節風等が異なるために熱帶性氣候寒帯

〔氣温〕 大氣の溫度を氣温といふ。氣温は太陽熱によつて大氣が温められるために生ずる。従つて太陽の直射する赤道附近は氣温が著しく高く、兩極に行くにつれて次第に低くなる。併し、氣温は緯度の高低のほか太陽及び土地の高低、水陸の分布、海流の種類、風向及び山脈の位置等にも左右される。同時に各地の氣温を計り、これを海面上の氣温に更正し、等溫度の諸點を連ねた線を等溫度線といふ。等溫度線は必ずしも緯線と平行しない。



性氣候を呈する處もあり、又稍、大陸性氣候を示す處もある。

〔氣壓〕 大氣の壓力を氣壓と稱する。海面上、一平方糎の壓力は水銀柱七百六十耗の重さに等しい。氣壓は土地の高低、氣温、大氣中の水蒸氣の分量等によつて異なる。同時に各地の氣壓を計り、これを海面上の氣壓に更正し、等氣壓の諸點を連ねた線を等壓線と稱する。氣壓は風の發生と關係をもち、又天氣の良否をも決定する。

〔風〕 大氣の運動を風と稱する。風は二地點の氣壓の差異によつて生ずるもので、高氣壓の所から低氣壓の所に向ふ。

赤道附近は氣温が高いので、大氣は熱せられ膨脹して軽くなつて上昇し、この附近に赤道無風帯を生ずる。上昇した大氣は分れて南北に向ひ、反對貿易風を生じ、緯度三十度附近で一部分はそのまゝ極に向つて進むが、大部分は下降し、この附近に回歸無風帯を生ずる。下降した大氣は貿易風となつて赤道附近に復歸するが、極に向つた大氣

(上左)

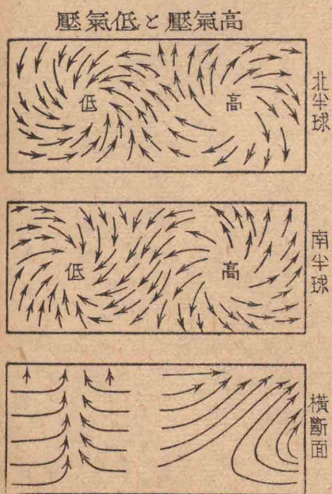
低気圧の進行と天気とを示す
黒點は降雨を示す。前方は盛に雨を降らして新に低気圧部を生ずるが、後方は晴れて主に風のみが吹く。



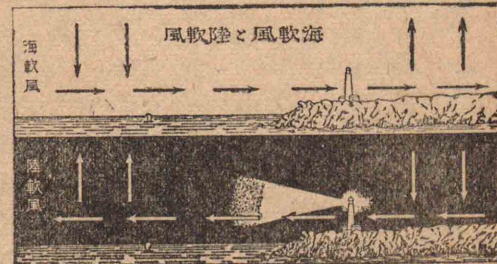
は地球自轉の影響を被り、次第に西の卓越風に變ずる。

〔季節風〕大陸の内部は夏季海上よりも低気圧なので、海から陸に向つて風が吹くが、冬季は反つて高気圧なので、陸から海に向つて風が吹く。かく季節によつて一定の方向に吹く風を季節風と稱し、南東アジアに最もよく發達してゐる。

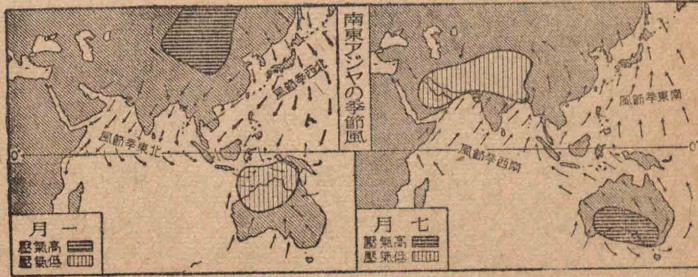
〔海軟風と陸軟風〕季節風と同じ原理で、海岸では日中海上から陸上に海軟風が吹



き、夕刻を過ぎると反對に陸地から海上に陸軟風が吹く。

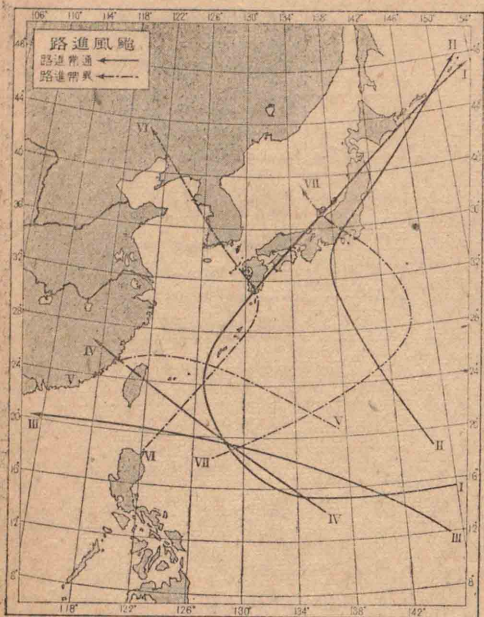


〔旋風と颱風〕氣圈の小さな部分に甚だしい低気圧が生ずると、周囲の高圧部から氣流が螺旋狀に集まる。これを旋

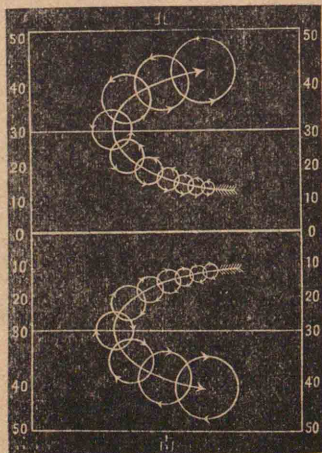


(下右)

北半球と南半球とに於ける低気圧の進路



風といふ。又氣圈の一部に高気圧が生ずると逆旋風を生ずる。南支那・日本・アメリカ合衆國南緯には颱風と呼ばれる低気圧が襲來して大被害を與へることがある。併し、颱風は豫知出来る場合が多いので、天氣豫報に注意し、襲來の處のある時は適宜これが對應策を講ずれば、その被害を少くすることが出来る。



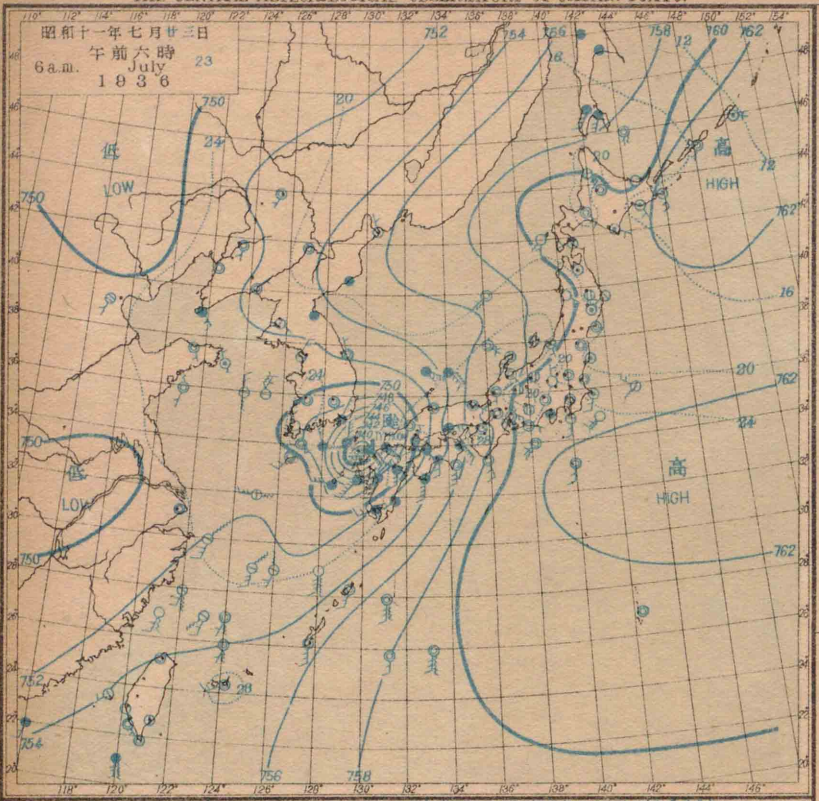
〔湿度〕大氣中

の水蒸氣の分量を絶対湿度と稱し、その飽和の状態にある水蒸氣の分量と絶対湿度との比を相對湿度と稱する。

〔降雨〕大氣が冷却すると大氣中の水蒸



天 氣 圖
THE CENTRAL METEOROLOGICAL OBSERVATORY OF JAPAN, TOKYO.



昭和十一年七月廿三日 午前六時 1936 July 23 6 a.m.

緯度	風向	風速	雲量	湿度	露点	視程	備考
40°N	北	1.5	0	75	65	10	
35°N	北	1.5	0	75	65	10	
30°N	北	1.5	0	75	65	10	
25°N	北	1.5	0	75	65	10	
20°N	北	1.5	0	75	65	10	
15°N	北	1.5	0	75	65	10	
10°N	北	1.5	0	75	65	10	
5°N	北	1.5	0	75	65	10	
0°	北	1.5	0	75	65	10	
5°S	北	1.5	0	75	65	10	
10°S	北	1.5	0	75	65	10	
15°S	北	1.5	0	75	65	10	
20°S	北	1.5	0	75	65	10	
25°S	北	1.5	0	75	65	10	
30°S	北	1.5	0	75	65	10	
35°S	北	1.5	0	75	65	10	
40°S	北	1.5	0	75	65	10	

東京地方天気概況

午前六時	晴	風速 1.5	湿度 75
午後六時	晴	風速 1.5	湿度 75
夜間	晴	風速 1.5	湿度 75

明日の天気概況

午前六時	晴	風速 1.5	湿度 75
午後六時	晴	風速 1.5	湿度 75
夜間	晴	風速 1.5	湿度 75

天気象信号標

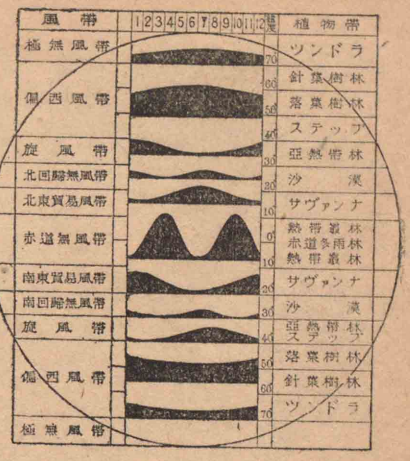
風の旗	天気象	霧の旗
北の風	晴	霧
北東の風	曇	霧
東の風	曇	霧
南東の風	曇	霧
南の風	曇	霧
南西の風	曇	霧
西の風	曇	霧
北西の風	曇	霧

気象特報信号標

風力強クナル	風力強クナル	風力強クナル
風力強クナル	風力強クナル	風力強クナル
風力強クナル	風力強クナル	風力強クナル

年雨量

鹿島	二、六〇〇
高尾山	二、一〇〇
岡津	一、九〇〇
金澤	一、七〇〇
沼津	一、五〇〇
東京	一、四〇〇
秋田	一、三〇〇
札幌	一、二〇〇
大泊	七、三〇〇



風帯・雨量及び植物景觀の關係

最も多いのは印度の北東部で、殊にアッサム地方は年雨量が一萬二千耗に達することがある。降雨の少いのはサハラ・アラビヤ等から蒙古に亘る一帯の地方である。

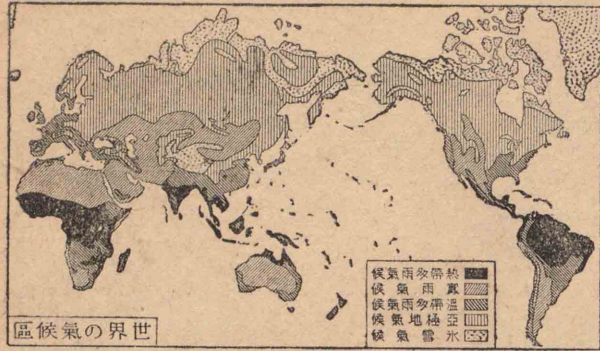
〔我が國の降雨〕 我が國は一般に雨量が多いが、北部に進むに従つて概して少い。夏の季節風では表日本朝鮮臺灣南部に雨が多く、冬の季節風では裏日本に雪が多く、臺灣北部では雨が多い。初夏の候には北海道を除いた内地では梅雨の現象を見る。

〔天氣〕 短期間の大氣の状況を天氣といふ。而して或時刻の天氣を圖示したものを天氣圖といひ、これに基づいて天氣豫報を作る。

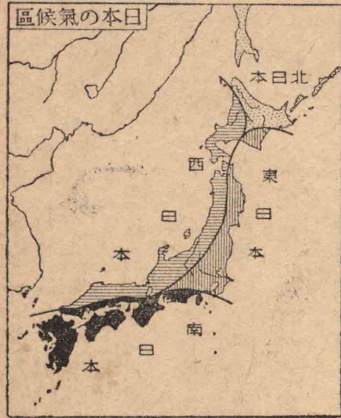
氣は凝固して水分子となり、雲霧となり、又雨雪雹等となつて地表に降下する。大氣中から降下する水分の總量を降水量又は雨量と稱する。而して降水量の等しい地點を連ねる曲線を等降水量線といふ。

赤道附近は高温で、蒸發が盛である上に、濕潤な大氣が上昇して冷却するから常雨帯をなし、雨量が非常に多い。又海上から陸に向つて風が吹き、且つ背後に山脈を控へてゐる海岸地方は雨量が多い。

これに反して海から離れた大陸内部は雨量が少い。地球上降雨の



世界の気候界

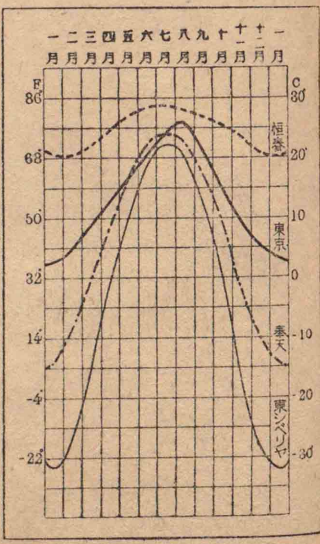


【気候帯】気候区 同一性質の気候をもつ地帯又は地域を気候帯或は気候区と稱する。地球上の気候帯を設定する方法のうち最も普通な



(下左) 世界の三帯
(下右) 大陸性気候と海洋性気候との比較
台北 1,111
仁川 1,080
大連 611

【氣候】長期間に亙る大氣の狀況即ち天氣の平均状態を氣候といふ。氣候は氣温によつて熱帯氣候、温帯氣候、寒帯氣候に、又海洋の影響の有無によつて、海洋性氣候と大陸性氣候とに分たれる。人類の生活に快適な氣候は温帯氣候及び海洋性氣候である。

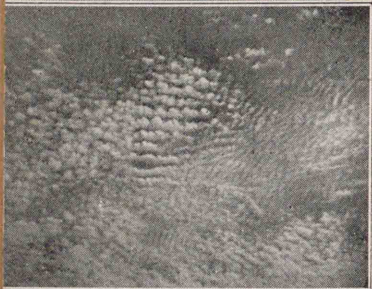




風暴砂るけ於に漠沙ラハサ



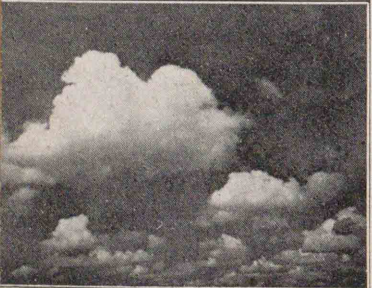
巻雲



巻積雲

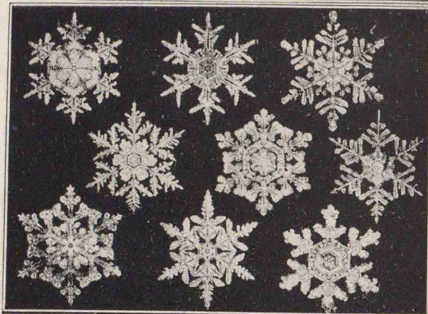


層積雲

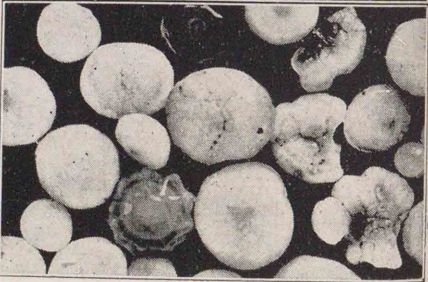


積雲

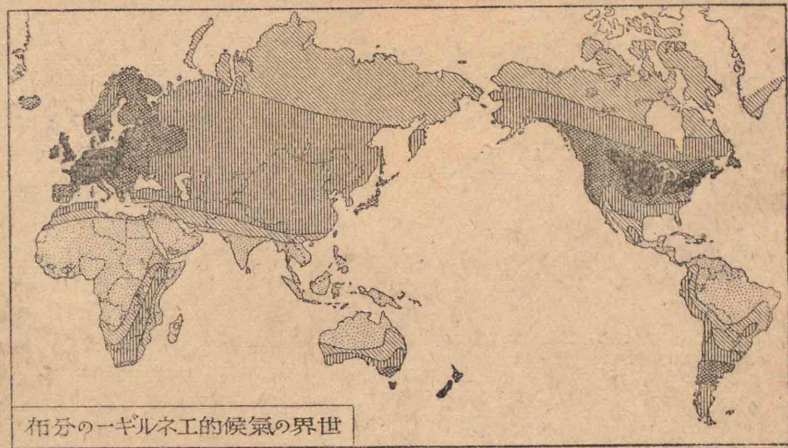
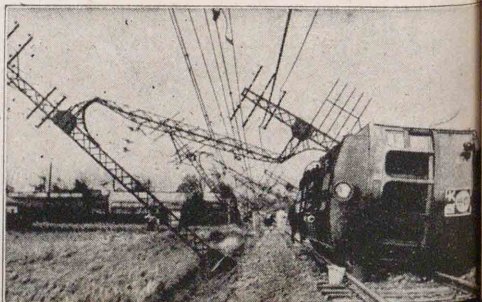
風旋たつ起に上陸



雪の結晶



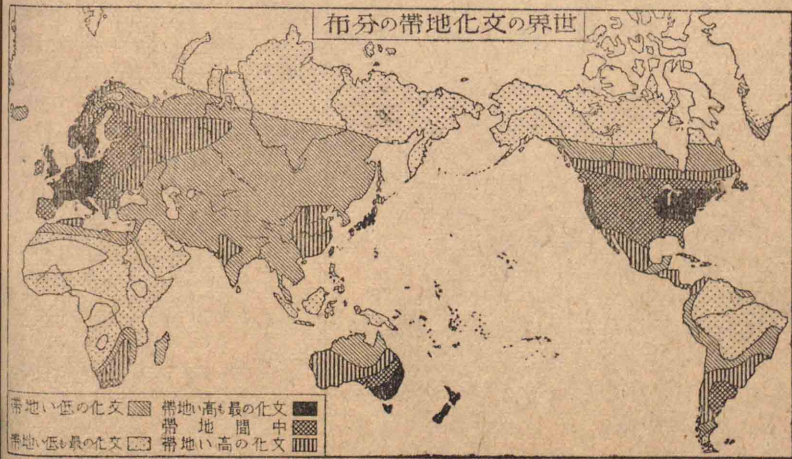
を方地西關月九年九和昭
害被るよに風旋たつ襲



帯分の一ギルネ工的候氣の界世

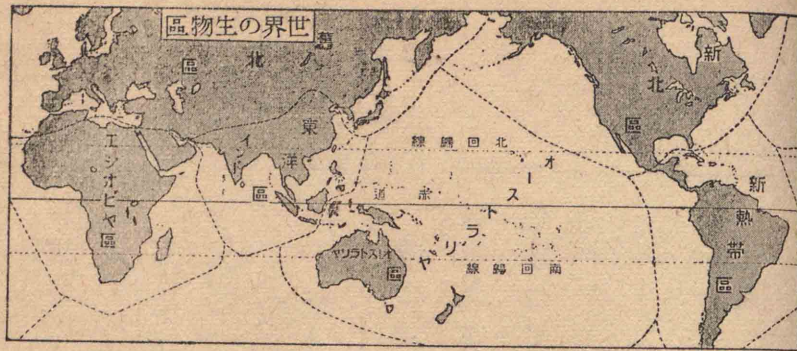
日文化が最も進んでゐる所は氣温雨量が適度で、

ものは、緯度又は氣温を標準として熱帶・溫帶・寒帶に分つ方法である。
 「氣候と文化」氣候は人類の生活に重大な關係を持つ。即ち氣候は人類の活動力を左右し、又動植物の分布を通じて物産の種類と産額とを決する。空氣は人類の呼吸作用に、炭酸瓦斯は植物の同化作用に缺くことが出来ず、窒素は化學工業の原料となる。風は動力として重要であり、又航海にも利用される。雨は植物動物の生存に缺くことが出来ない。かくて今



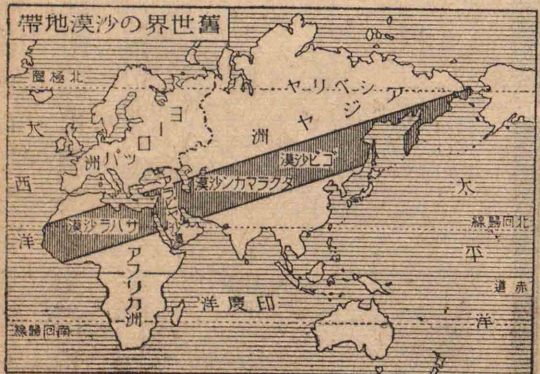
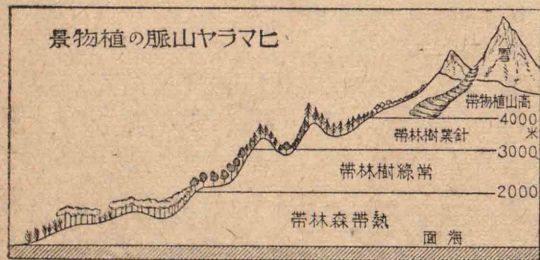
帯分の帶地化文の界世

帶地い區の化文 帶地い區の最の化文
 帶地い區の具の化文 帶地い區の高の化文
 帶地い區の中 帶地い區の高



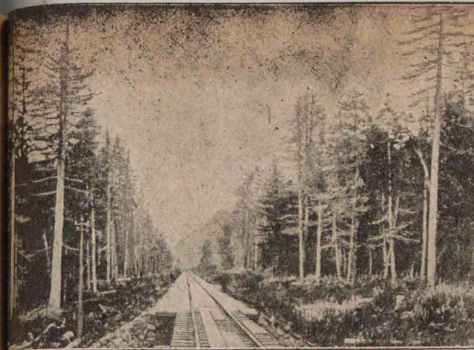
よつてゐる。動物は植物ほ

も熱帯林温帯林寒帯林の區別があるのも亦主に氣候によつてゐる。動物は植物ほ



且つ變化のある刺戟的な氣候の地方、即ち氣候條件の最良の地方である。尤も人類は或程度まで氣候に堪へ得る能力を持つてゐる。氣候に對する人類の適從を氣候順化と稱し、その力は人類によつて異なつてゐる。

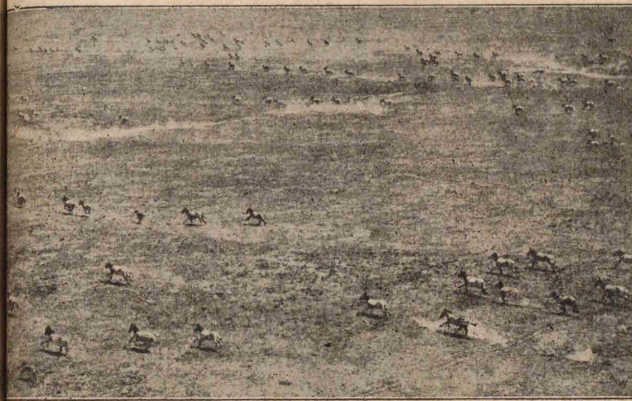
〔生物〕 氣候は植物分布を左右する第一の要因である。沙漠は雨がないために、凍地帯は寒冷氣候のために生じ、ス



北海道北見地方の針葉樹林



北西部のヤリベシのラドンツ



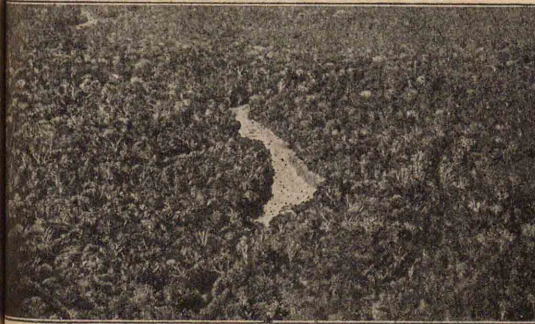
カリフォルニアの草地に於ける馬の大群



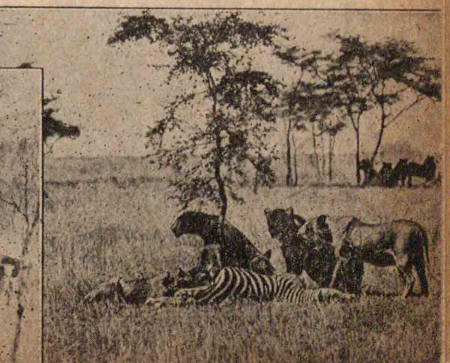
中央アメリカのサボテン



サハラ沙漠



アマゾン川の流域の原始林



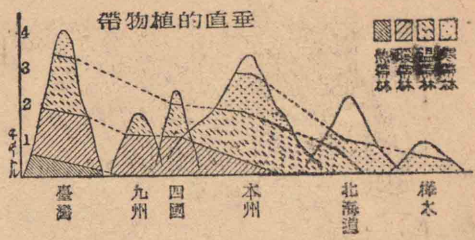
草の地帯に棲む獅子



ツエツト聯邦北部の馴鹿群

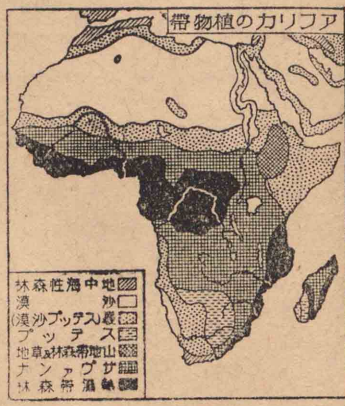
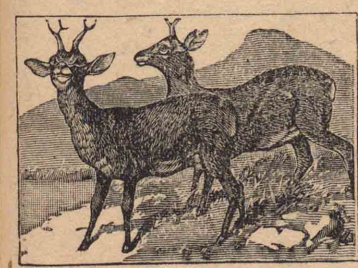
世界の人口	千
アジア	1,160,000
ヨーロッパ	500,000
北アメリカ	160,000
南アメリカ	100,000
アフリカ	100,000
大洋洲	100,000
合計	2,120,000
世界の人口密度	人
ヨーロッパ	30
アジア	20
北アメリカ	15
南アメリカ	10
アフリカ	5
大洋洲	5
世界	1

各氣候帶面積	千
熱帯	2,100,000
兩温帯	2,200,000
兩寒帯	1,800,000



帯に棲息し難い。又動物は植物の分布を通じて間接的には大きな影響を被つてゐる。

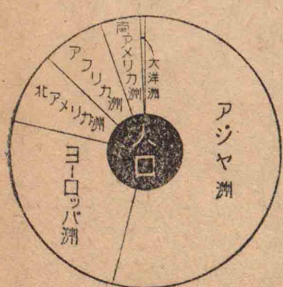
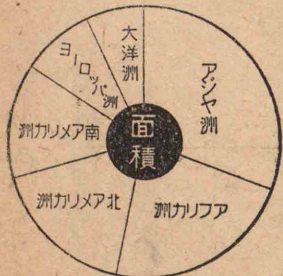
沙漠は熱帯から温帯にかけて存する不毛の土地で、僅かにオアシスのみが生産地帯をなす。仙人掌、駱駝等の特殊な生物がある。ステップ、プレイリー、パンパス等は温帯草原で、雨の乏しい大陸内部に広がる草原である。

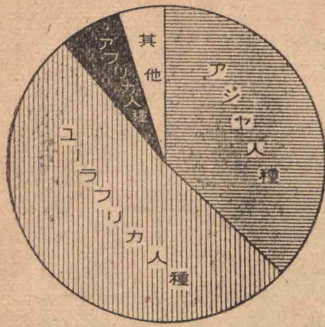


原である。牧畜に利用されるほか、肥沃で水の便のある地方は農耕にも利用されてゐる。サヴァンナはリノスグランチャコ等と共に熱帯草原に属し、大體熱帯の雨の稍乏しい地方にあつて、乾濕二期があらはれ、草原の中に疎林を交へてゐる。氣候の冷涼な所は農耕に利用されてゐる所もある。凍地帯は極北の地にあつて、樹木が少く、夏季僅かに馴鹿等が生育するに過ぎない。

第五章 住民 附聚落

「世界の人口」地球上に居住する人類の總數は約二十一億に達する。その過半はアジア洲に居住し、残部の二分の一はヨーロッパにあり、他の二分の一は北アメリカ、南アメリカ、アフリカ、大洋洲の諸洲に居住する。世界の人口は絶

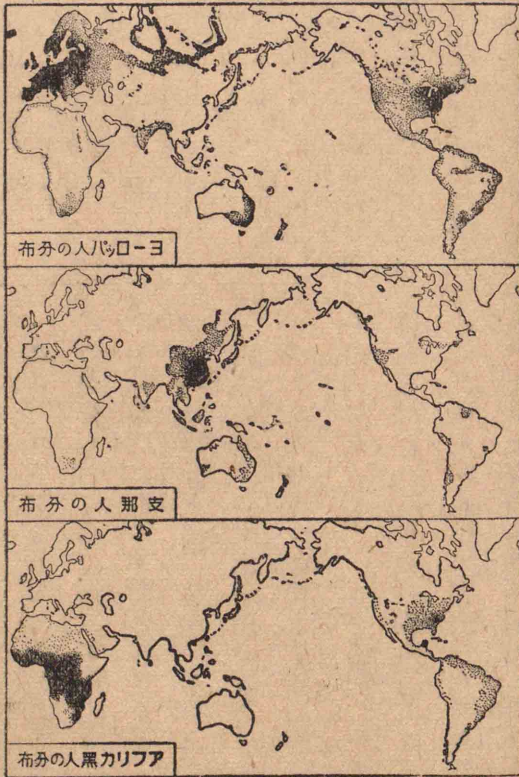




(上左) 人種別人口割合

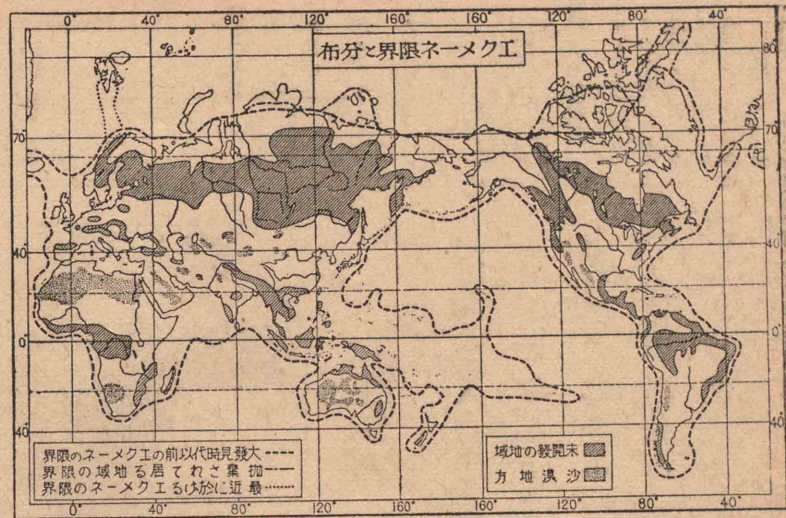
(上右) 諸人種の分布

〔人種〕 世界の住民はその居住地の異なるに従つて、體質・容貌・文化等を異にしてゐるので、アジヤ人種・ヨーロッパ人種・アフリカ人種・アメリカ人種・海岸島嶼人種の五人種に分けられる。



〔アジヤ人種〕 蒙古人種ともいへば、主にアジヤ洲の北東部に居住し、その数は八億に達する。皮膚は黄色で、大和民族・朝鮮族・滿洲族・漢族・蒙古族等がこれに属する。古い文化をもつてゐるが、今日では大和民族が最も優勢である。

〔ヨーロッパ人種〕 十億に餘り、ヨーロッパ・アジヤの南西部・アフリカの北部・南北アメリカ・大洋洲等に居住する。概ね皮膚は白色、頭髮は褐色で、科學文明に長じ、富強な國家を建設してゐるものが多く、現代世界文化の指導的地位にある。



しい北アメリカ・南アメリカ・アフリカ・大洋洲に少い。

えず増加してをり、數年前までは十八億に過ぎなかつた。人口の自然増加率は民族により異なり、文明人は概して高く、未開民族の如きは反つて減少してゐる。

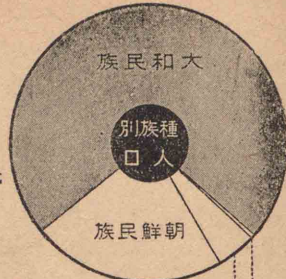
〔人口密度〕 人類は世界中に一様に分布してゐるものではなく、地勢・氣候・生産狀況等に應じて、地方的に疎密の差がある。高緯度の極寒地・沙漠・高山等には殆ど住民がをらず、山地・草原等には疎で、平原の農耕地には密であり、商工業地に最も多い。人類の居住地域をエクメーネといふ。世界の平均密度は一方籽に約十六人である。密度は商工業の盛大なヨーロッパ、殊にその北西部に最も多く、古い歴史をもつアジヤ洲がこれに次ぎ、歴史の新

表 覽 一 種 人 の 界 世

人 種	人 口	主 要 民 族	身 體 的 特 徴
アジヤ人種 (蒙古人種)	約八億	大和・滿洲・蒙古・漢・印度支那・ドラウイダ・トルコ・マジヤール・フィン・ラップ	皮膚黄色 頭髮黒く直し 鬚少し
ヨーロッパ人種 (コーカシヤ人種・ユーラシア人種)	約十億	チュートン・ラテン・スラヴ・ケルト・レット・リツアニア・ギリシヤ・アルパニヤ・セム・ハム・ヒンヅ・イラン・コーカサス	鼻高 頭髮褐色波狀 紅彩青色
アフリカ人種	約二億	スダンネグロ・パンツネグロ・フリーラー・ホッテントット・ブッシュマン・ビゲミー	皮膚黒褐色 頭髮黒卷縮 唇厚く突出す
アメリカ人種	約一億	アメリカインヂヤン・エスキモ・カリブ・バタゴニヤ	皮膚銅色 頭髮黒く直し 鬚少し
海岸島嶼人種 (マレー人種)	約五千萬	ポリネシヤ・メラネシヤ・マレー・オーストラリア・ホヴァ	皮膚褐色 頭髮黒卷縮

で、文化も發達してゐない。我が臺灣の高砂族はこれに屬する。

〔我が國の種族〕 大和民族は主に内地に居住し、總人口の約八割を占めてゐる。北海道樺太には先住民族のアイヌ族が僅かに殘留し、朝鮮半島には大和民族に次いで多數の朝鮮民族、臺灣には漢族が居住する。又臺灣の山中にはマレー人種に屬する高砂族



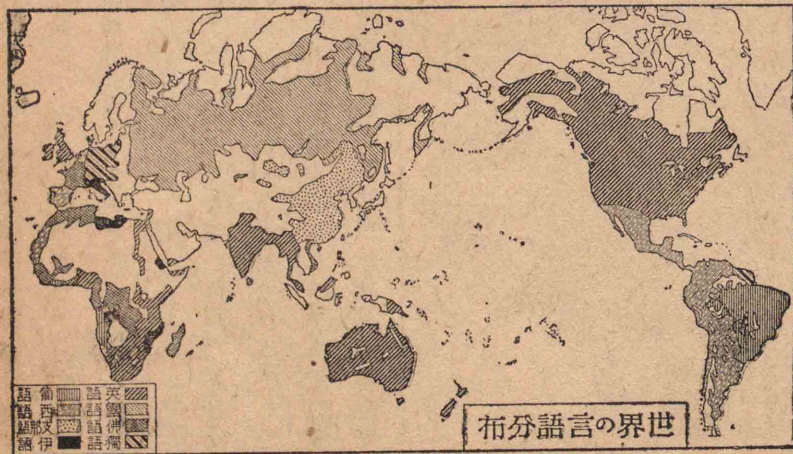
本邦各種族數
大和民族 七、三九〇千人
朝鮮民族 三、九三三千人
漢族 四、七三九千人
高砂族 一、四〇〇千人
アイヌ族 一、七五〇人
オロチン族 三、〇〇〇人
ニクブン族 一、二〇〇人
キーリン族 一、六〇〇人
サンダー族 一、〇〇〇人
ヤクーツ族 一、〇〇〇人

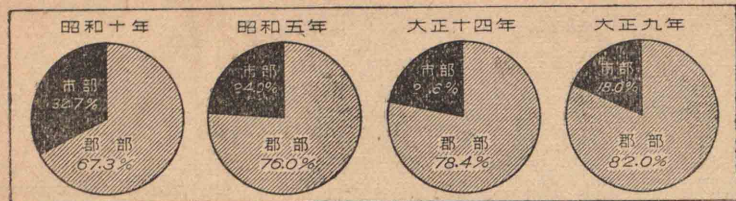
族民漢
ノチロ、ヌイア、勝種-レマ
ロモヤチ、カナカ、ンブクニ

が殘留してゐる。尙樺太にはオロチン族・ニクブン族等が居り、小笠原には白人の歸化人が住んでゐる。

〔言語〕 世界の各民族の言語は一樣ではなく、一國に於てすら數種の言語が用ひられる場合がある。かくの如きは國家の統一上不便であるから、各國共これが統一に努めてゐる。又同一言語が數箇國に互つて用ひられる場合も少くない。

世界の主要な言語は英語ドイツ語フランス語
イスパニヤ語イタリヤ語ポルトガル語ロシヤ語
印度語マレー語支那語日本語等である。英語は商業語外交語として全世界に互つて廣く用ひられ、フランス語は外交語社交語として、ドイツ語は學術語として重んぜられてゐる。我が國では一

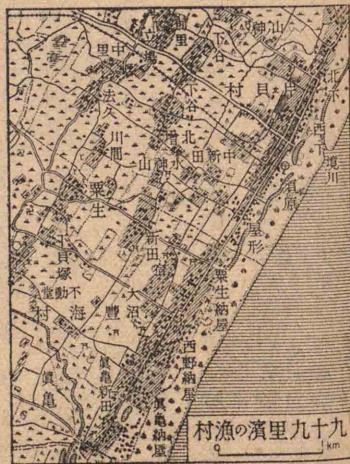




(上) 我が國の都市村落の人口割合

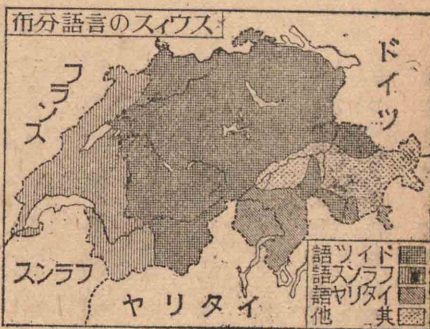
や泥で家屋を作り、熱帯の土人は樹上に小屋を作り、エスキモー人は冬季氷の中に住むことがある。遊牧民は屢居を移すので天幕の中に生活し、北支那には穴居するものもある。文明人の住居は木材・石・コンクリート等を用ひ、家屋の構造は堅牢壯大で、設備の完全なことは未開人の想像することもあるほどである。

〔聚落〕 住居の集團を聚落といふ。人類は孤立して生活するものでなく、必ず集まつて共同生活をなすので、聚落と人類生活とは切離すことが出来ない。聚落は海岸、河岸等の平地に多く發達するが、熱帯地方では却つて山地に多い。聚落は村落と都市とに分たれる。村落は小聚落で、その住民は主



全語言使用人数

支那語	百萬人
印度・アフリカ語	四萬人
英語	二四〇〇
ロシア語	一八〇
イスパニヤ語	二一〇
ドラヴィダ語	七五
ドイツ語	七〇
日本語	七〇
マレー語	六〇
フランス語	三〇
イタリヤ語	三〇
ポルトガル語	三〇

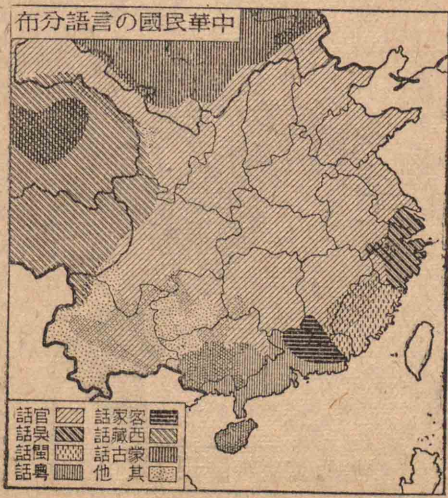


てゐるほか、神道は古來惟神の道として國民道徳の基礎をなし、國民的信仰を得てゐる。

〔住民〕 人類は住居を作つて生活の本據とする。住居の形式と材料とは文化の程度、風土の如何に應じて異なる。森林の多い地方では木材を建築材料となし、森林に乏しい地方では石

部分に朝鮮語、支那語等が行はれてゐるが、大部分は國語、日本語を用ひ、而もそれが次第に普及してゐるから國家の統治には頗る便利である。更に日本語は滿洲國、北支那等にも用ひられるやうになつた。

〔宗教〕 人類は生れつき宗教心をもつてゐる。世界の各民族はそれぞれ固有の宗教をもつてゐるが、今日世界で最も廣く行はれてゐる宗教は佛教、キリスト教、回教であり、このほか、印度の印度教、ユダヤ人のユダヤ教、支那の儒教等がある。我が國では佛教が廣く信仰され

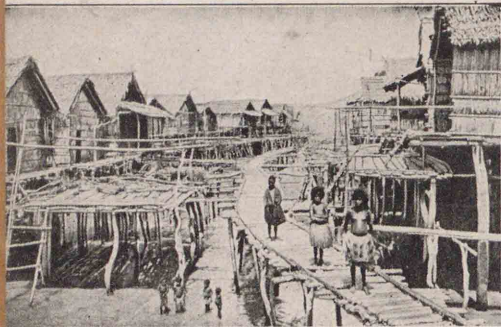




民居穴む營を居住てつ穿を層土黃



家住るけ於に近附ボ、レアのヤリシ



屋家上水の人士島アバ



屋家の人士のカリフア部東



民居舟い多に那支南



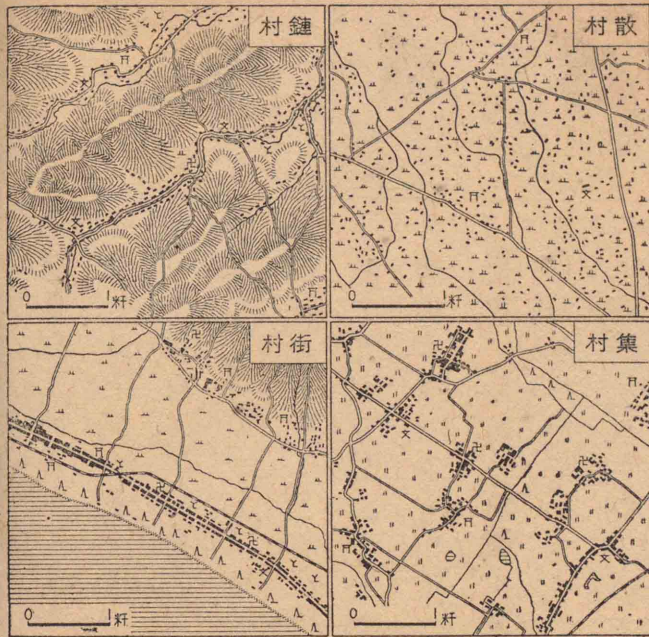
屋家幕天式動移の人古蒙



クーヨーニるす立聳の築建大的代近



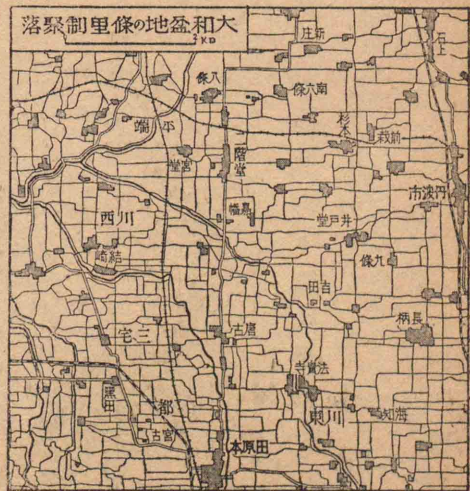
たつ作で皮毛の獸海
屋家のーモキスエ

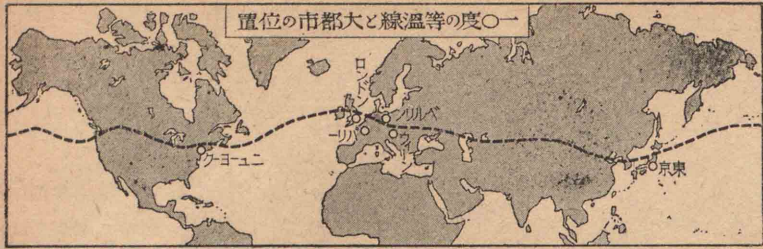


として農業牧畜林業漁業等の原始産業に従事する。都市は大聚落で、その住民は主に商工業を営む。農業地方には村落が多く、商工業地方には都市が発達する。イギリス、ベルギー、オランダ、ドイツ等は都市の密度が大である。我が國でも都市人口は次第に増加してゐる。

〔村落の種類〕村落は住民の生業により農村・漁村に、又外部形態によつて散村・集村・鐘村・街村等に分つことが出来る。散村とは人家が散在し、集村は人家が密集

には村落が多く、商工業地方には都市が発達する。イギリス、ベルギー、オランダ、ドイツ等は都市の密度が大である。我が國でも都市人口は次第に増加してゐる。

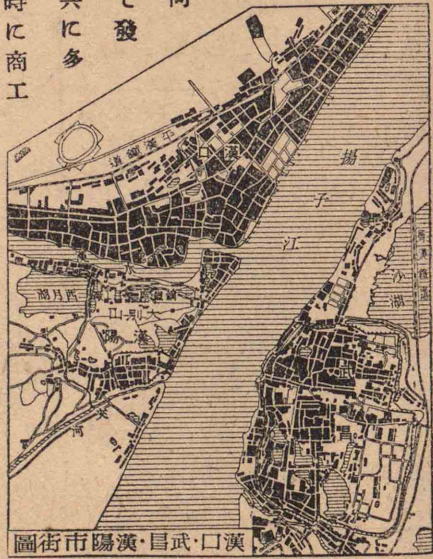




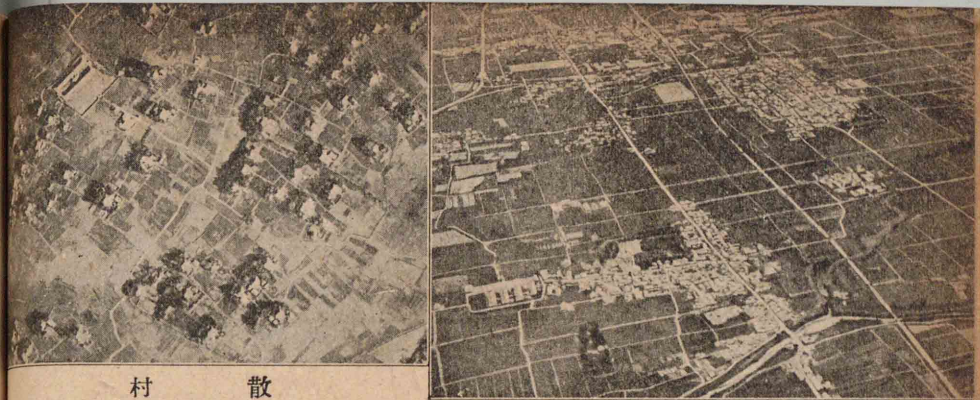
し、農村は人家が帯状に散在し、農村は人家が線状に密接排列するものである。

〔都市の種類〕 都市の發達は商工業に負ふところが最も多いので、商業都市工業都市は都市中で最も多い。交通の要地に發達する交通都市は概ね同時に又商業都市である。鑛業に伴つて發達する鑛山都市は近代工業の發達と共に多くなつた。政治都市は今日では又同時に商業都市になつてゐるものが多く、純粹の政治都市は少いが、往時の大都市は概ね政治都市であつた。軍港又は兵營の所在地に發達する軍事都市も往時は有力な都市型式であつた。その外、學術都市、宗教都市、保養遊覽都市等がある。

〔都市の位置〕 都市は多く河岸の平地に發達し、特に大河の河口には大都市が發達する。海峡に面する海岸、灣頭、大河の屈曲部、水の所在地、湖畔、山地と平地との接觸地、境界等には都市が發達し易く、道路、鐵道等の會合點にも概ね都市が見られる。又都市の發



圖街市陽漢・昌武・口漢

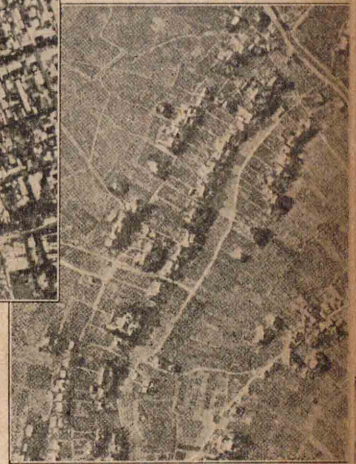


散村

集村



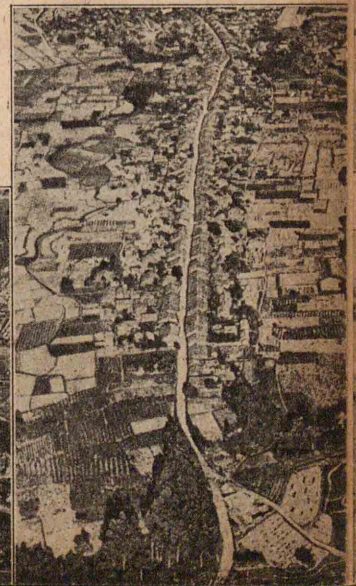
街市平琴たし達發に狀段階



街村



ントンシワたし達發に狀射放

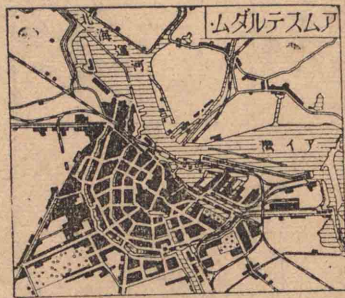


採集經濟とは經濟發展の諸階梯中で最も初期に位し、草根・果實その他の野生のものを採集して生活するもので、耕作・牧畜等には行はれないのが特徴である。

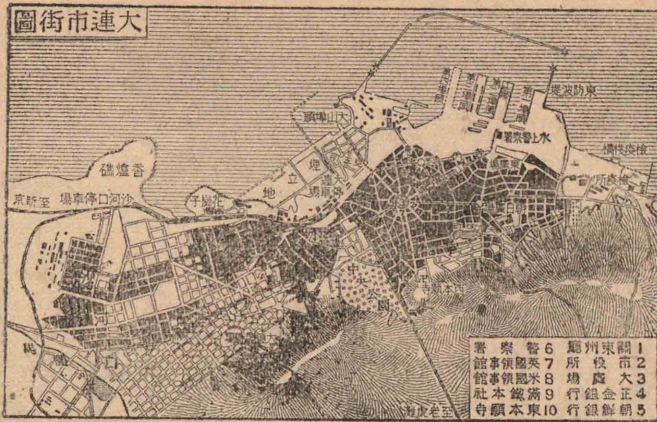
第六章 産業

第一節 農業

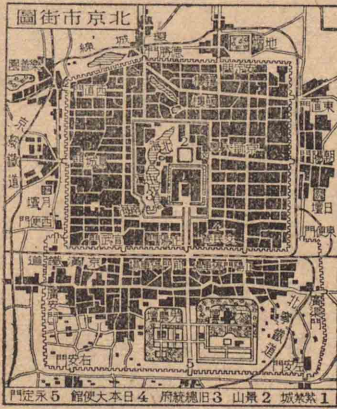
〔農業〕 農業は植物を人為的に育成増殖し、これから有機的生産物を得ることを目的とする産業である。人類は原始時代から必ずしも農耕を主たる生業としたものではなく、最初は久しい間採集や狩獵によつて生活して居つたので、それまでの生活は高い文化を作ることが出来なかつた。農業は人類の經濟發達史上、餘程後世になつ



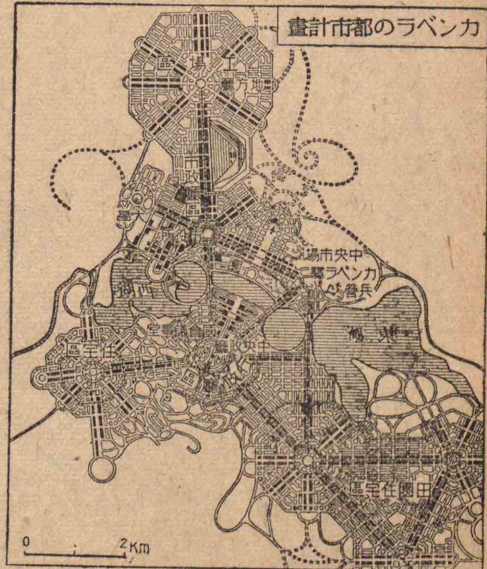
然的都市にあつては街路は概ね不規則である。都市の形状には京都札幌豊原の如き直交式、大連パリーの如き放射狀式、ブダペスト・アムステルダム・の如き扇狀式、モスコウ・ウイン等の如き同心圓式等があるが、又ロンドン・東京の如く不規則な形状をとるものもある。



圖街市連大

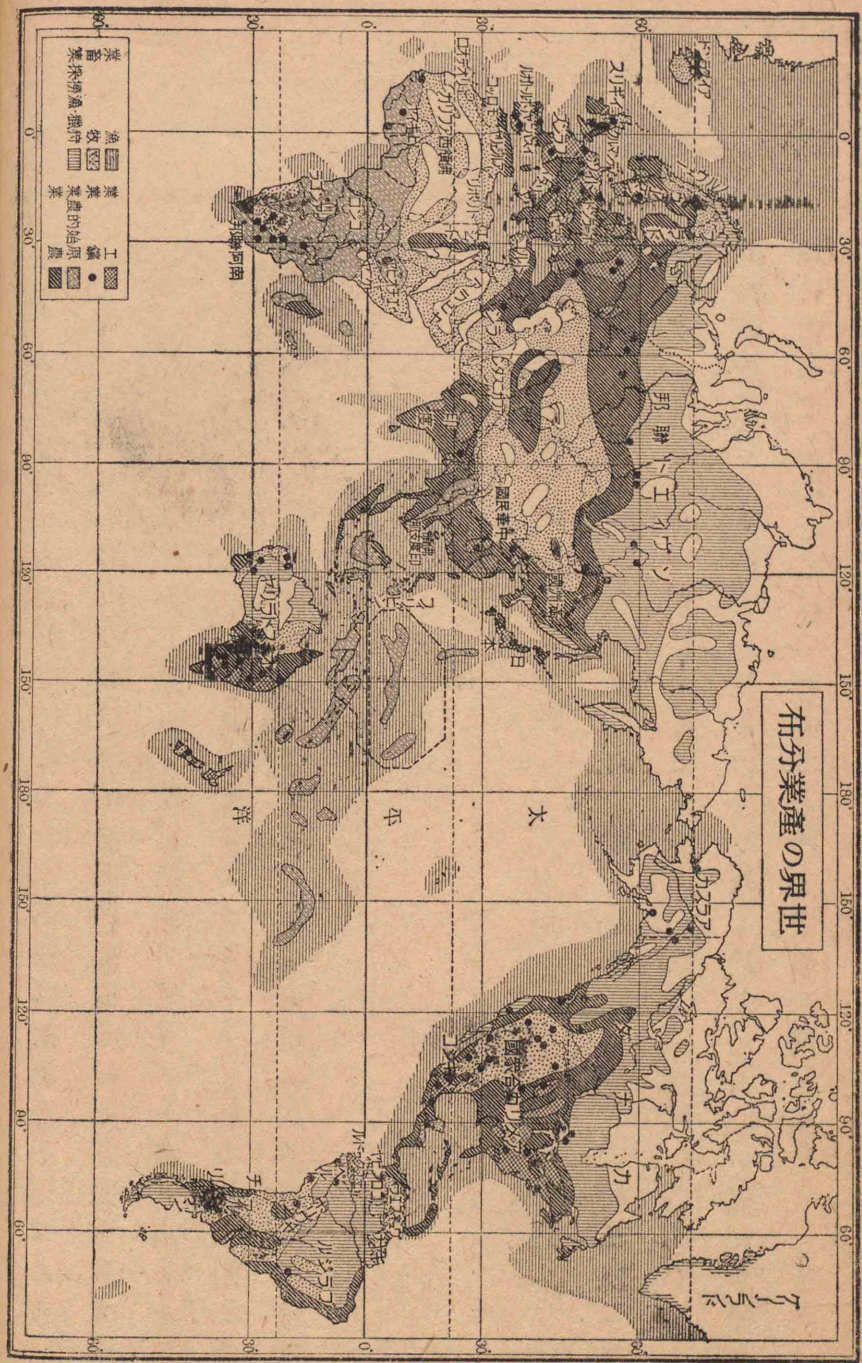


一定の都市計畫によつて設立された人為的都市は、概ね街路が整然としてゐるが、無秩序な發展に委された自



畫計市都のラベンカ

達は氣候にも關聯し、大都市は温帯に多い。



布分業産の界世

本書の統計類はすべて昭和十二年以前の資料に據る。

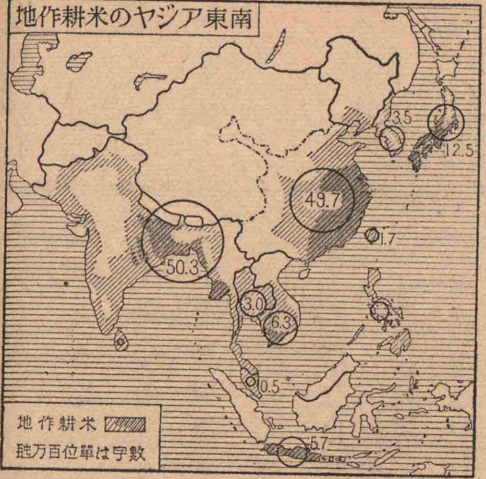
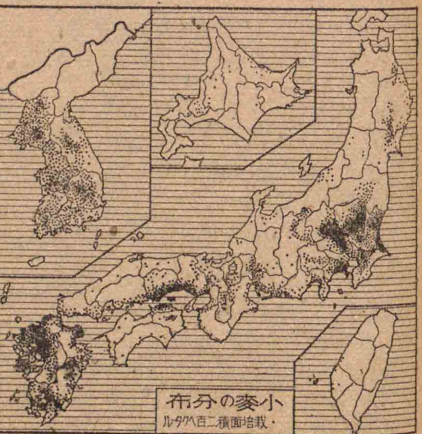
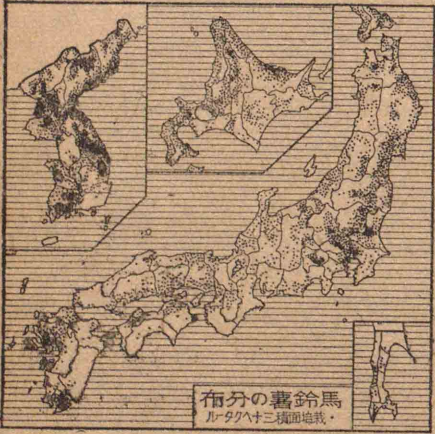
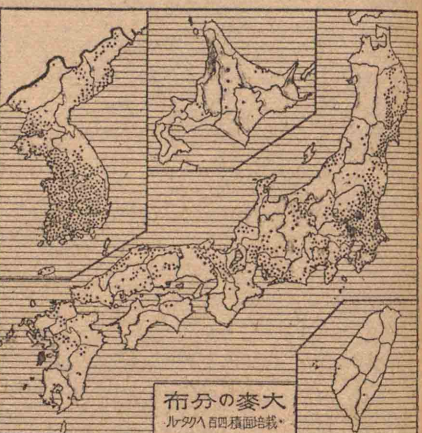
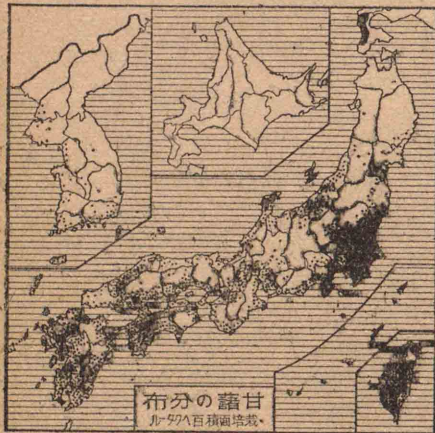
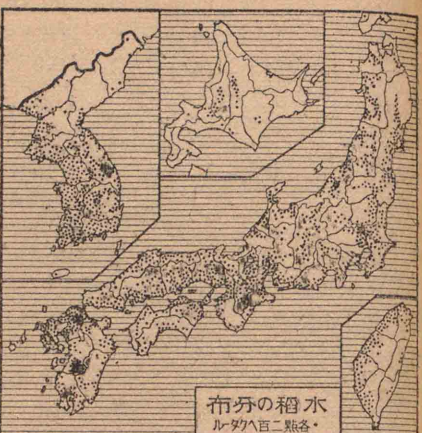
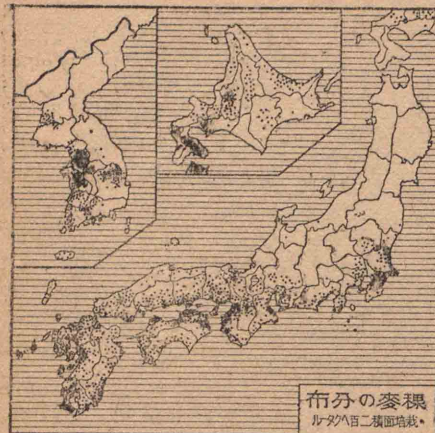
列國の耕地面積

ソウイェト	一七
印度	二七
アメリカ合衆國	二六
アルゼンチン	二七
カナダ	二二
フランス	二〇
ドイツ	一九
ポーランド	一六
イスパニヤ	一三
オーストラリア	一三
イタリヤ	一三
滿洲國	一三
日本	一三

てあらはれたもので、農業によつて人類は安住な生活を始め、生活の安定と規則性とを得、又比較的狭い面積の土地に多數の人が相集まつて社會を作り、豊かな生活を樂しむことが出来るやうになり、高級な文化を創造する端緒を開いた。農業はいづれの國でも概ね古くから立國の基礎であつて、衣食の原料は多く農業から得られ、又商業も間接には農産物に深く依存してゐる。

〔農業の種類〕 農業の經營法に小農法と大農法とがある。小農法は早くから開けた地方や、土地の狭い地方に行はれ、地力を極度に利用する集約的農法で、單位面積當りの收穫高は頗る多い。我が國や中華民國の園耕はその代表である。大農法は新しく開かれた土地の廣い地方で、豊富な資本を背景として機械や家畜の力を多く利用して大規模に行ふ粗放的農法で、單位面積當りの收穫高は少いが、農業者一人當りの收穫高は多い。アメリカ合衆國カナダ、オーストラリア、アルゼンチン等は、大農法の行はれる代表的な地方である。又文明人の移住に適しない熱帯地方では、文明人が知識と資本とを投じ、土人その他の労働者を使つて熱帯性植物を栽培する栽培農業が行はれる。

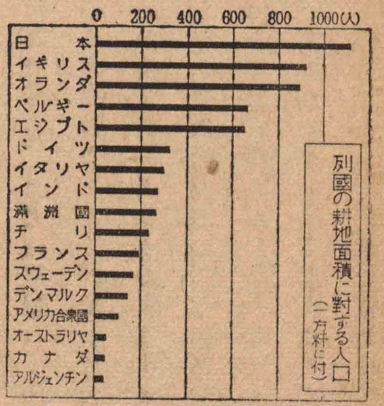
〔耕地と農業者〕 農業に於て作物の栽培される土地を耕地といふ。耕地の面積は地

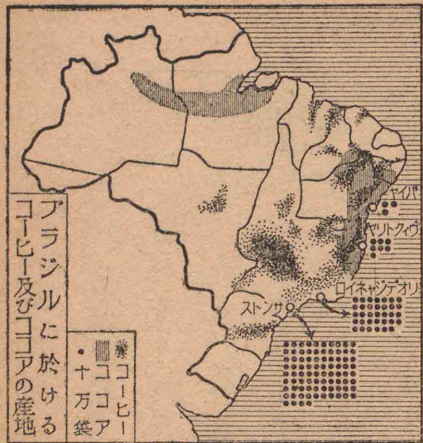


勢地味氣候等の地理的條件や開拓の時期耕作の方法
その他の社會的條件によつて一様でない。列國中耕
地面積の最も大きいのはソヴェエ聯邦で、印度、アメリカ
合衆國、アルゼンチン、カナダ等がこれに次ぐ。國民の
生活資料は最も多く農業に仰ぐから耕地に對する人
口の多少はその國の生活の難易や人口問題を示す一
標準となる。列國中、耕地に對する人口の最も多い

のは我が國で、イギリス、オランダ、ベルギー等がこれに次ぐ。

〔農産物〕 米は濕度が高く、暑熱の強いアジアの季
節風帯を主産地とし、印度支那からは多く海外に輸
出する。小麥は氣候の溫和なヨーロッパ、北アメリカ
に廣く栽培され、アメリカ合衆國、ソヴェエ聯邦、カナ
ダ、アルゼンチン、オーストラリア、印度等が重要な産
出國で、且つ輸出國である。イギリス、ドイツ等の工
業國と、フランスその他のヨーロッパ諸國は主な小麥

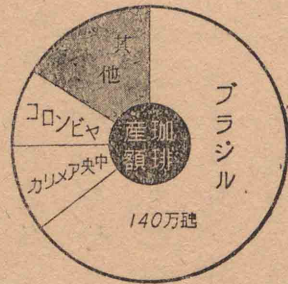




アラビカに於ける
ココア及びココアの産地

黄金海岸	8(万担)	16	24
ブラジル			33%
ジャマカ			
象牙海岸			
中央アフリカ			

ココア産額比較
世界約69万担

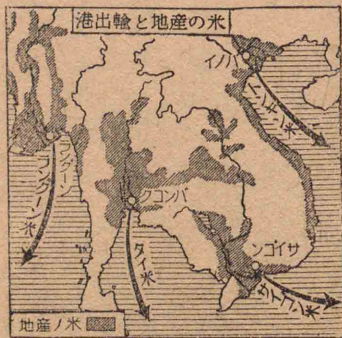


の消費國となつてゐる。ライ麥は東部・中部ヨ
ーロッパ、玉蜀黍はアメリカ合衆國・アルゼンチン
等、馬鈴薯は東部・中部ヨーロッパを
主産地とする。甘蔗糖は熱帶地
方に多く、印度・キューバ・臺灣・フィリッ
ピンを主産地とし、甜菜糖は温帶
に多く、中部並に東部ヨーロッパ諸國及びアメ
リカ合衆國を主産地とする。茶は米と共に
同じく季節風帯に産し、その輸出は印度地方
を第一とし、蘭領印度・中華民國・日本等がこれ
に次ぐ。珈琲は雨量が多く氣温の高いブラ
ジルを主産地とし、ココアはアフリカの黄金
海岸を第一とする。煙草はアメリカ合衆國
に最も多く、印度・蘭領印度・ソヴィエト聯邦がこれに次ぐ。

に最も多く、印度・蘭領印度・ソヴィエト聯邦がこれに次ぐ。

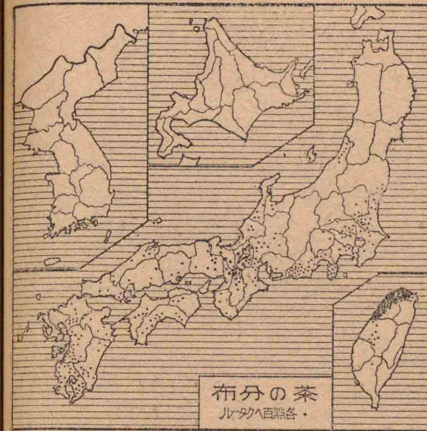
	(百万担)	2	3
印度			23%
キューバ			
日本			
フィリピン			
ハワイ			

甘蔗糖産額比較
世界約1560万担

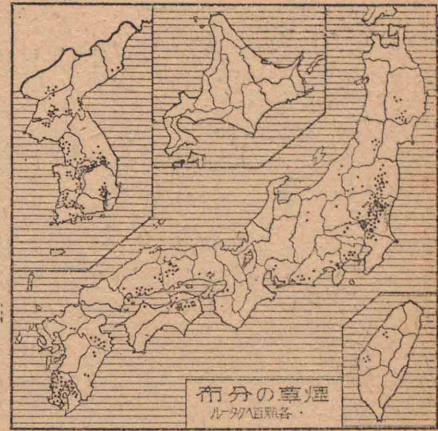


港輸出と地産の米

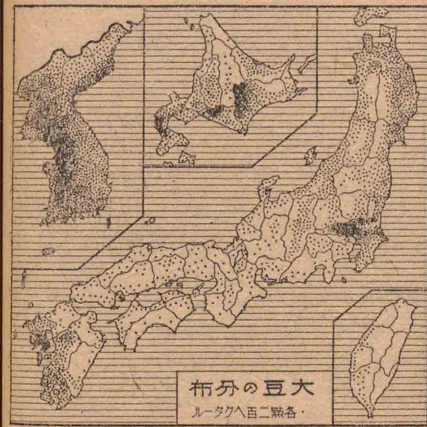
地産ノ米



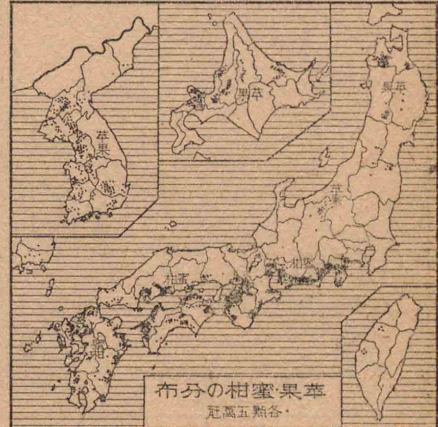
布分の茶
ルーダク八百担各



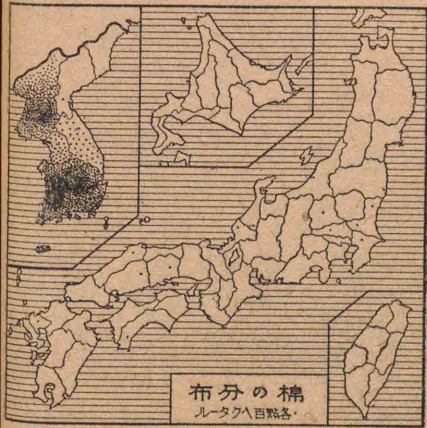
布分の煙草
ルーダク八百担各



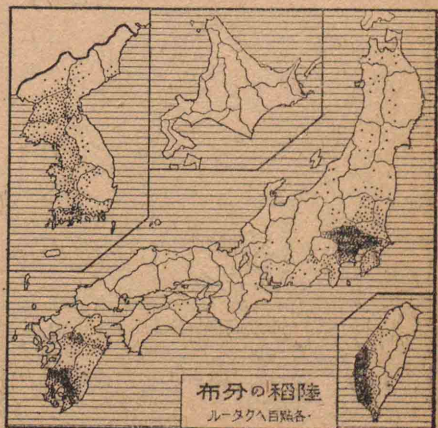
布分の巨大
ルーダク八百担各



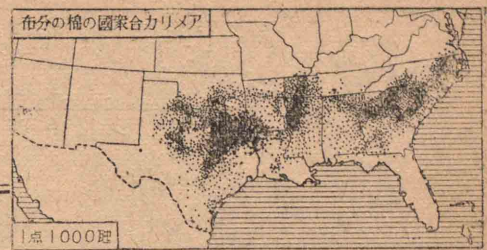
布分の柑蜜果莖
冠萬五担各



布分の棉
ルーダク八百担各



布分の稻陸
ルーダク八百担各



棉花は暖地に産し、アメリカ合衆國は世界第一の棉産地で、印度、ソ
 ヴィエト聯邦、中華民國、エジプト等がこれに次ぐ。アメリカ合衆國
 日本、イギリス、ドイツ等は其主要な消費國で
 ある。麻類はソヴィエト聯邦から亞麻、印度から
 黄麻を多く産出する。葡萄、柑橘類は地中海沿
 岸に、バナナは中央アメリカ、西印度諸島に、苹果
 は北アメリカに多く栽培される。

牧畜業の目的
 一、勞力の利用
 二、乳・肉・卵等の
 食用
 三、毛・皮・骨その
 他、工業的利
 用

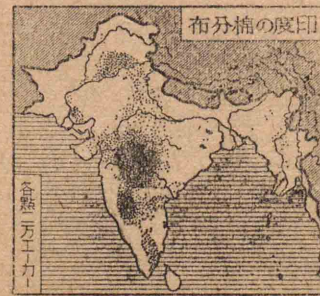
〔牧畜業〕 動物を飼養し、衣服原料、皮革、食料品、
 骨牙等を得、又は交通、耕耘に利用することを目的
 とするもので、飼養される動物は家畜又は家禽と
 いはれる。地球上に現存する動物の種類は非常
 に多いが、今日家畜となつてゐるものは牛、馬、羊、山
 羊、豚、驢、駱駝、象、馴鹿、狐、兔、犬等に過ぎず、又家禽とし
 ては鶏、鶩、七面鳥、駝鳥等がある。牧畜は人類の經

世界棉花消費額比較

アメリカ合衆國	30	60	90	120
日本				
イギリス				
印度				
中華民國				

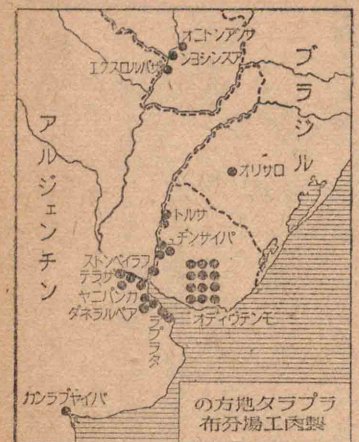
棉産額比較
 世界約560万担

アメリカ合衆國	60	120	180
印度			42%
ソヴィエト聯邦			
中華民國			
エジプト			



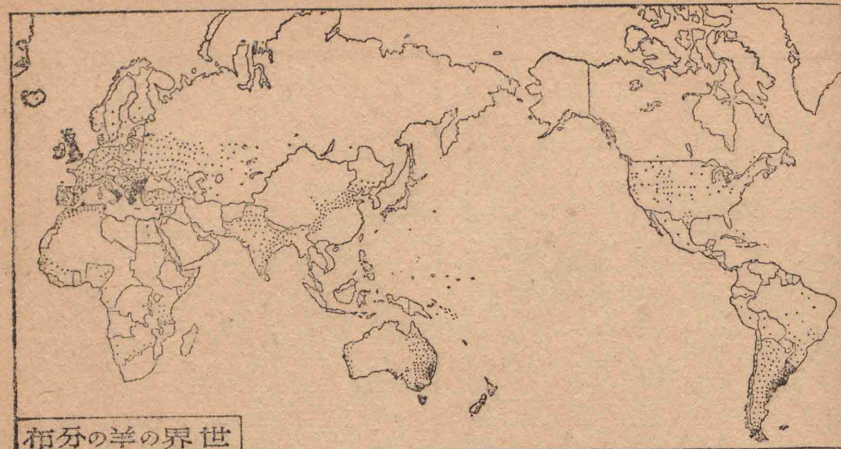
列國の牧牛頭數

- 印度 一三、五七〇
- アメリカ合衆國 六、三三〇
- ソヴィエト聯邦 四、三六〇
- ブラジル 四、三三〇
- アルゼンチン 三、〇〇〇
- 中華民國 三、三三〇
- ドイツ 一八、九三〇
- フランス 一五、七〇〇
- オーストラリア 一、〇〇〇
- メキシコ 一〇、〇〇〇

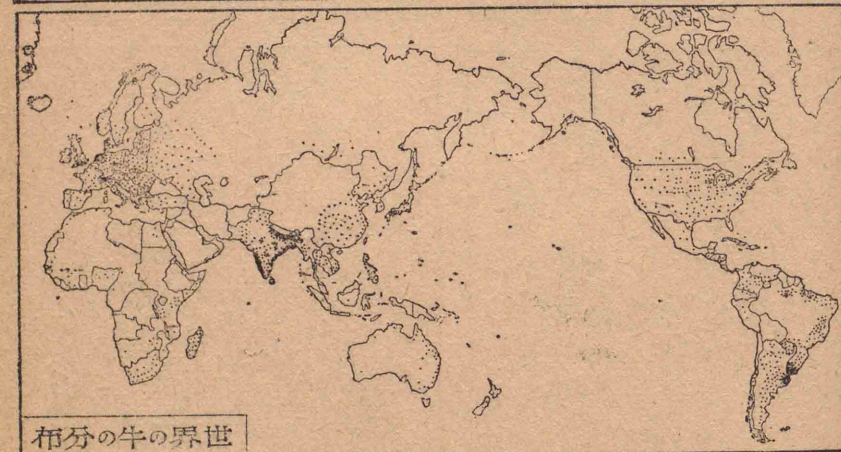


濟發達史上狩獵時代の後にあらはれたもので、これによつて人類文
 化の發達は著しく促進された。今日でも世界中に廣く行はれてゐ
 るが、農業よりも廣大な土地を要し、而も割合に少數の人間しか養ふ
 ことが出来ないの故、文明國では多くの産業中の一産業に過ぎず、又
 専ら牧畜によつて生活する遊牧民族は生活の定住、安定、規則性が少
 いために、概ね低級な生活をしてゐる。

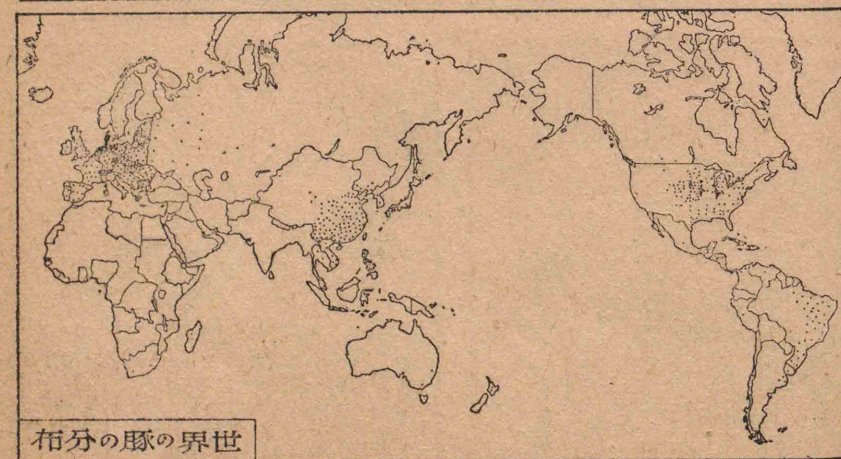
〔畜産物〕 牛は印度、アメリカ合衆國、ソヴィエト聯邦、豚はアメリカ合
 衆國、中華民國、羊はオーストラリア、アルゼンチン、馬はソヴィエト聯邦、
 アメリカ合衆國等に多い。従つてこれ等の地方は畜
 産物が多いが、舊大陸は需要が多いために不足を告げ
 る。新開地方では畜産物は餘剰があつて主要な輸出
 品となつてゐる。中でもアメリカ合衆國、アルゼンチ
 ン、オーストラリア等は多量の牛肉、羊肉をヨーロッパに
 輸出する。又オーストラリア、アルゼンチン、アメリカ



世界羊の分布



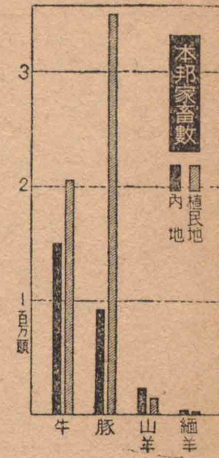
世界牛の分布



世界豚の分布

列國の牧馬頭數

ソウイェト聯邦	一、八八二
アメリカ合衆國	一、六三七
アルヂェンチン	九八八
ブラジル	六八八
ポランド	三、六四〇
ドイツ	三、九〇〇
カナダ	二、九〇〇
フランス	二、八〇〇
ルーマニア	二、八〇〇
滿洲國	一、〇三〇
オーストラリア	一、七六六



尙鶏はアメリカ合衆國・中華民國・ソウイェト聯邦等に多い。

合衆國は羊毛の主要な供給地で、これをイギリス・ドイツ・フランス等の工業國に送る。オランダ・デンマーク・アルプス山地・北アメリカ北東部等の冷涼な地方は酪農業が盛である。

〔日本の牧畜業〕我が國は地勢が山勝ちで平坦な草原に乏しく、又古來宗教その他の關係から肉食毛衣の風習がなく、その上、非常に集約的な小農法は家畜を殆ど利用しなかつたので、牧畜は不振であつた。併し、明治維新以後ヨーロッパの生活様式が普及するにつれて、畜産物の需要が多くなり、政府も保護に力を盡したので、長足の發達を示したが、尙羊毛その他の畜産物の輸入は夥しい。

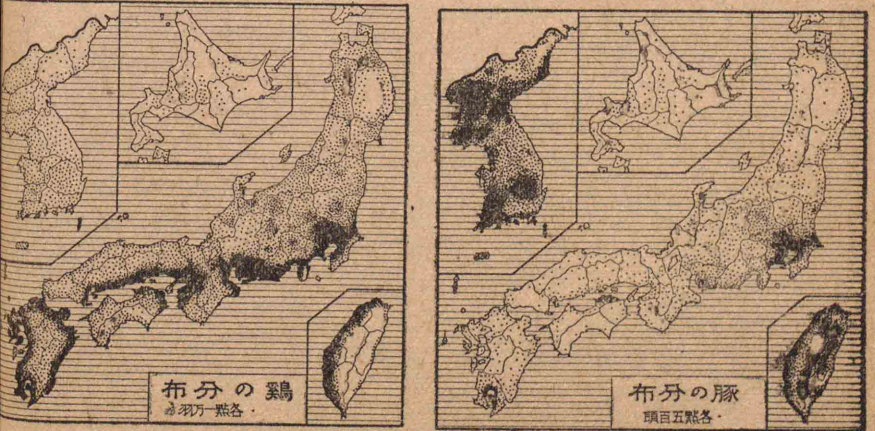
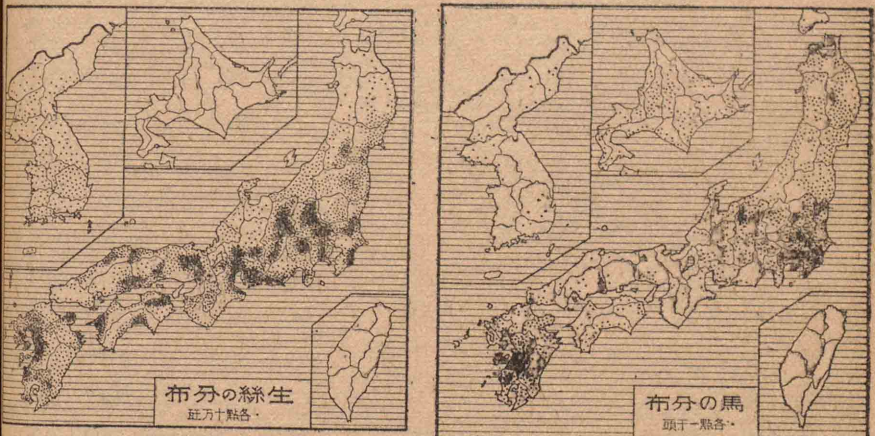
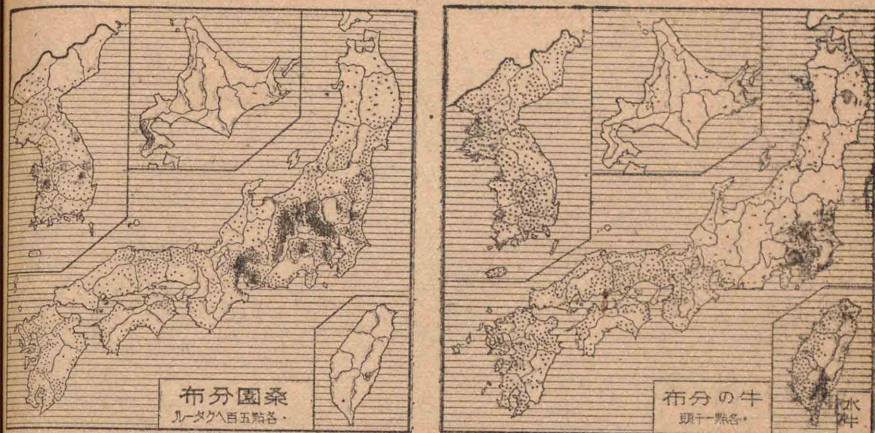
〔養蠶業〕蠶を飼養して繭を採取し、製絲に供することを目的とし、元來は支那に始まつたもので、太古朝鮮を経て我が國に傳來し、遙か後世になつてヨーロッパに傳來した。蠶はもと野生の昆蟲であつたが、永年の人工淘汰の結果漸次良質となり、今日では蠶室で人工的に溫度を調節しながら飼養しなければならず、又その飼料である桑は

羊毛産額比較
世界約166萬担

オーストラリア	10萬担	20	30	40
アルヂェンチン				26%
フランス				
南アフリカ				

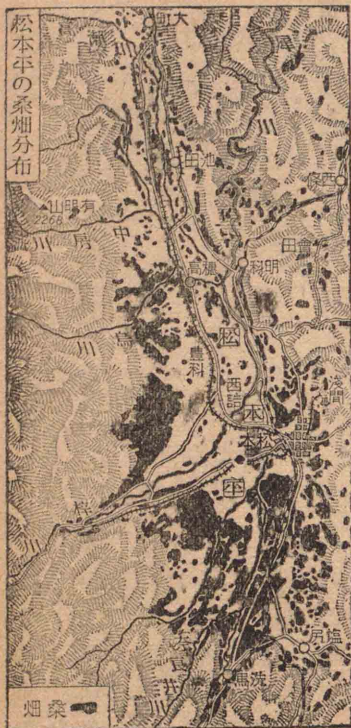
列國の牧羊頭數

千頭
 オーストラリア 一、一〇〇、〇〇〇
 ソヴェト聯邦 六、一〇〇、〇〇〇
 アメリカ合衆國 一、一〇〇、〇〇〇
 アルゼンチン 一、一〇〇、〇〇〇
 南阿聯邦 一、一〇〇、〇〇〇
 中華民國 五、〇〇〇、〇〇〇
 ニュージージーランド 一、一〇〇、〇〇〇
 印度 二、九〇、〇〇〇
 イスパニヤ 二、五〇、〇〇〇
 ウルグワイ 一、九〇、〇〇〇
 一、五、〇〇〇

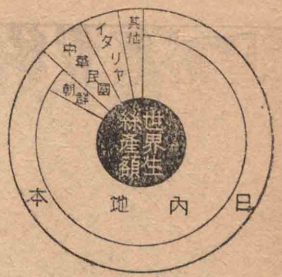


熱帯から温帯にかけて廣く栽培されるから、養蠶業の發達は自然條件よりも人文的條件に多く支配されるので、高い技術を要する勞力が豊富にある地方でなければ發達しない。而も養蠶業は周到な注意と保護とを必要とするので、勞銀を無視して犠牲的に勞働する小規模經營でなければ行はれ得ないので、人口が稠密で小農の多い地方の重要な副業として行はれてゐる。

〔養蠶地〕 今日世界の養蠶の中心地は我が國である。我が養蠶業は支那から傳來し、太古から行はれてゐたが、江戸幕府の開國後生絲の海外需要が莫大で、輸出が旺盛となつたので、それ以後急激に發達した。長野群馬、



愛知、埼玉、山梨、岐阜の諸縣を始め、中央高地に特に盛大に行はれ、世界産額の約三分の二を占めてゐる。中華民國は世界最古の養蠶國であるが、今は我が國に壓倒されて揚子江、珠江の流域で行はれる。イタリアのポー川流域、フランスのリオン附近も亦養蠶地として知られる。



世界の森林面積の三五%は針葉樹林、一六%は温帯潤葉樹林、四九%は熱帯潤葉樹林で針葉樹林はヨーロッパ、北アメリカに、温帯潤葉樹林はアジアに、熱帯潤葉樹林は南アメリカ、大洋洲に多い。針葉樹林の九三%、温帯潤葉樹林の八九%は北半球にある。而も利用価値の多い木材は針葉樹材であるので、世界の林業は北半球に殆ど限られてゐる。

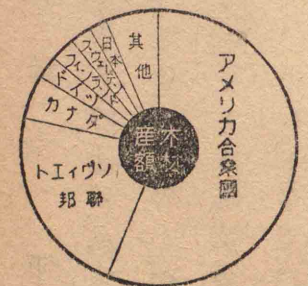
【製絲業】世界の生絲産額の七割は我が國が占めてゐる。我が國では製絲業は長野・群馬の諸縣を始め、概ね繭の大産地に發達し、生絲は米に次ぐ重要産物である。而も年産額の八割はアメリカ合衆國・フランスその他に輸出され、開國以來輸出品の大宗として、その生産・輸出の如何は國民經濟の消長に影響する。

その他中華民國及びヨーロッパの諸國にも産出するが、中華民國・イタリアを除いては、いづれも非常に少い。アメリカ合衆國は生絲の世界第一の消費國であるが、その消費生絲はすべて日本・中華民國・イタリア等からの輸入に仰いでゐる。

【林業】樹木を採取し、又は育成する産業であつて、木材の獲得を主な目的とするが、尙樹皮・樹液・樹脂・果實等をも獲得する。木材は家屋器具・船車等の製造に用ひられ、又燃料にも供されて來たが、更に近代に於ては紙・人造絹絲・人造纖維・セロファンその他の工業原料としての需要が増大して來た。

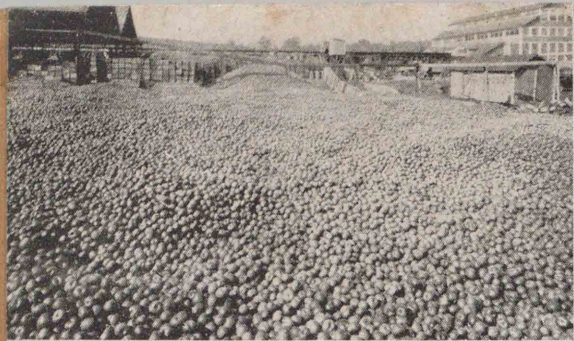
今日の林業は農業のやうに植物の育成・培養をするまでには發達せず、概ね天然資源の採取に止まつてゐる。

【森林の種類】林業は先づ森林を必要とする。森林は林相によつて自然林・人工林に樹種によつて針葉樹林・潤葉樹林及び混合樹林に、氣候帯によつて熱帯林・温帯林及び寒帯林に分けられる。世界の森林は元來全部が自然林であつたが、近年は植林が行はれるやうになり、人工林も多くなつた。熱帯林は多く潤葉樹から成り、その産出木材は材質が堅く、家具裝飾品の製造には適するが、家屋の用材や製紙原料には適しない。温帯林は潤葉樹及び針葉樹から成り、建築用材に適し、寒帯林は概ね針葉樹から成り、パルプの製造原料建築用材等を多く供給する。

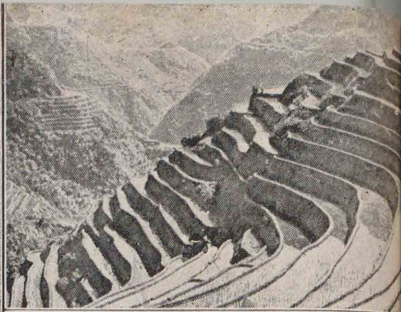


【林産物】アメリカ合衆國・ソヴィエト聯邦・カナダ・フィンランド・スウェーデン等は木材の大産出國であり、又同時に大輸出國である。これに對し、木材の輸入國はイギリス・フランス・ドイツ・日本等である。ゴムはマレー半島に、コルクはイベリヤ半島に、樟腦は我が臺灣に産する。

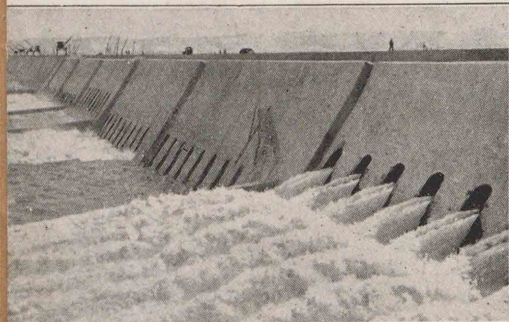
産地	2	4	6	8	10
野知馬梨玉島	10	10	10	10	10
長安群山塔羅	10	10	10	10	10
生絲産額比較 内地約49,980万円					



積集の果萃るけに國衆合カリメア



田米狀段階のンピリフ



堤堰大用漑灌の川ルイナ



専工拓干のダンラオ



羊牧のヤリラトスーオ



田米狀枝樹



業漁のカツ、チムカ



積山材用ブルバの國衆合カリメア

世界の漁獲高

東アジア	千六〇〇
北アメリカ	千七〇〇
ヨーロッパ	千九〇〇
合計	二、〇〇〇

列國の漁獲高

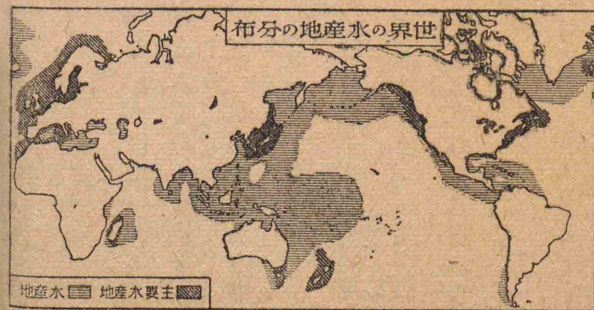
日本	五、〇〇〇
アメリカ合衆國	一、二〇〇
中華民國	一、一〇〇
イギリス	一、〇〇〇
ソヴェト聯邦	一、〇〇〇
ノルウェー	一、〇〇〇
カナダ	一、〇〇〇
イスパニヤ	一、〇〇〇
フランス	一、〇〇〇
シヤム	一、〇〇〇
ドイツ	一、〇〇〇
アイスランド	一、〇〇〇
オランダ	一、〇〇〇

第二節 漁業

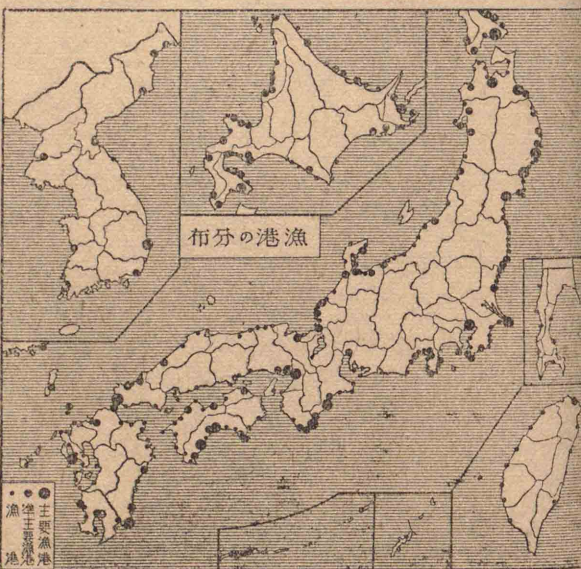
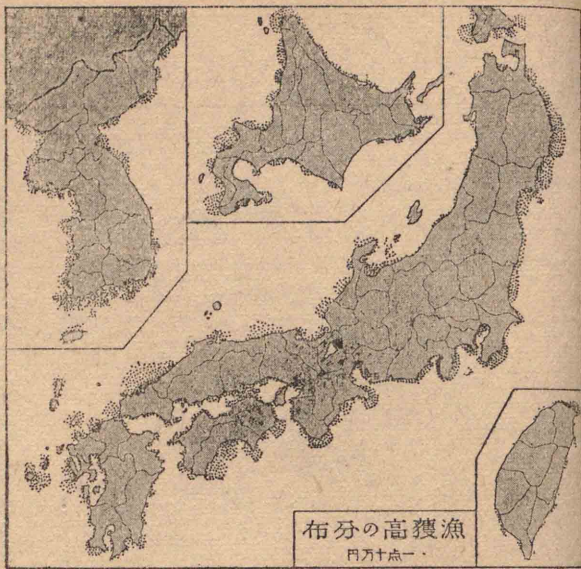
〔漁業〕 魚族やその他の水生動物を獲得し、又は養殖することを目的とする。地球表面の七割餘は水に蔽はれ、そのうちに棲息する生物の種類と數量とは無盡蔵である。これ等は食料・肥料・工業原料として大なる價值をもつてゐるので、古來廣く獲得されて來た。民族によつては専ら漁業によつて生命を維持してゐるものもあるが、漁業の産業上の價値は他の産業に比して稍劣つてゐる。

〔世界の漁場〕 世界の漁場は概ね北半球の寒海にある。北海を中心とする北大西洋漁場、ニューファンドランド沖合の北大西洋漁場、日本近海からオホーツク海、ベーリング海に至る北太平洋漁場は世界の三大漁場といはれる。

〔漁獲物〕 最近の世界の漁獲物は約千三百萬噸、

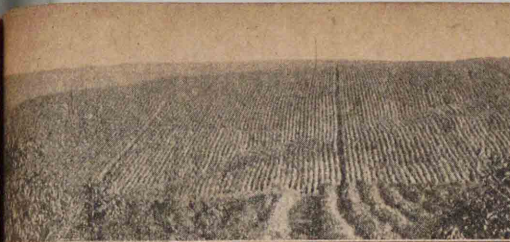


列國の鹽産額
 アメリカ合衆國 千九百一十三年
 ソヴィエト聯邦 六九〇萬
 ドイツ 三三六萬
 イギリス 二、五三〇萬
 フランス 二、一〇七萬
 日本 一、〇〇七萬



は世界第一の漁業國であり、又ソヴィエト聯邦・アメリカ合衆國・イギリス・ノルウェー・中華民國等も世界の大漁業國である。養殖物としてはアメリカ合衆國・フランス等の牡蠣、我が國の特産である養殖眞珠等がある。海獸としては北太平洋の獵虎・膾膾、南極海の鯨等がある。

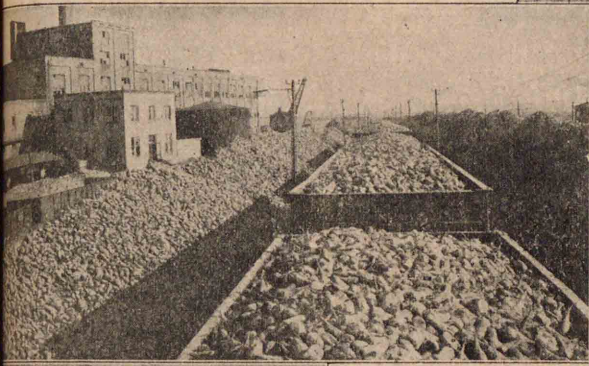
價額約十八億圓に達するといはれる。鱈・鮭・鯡・鰺等の魚族及び貝類・海藻等がある。世界の大漁場を近くに有する我が國



園 球 茹 の ル ジ ラ ブ
 積集の菜甜るけ於に國業合カリメア

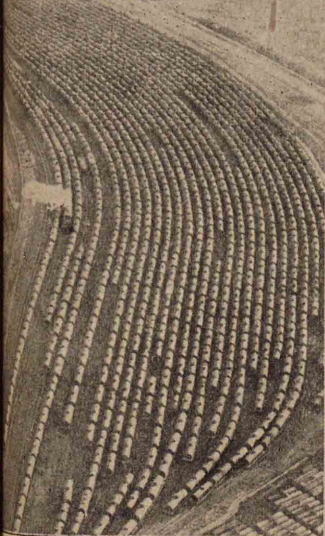


園ムゴの島牛ーレマ

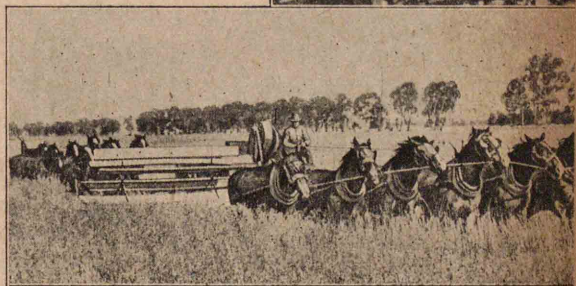


アメリカ合衆國の棉畑

ヤリラトスーオ
 穫收麥小の

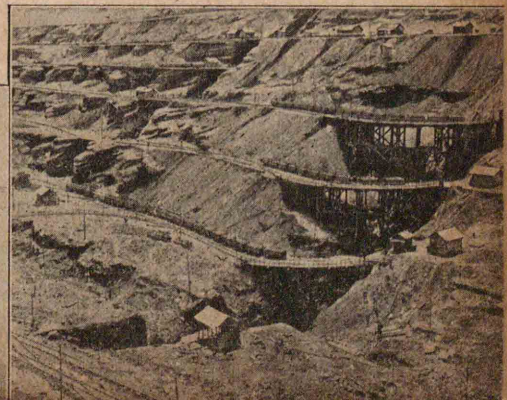
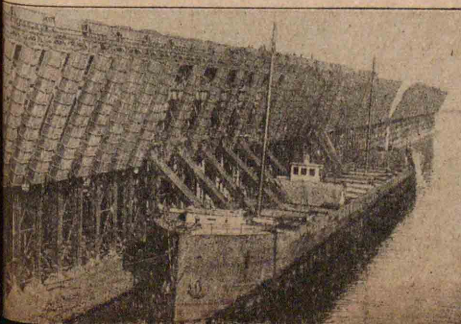


アメリカ合衆國に於ける石油輸送車

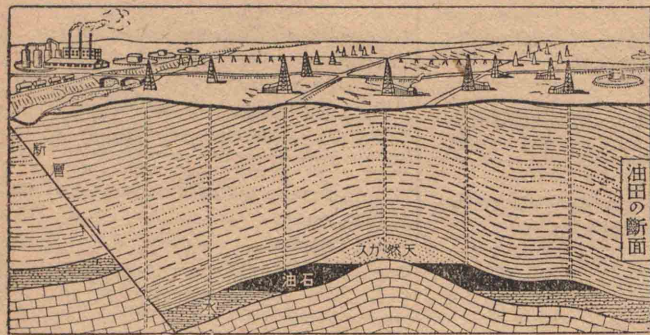


掘天露の田炭順撫

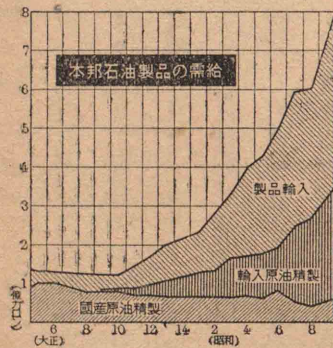
積船鐵の岸沿湖大五カリメア北



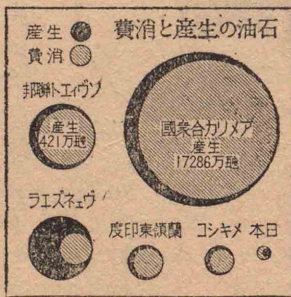
列國の石油消費量
 アメリカ合衆國 九七〇
 ソヴェト聯邦 二二〇
 イギリス 一三〇
 フランス 一〇〇
 カナダ 八〇
 ドイツ 七〇
 日本 六〇
 イタリア 五〇



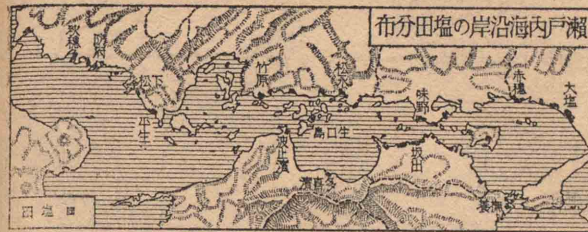
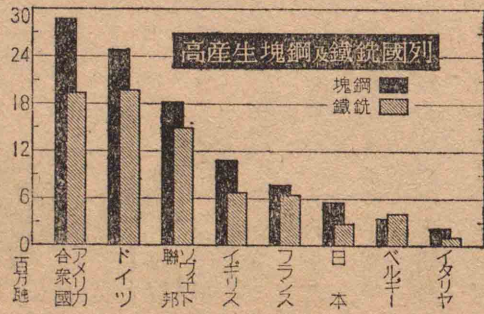
「鑛業」地殻中に埋藏される有用鑛物を採取し、製鍊することを目的とする。鑛業は天然資源を單に採取するだけであつて、これ等を人工的に



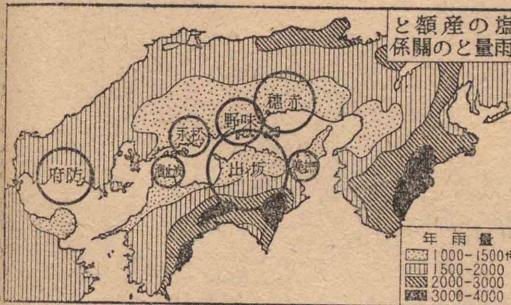
であつて、これ等を人工的に



育成・培養することが出来ないの
 で、天然資源の豊否、その存在する位置の良否等は鑛業の發達を支配する有力な地理的條件である。

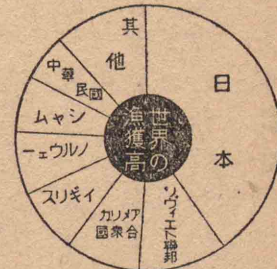


世界の鹽産額のうち三分の二は岩鹽で、三分の一は海鹽である。

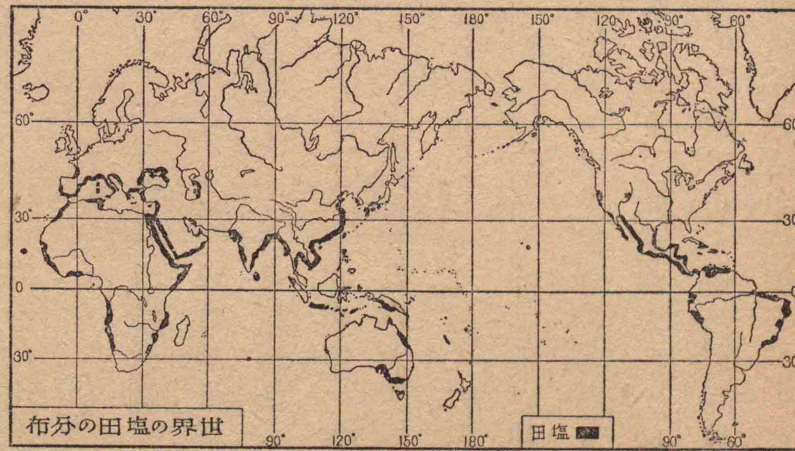


捕鯨業はノルウェー・日本に盛で、南極海にまで出漁する。漁獲物の一部分は食料品工業の原料となり、罐詰鹽製乾製

等に作られた上等食用に供せられる。尙漁獲物は肥料・油脂・藥品等の製造にも用ひられる。



「鹽」岩鹽として地中に埋没し、又鹽泉からも得られるが、南東アジア地中海沿岸・南アメリカ等では天日又は火力によつて海水から採取する。



列國の石炭埋藏量

アメリカ合衆國	10,000
カナダ	1,800
イギリス	1,400
ドイツ	1,300
ポーランド	1,200
日本	1,000
中華民國	900
チベット	700

列國の銅産額

アメリカ合衆國	3,400
チリ	2,600
カナダ	1,800
ローデシア	1,400
白領コンゴ	1,000
日本	700
ソヴィエト聯邦	500
メキシコ	400

列國のニッケル産額

カナダ	1,800
ニュージーランド	1,400
印展	1,200
ノルウェー	1,000
ギリシヤ	800

列國のアルミニウム産額

ドイツ	1,800
アメリカ合衆國	1,400
ソヴィエト聯邦	1,200
フランス	1,000
カナダ	900
スウェーデン	800
イギリス	700
ノルウェー	600
イタリア	500

アメリカ合衆國	4,270
ドイツ	1,630
フランス	1,500
イギリス	1,400

鋼鐵及鉄産額
世界約4,270万噸
世界約1,630万噸

アメリカ合衆國	60%
ソヴィエト聯邦	12%
ヴェネズエラ	8%
ルーマニア	4%
イラン	4%

石油産額比較
世界約22.6千万噸

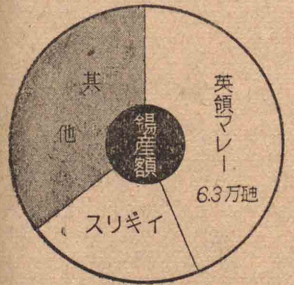
アメリカ合衆國	34%
イギリス	18%
ドイツ	12%
ソヴィエト聯邦	6%
フランス	6%
日本	6%

石炭産額比較
世界約11億噸

メキシコ	35%
アメリカ合衆國	18%
カナダ	12%
オーストラリア	6%
日本	6%

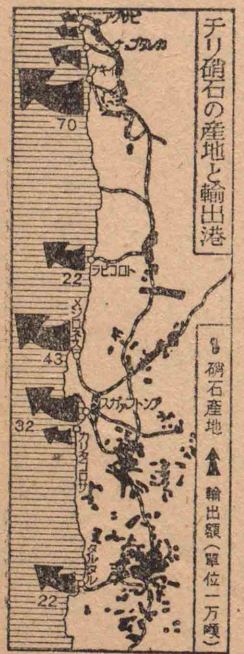
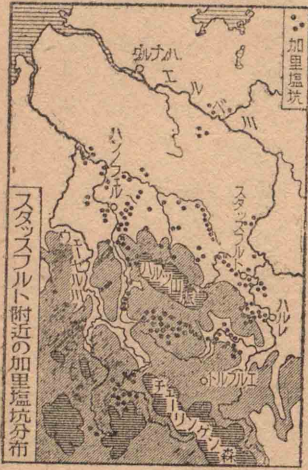
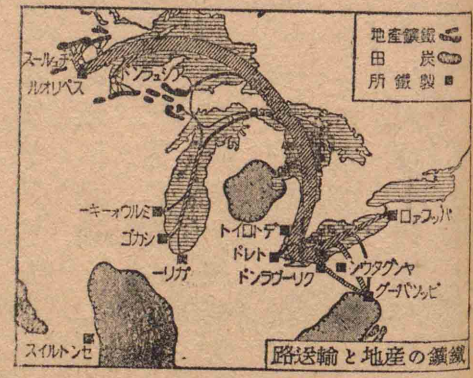
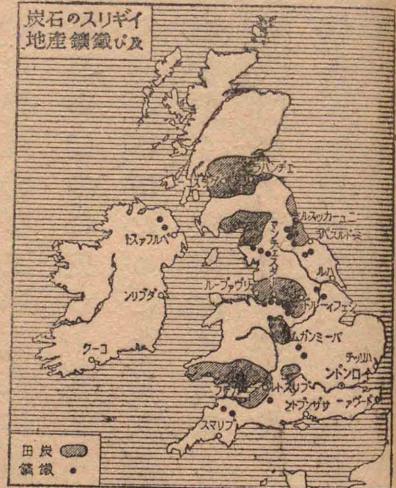
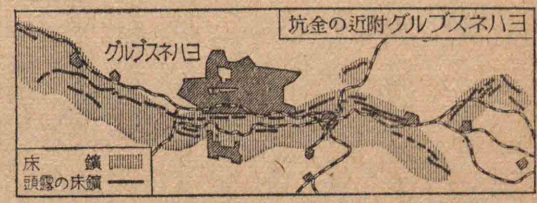
銀産額比較
世界約6700噸

〔鑛産物〕金は南アフリカに最も多く産し、ソヴィエト聯邦、カナダ、アメリカ合衆國、日本等がこれに次ぎ、銀はメキシコ、アメリカ合衆國、カナダに多い。白金はソヴィエト聯邦、カナダに産する。銅はアメリカ合衆國に最も多く、世界産額の過半を産し、チリ、カナダ、日本、メキシコ、コロンビア等も亦これを産する。鐵と石炭とは鑛産中最も重要なもので、且つその産額の多少は工業の盛衰に關するところが多い。鐵鑛の産出はアメリカ合衆國、フランス、イギリス、スウェーデン等を主とするが、製鐵業は燃料、技術等の關係でこれと一致せず、鉄鑛はアメリカ合衆國、ソヴィエト聯邦、ドイツ、フランス

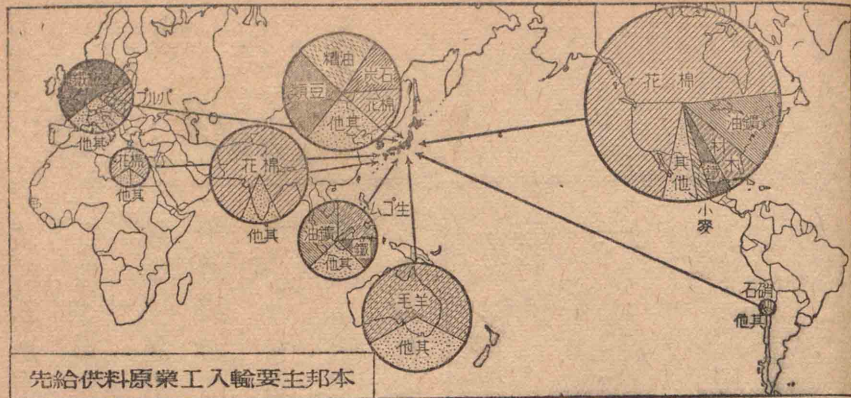


南ア聯邦	36%
ソヴィエト聯邦	12%
カナダ	8%
アメリカ合衆國	4%
日本	4%

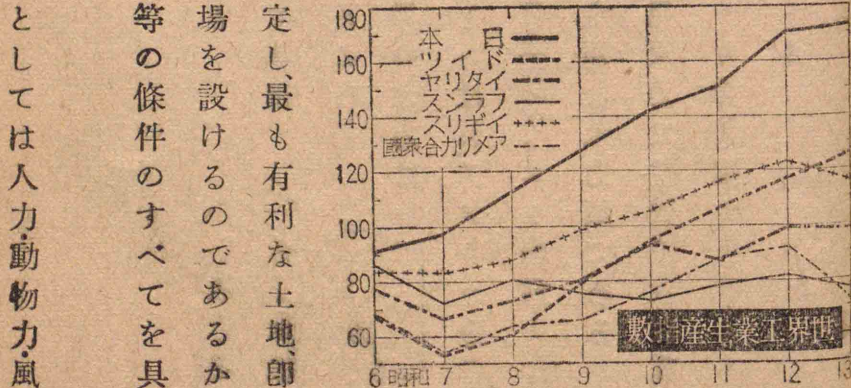
金産額比較
世界約920噸



を主とし、鋼鐵はアメリカ合衆國、ソヴィエト聯邦、ドイツ、イギリス、フランス、日本等を主とする。石炭もアメリカ合衆國、イギリス、ドイツ、ソヴィエト聯邦に多く産し、我が國の産額は遙かにこれに及ばないが、東洋の諸港に供給してゐる。石油の産額はアメリカ合衆國を第一とし、ソヴィエト聯邦、ヴェネズエラ、ルーマニアを第一とし、ソヴィエト聯邦、ヴェネズエラ、ルーマニア



こと、原料が豊富なこと、動力が得易いこと、勞力が豊富なこと、消費地に近いこと、交通が便利なこと、資本が豊かなこと、學術が發達してゐること、國家の政策がよろしきを得てゐること、國民の才能が勝れてゐること等が擧げられる。尤も企業家が工業を起すに當つては、各種の條件を考慮し、企業の種類に應じて各條件の輕重を判定し、最も有利な土地、即ち最も生産費の低廉な土地に工場を設けるのであるから、すべての工業の發達地がこれ等の條件のすべてを具備してゐるとは限らない。



我が國は天然資源に乏しいので、各種の工業原料が不足して居り、その點では工業發達が阻害されてゐる。併し今日世界有数の工業國になつてゐるのは我が國が四面環海で、世界の何處からでも非常に廉い運賃で原料を輸入することが出来ること、海陸上運賃は同距離の陸上運賃の十分の一以下であるので、我が國が島國であることが我が國の工業の發達に貢獻するところ多大である。

第四節 工業

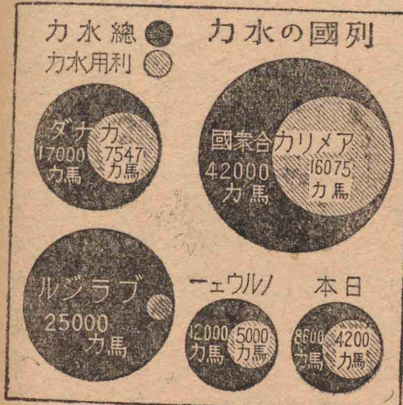
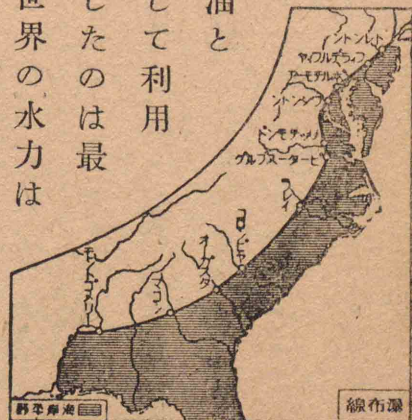
〔工業〕 自然の與へる物質に加工して變化するか、又は混成することを目的とする。工業によつて加工される物質を原料と呼び、作られた物品を製品と稱する。幼稚な工業は人類の經濟生活の初期からあつたが、科學的な機械的な工場工業は産業革命以後勃興した。産業革命は十八世紀の後半に先づイギリスの纖維工業に起つて各種の工業に及んだ。これがために生じた工業の生産技術と經營方法との大革新は忽ち多くの文明國に波及した。爾來一世紀の間に各國に大規模な近代的な工業時代が出現するやうになつた。

〔工業發達の諸條件〕 工業の發達は文化の一般的發達と因果關係があるが、特に工業の發達を促進する諸條件としては地勢が良好な

エナ、イラン等がこれに次いでゐる。アルミニウムはドイツ、アメリカ合衆國に、マグネシウムはアメリカ合衆國、ドイツに、ニッケルはカナダに、錫はマレー半島に多く産する。又硝石はチリに、岩鹽加里鹽はドイツに多い。

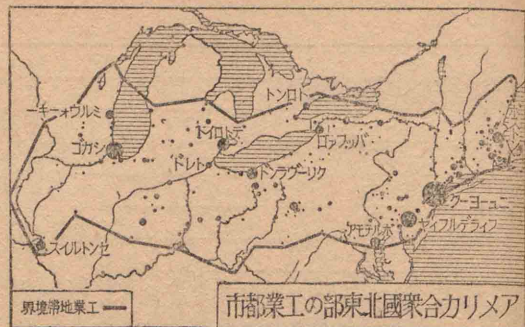
列國の水力 千馬力
 アメリカ合衆國 42,000
 ブラジル 25,000
 カナダ 17,000
 日本 8,600
 ソヴェト聯邦 8,400
 メキシコ 6,000
 フランス 5,000
 スウェーデン 5,000
 世界計 133,000

力等があるが、いづれも近代の大工業にとつては殆ど價値がない。石炭は十八世紀末から近代の大工業の生みの親となつた動力源であるが、最近重要となつたのは石油と水力とである。水力は古くから動力源として利用されて來てはゐるが、その價値が特に増大したのは最近に於ける水力發電事業の發達による。世界の水力は



約四億七千萬馬力といはれ、アメリカ合衆國、ブラジル、カナダ、日本、ソヴェト聯邦、イタリア、イタリヤ等が主要な水力國である。このうち今日の利用水力は約四千六百萬馬力に過ぎず、アメリカ合衆國、カナダ、イタリヤ、日本等を主とする。

〔工業の分布〕 地球上の各地方は工業發



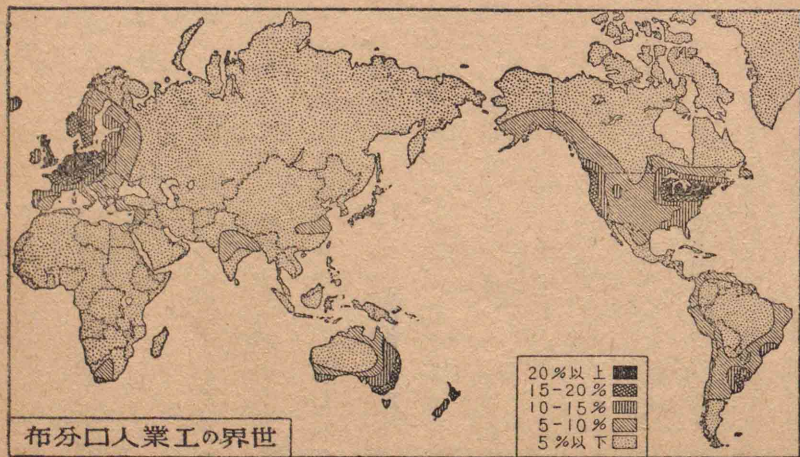
市都業工の部東北國合カリメア

達の條件を等しくしないので、工業も一樣には分布してゐない。世界に於て工業の最も發達してゐるのはヨーロッパの北西部と北アメリカの北東部とである。この外、ヨーロッパの南部、東部、アジアの東部、南部、北アメリカの西部、南アメリカの南部、オーストラリアの南東部等にも亦工業が盛行はれてゐる。職業別人口構成

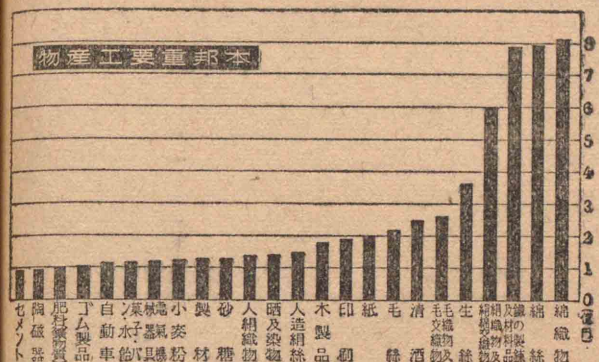
列國の工業人口割合

イギリス	49.9%
ベルギー	48.9%
ドイツ	40.4%
オランダ	35.3%
アメリカ合衆國	33.2%
フランス	33.1%
カナダ	32.1%

の上から重要な工業國として擧げられるのは、イギリス、ベルギー、ドイツ、オランダ、アメリカ合衆國、フランス等である。我が國の近代工業は明治維新以後發達したもので、未だ半世紀にしかならない



イタリヤ 三六
デンマルク 二六
日本 三〇



が短日月の間に長足の進歩を遂げ、今や世界一流の工業國として歐米の先進國の壘を摩してゐる。併し、農業人口が多いために職業別人口構成から見れば我が國の工業人口は非常に少い。

〔主要工業〕 世界で最も主要な工業は紡織工業である。棉花工業はイギリス・アメリカ合衆國・日本に盛である。殊に最近我が優良低廉な綿製品は世界中に輸出される。羊毛工業はイギリス・フランス・アメリカ合衆國等を主とし、我が國も最近盛に行はれるやうになつた。絹織物はアメリカ合衆國・日本・中華民國麻織物はイギリス・アメリカ合衆國・印度等を主とする。化學工業は最近頃に重要になつた。その中の人造絹絲工業は日本・アメリカ合衆國・肥料工業はドイツ・アメリカ合衆國・洋紙はアメリカ合衆國・カナダ・日本等に盛大である。窯業は古くから行はれ、陶磁器は各地に産する。硝子はアメリカ合衆國・日本・セメントはアメリカ合衆國・ドイツ・イギリス・日本等を主とする。食料品工業では地中海沿岸の葡萄酒、ドイツ・アメリカ合衆國の麥酒、ドイツ・アメリカ合衆國の甜菜糖、印度・ジャバ・キューバの甘蔗糖のほか、小麥粉・罐詰等が各地で作られる。機械器具工業はアメリカ合衆國・ドイツ・イギリス・ソヴィエト聯邦等が優れてゐる。又アメリカ合衆國は自動車、スクラップは時計、イギ

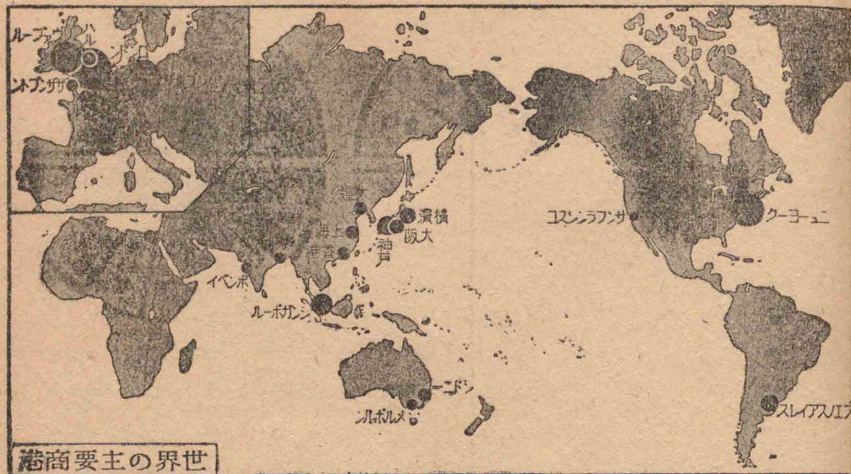
經濟的ドミナツテ
ンと商業

優越の謂で、或地方が或種の生産物の産額に於て支配的な地位を占めてゐる時に成立する。今日最も多くの生産物について經濟的ドミナツテを有する國はアメリカ合衆國であり、實にその數は數十に達する。各國の經濟的ドミナツテは各地方の自然と人間との間の交互作用のうち、各地方が異なつたものについて經濟的ドミナツテをもつことは商業特に國際的商業成立の基礎をなす。

第五節 商業

〔商業〕 財貨の生産者と消費者との中間にあつて財貨の交換を仲介することを目的とし、社會的分業と交換とを前提とする。分業が社會内部に行はれ、各人が最も得意とする生業に従ふことが出来、而も交換によつて各種生産者が自己の生産する物品を交易することが出来れば、各人は生活をより豊かにすることが出来るばかりでなく、社會全體から見ても極めて有利である。最初の間は商品の移動する範圍も狭小であつたが、次第に廣くなり、やがて國家全體となり、遂に今日では世界全體にまで廣がつて行つた。かくて國內商業から國際商業即ち外國貿易へと發展し、今日では殆ど全部の財貨が商品となつて大量的に國際移動を行つてゐる状態である。

〔貿易〕 國際商業を指し、輸出と輸入とに分けられる。各國が自然的條件、産業發達の程度、民族性等を異にしてゐるので、生産物も異な



世界主要商港

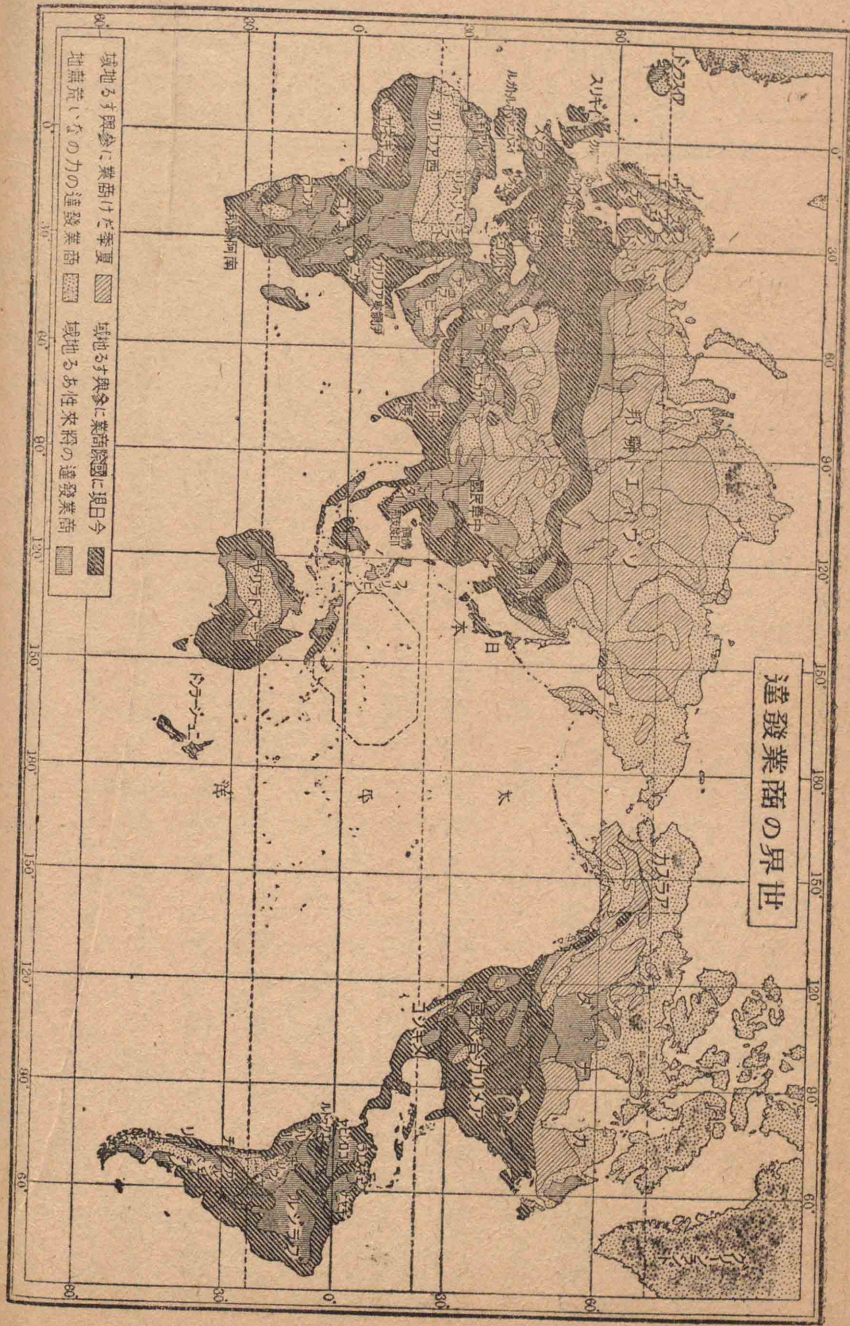
〔主要貿易國〕

世界の貿易は一時著しく減退した

り、有無相通ずるやうになつて貿易が始まる。貿易が行はれる時は各國とも最も生産条件の有利なものを生産し、これを輸出して交換することが出来るので、各國にとつて有利である。

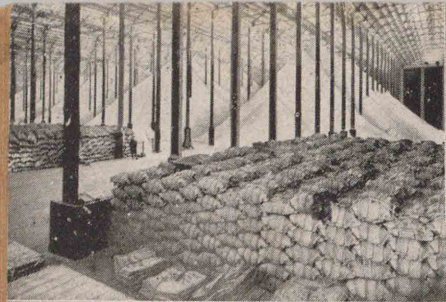
〔開港場〕貿易の行はれる商港で、そこには税関が設けられ、輸出入に關する事務を取扱ふ。開港場のうちには自由港と稱し、輸出入に關税を課さないものがある。これは概ね仲繼貿易のために設けられたもので、自由港市、自由港區、自由地域等の差別がある。

世界の主要貿易港は大西洋沿岸特にその北部に多い。ニューヨーク、ロンドン、ハンブルグ、リヴァプール、マルセイユ、ルアーヴル、エノスアイレス、サントス等がこれである。近年世界交通上重要になつた太平洋沿岸にはシンガポール、香港、上海、大連、神戸、大阪、横濱、サンフランシスコ、シドニー、メルボルン等があり、また印度洋沿岸ではボンベイ、カルカッタ等が有力である。

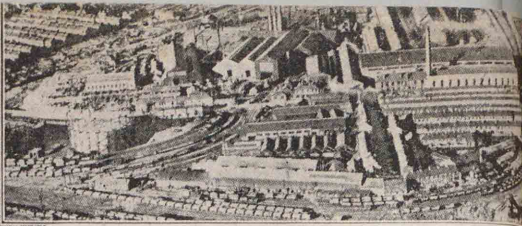


通發業商の界世

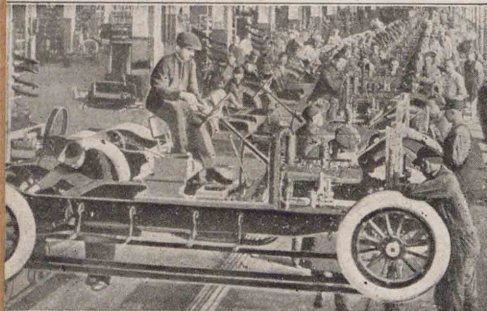
域地る興發に業商の通發業商
 地地産いの力の通發業商
 域地る興發に業商の通發業商
 地地産いの力の通發業商



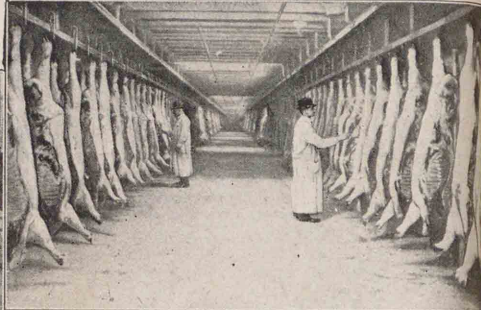
庫倉品製の場工料肥造人



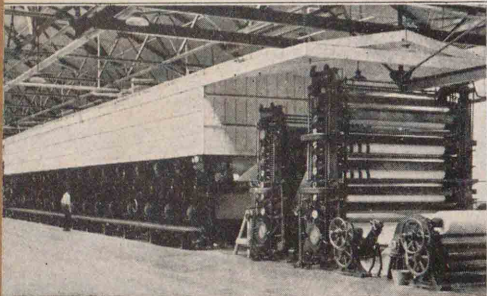
帯地業工のムガンミーベ
場畜屠のゴカシ



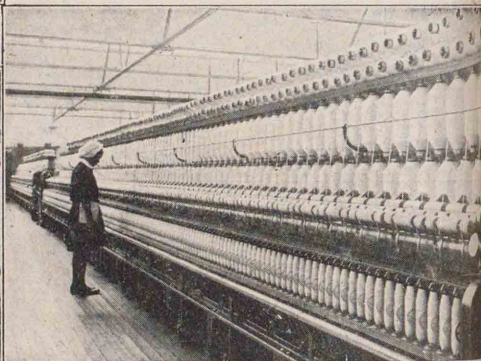
場工車動自のトイロトデ



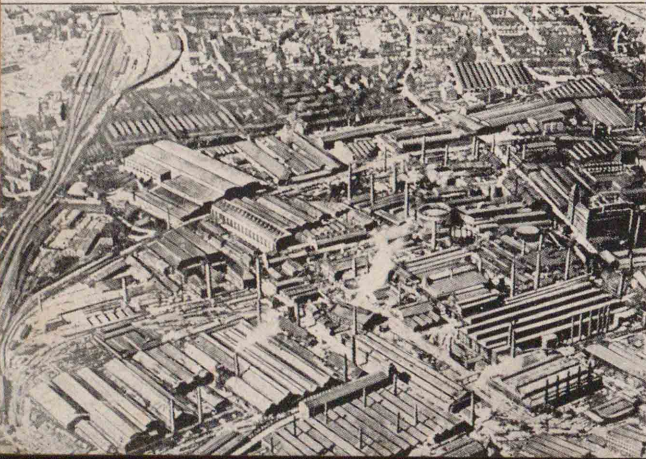
場工績紡の市販大



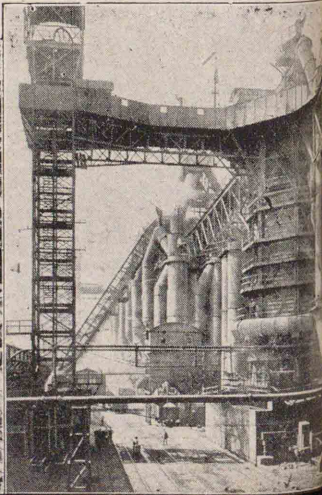
機紙抄の場工紙製



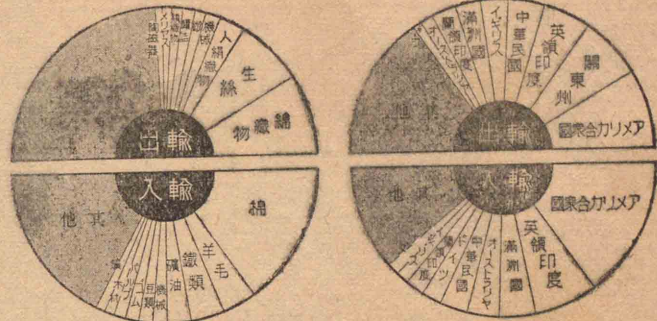
部内の場工鐵ブルク



場工鐵ブルクのンセツ

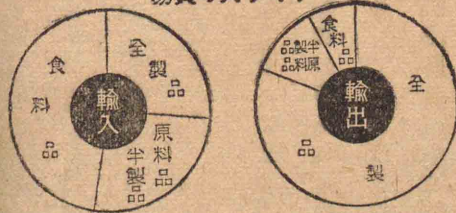


(上) 我が國の貿易



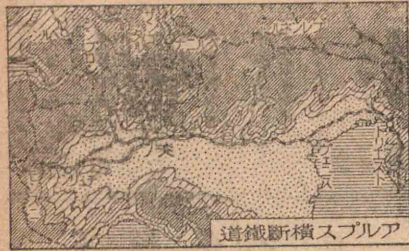
が、最近は恢復し、輸出入ともに三百億圓に近い。貿易額の五割以上はヨーロッパの占めるところで、イギリス、ドイツ、フランス、ベルギー、オランダ、イタリア等が世界の主要貿易國になつてゐる。これ等の諸國は概ね原料品及び食料品を輸入し、加工品を輸出する。而も多くは入超國であるが、貿易外の収入が多いのでこれが決済される。北アメリカは世界貿易の約二割を占め、アメリカ合衆國、カナダの二國を主とする。中でもアメリカ合衆國はイギリスと並ぶ大貿易國で、イギリスが輸入の多いのに對し、アメリカ合衆國は輸出が多い。北アメリカを始め、アジア、南アメリカ、アフリカ、大洋洲に於ける諸國の貿易は多く原料品、食料品を輸出し、加

易貿のスリギイ



アメリカ合衆國の貿易表

品名	輸出 (億圓)	輸入 (億圓)
果實	1.5	0.5
砂糖	1.2	0.8
生ゴム	1.0	0.7
生絲	0.8	0.6
棉花	0.7	0.5
海綿	0.6	0.4
羊毛	0.5	0.3
其他	0.4	0.2
合計	7.7	5.0



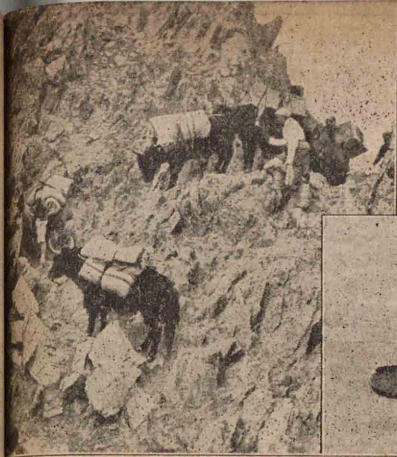
道鐵斷横スブルア

〔交通〕 交通とは人體又は物體を或場所から他の場所に移動運搬するの謂である。人類が共同生活を営むに當つては、必ず人類自身が彼我往來し、物品を交換するを要するので、交通は早くから行はれた。最初の交通は小範圍に限られてゐたが、十五世紀以後には大洋が交通の舞臺となつた。次に十九世紀に於ける汽車、汽船の發明並にこれが普及と共に大洋と大陸とは幾多の交通路が通じ、世界交通が實現した。更に二十世紀には飛行機が發達して空中までも征服されるやうになつた。

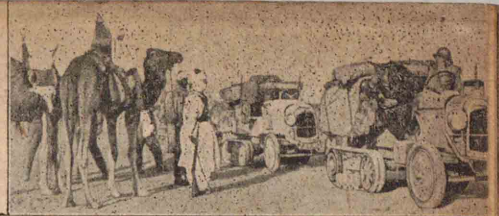
〔道路〕 往時は最も重要な陸上交通路であつた。原始時代には

第七章 交通

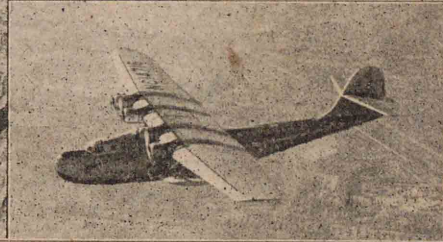
工品を輸入する。これ等の諸國は多く出超を示すが、貿易外では支拂が多い。我が國は世界有數の貿易國で、殊に最近の發展は目覺ましく、歐米の先進貿易國と堂々角逐して新市場を開拓してゐる。



サハラ沙漠の
横斷自動車



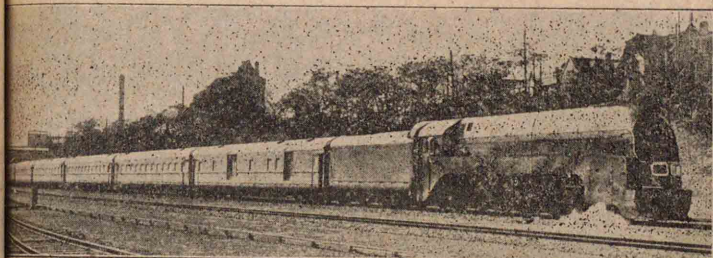
臺燈空航



艇行飛大の路空航洋平太南



クヤるけ於に藏西

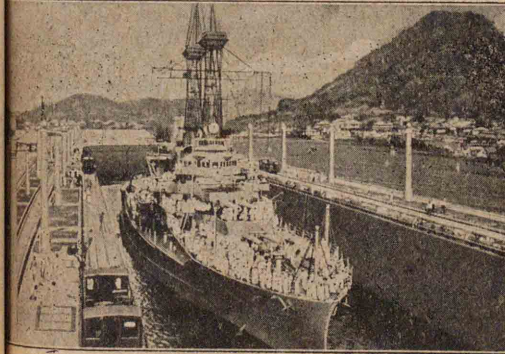


車列形線流の道鐵洲滿南

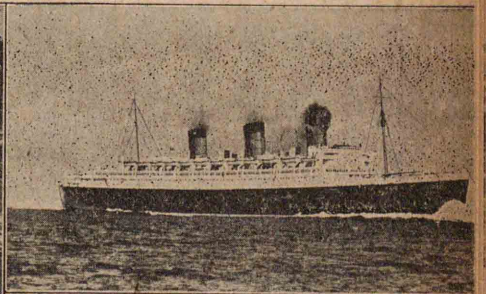


號一リメンイク船商の大最界世

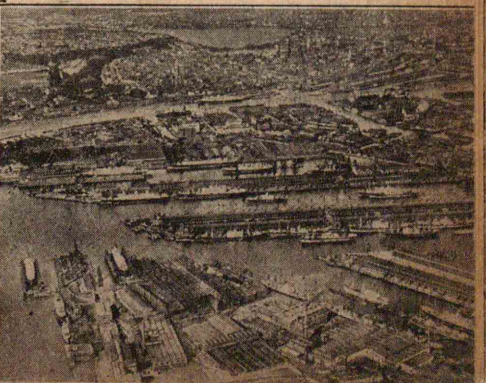
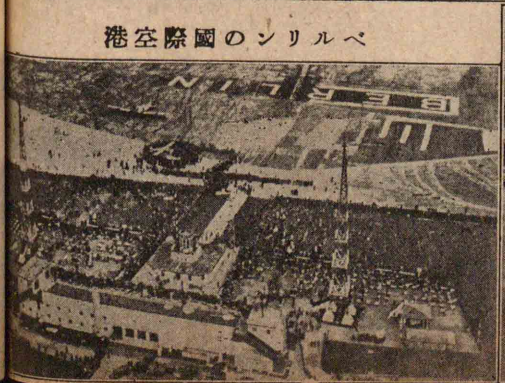
河運マナバぶ結を洋兩西大平太



港空際國のソリルベ



渠船の港グルブソハ

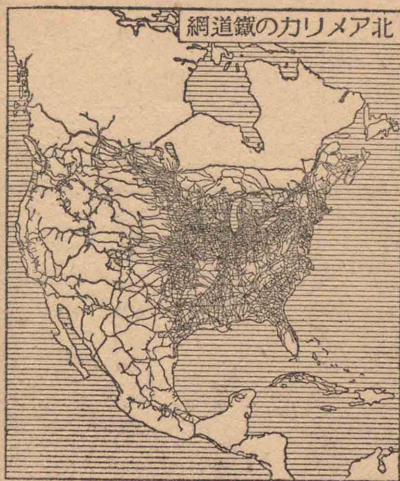


列國の自動車數

アメリカ合衆國	二億七千三百萬
フランス	二、〇〇〇萬
イギリス	一、九〇〇萬
カナダ	一、二七〇萬
ドイツ	七六〇萬
オーストラリア	五七〇萬
イタリヤ	五三〇萬
アルゼンチン	二九〇萬
ニュージーランド	一七五萬
ベルギー	一五五萬
日本内地	三三萬

一定の道路がなく、所謂踏分路を利用した。今日でも未開地には踏分路があり、沙漠の隊商路もその一種である。文化が進むにつれて、完備した道路が主要となつたので、加工路が作られ、木材、石材、煉瓦、セメント、アスファルト等で舗装されてゐるものも多い。今日文明國には到る所に加工路が設けられてゐる。

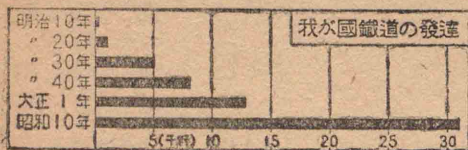
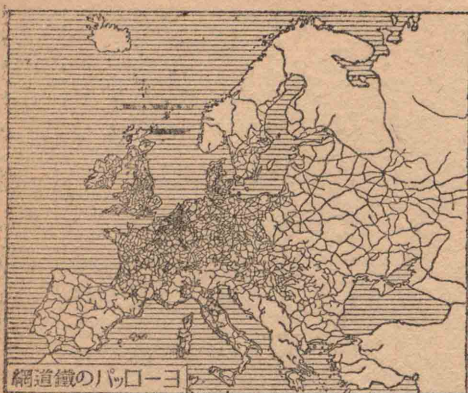
〔自動車〕 比較的輕便な上に速力と運搬力とが大であり、剩さへ、地勢の支配を受けることも少いので、今や短距離交通に大いに貢献し、これがために鐵道の普及によつて失はれた道路の交通上の價値は著しく恢復された。世界の自動車數の八割はアメリカ合衆國にあり、フランス、イギリス、カナダ、ドイツ等がこれに次ぐ。我が國の自動車數は僅か十五萬臺に過ぎず、列國に比して大いに遜色がある。



度を計る一標準となる。鐵道は敷設地方の地勢により平地鐵道、山間鐵道、登山鐵道、市街鐵道に、動力によつて蒸氣鐵道と電氣鐵道とに、軌幅によつて狹軌鐵道と廣軌鐵道とに分たれる。

列國中で鐵道延長の最も大きいのはアメリカ合衆國で、實に四十二萬軒に達し、又ソヴェト聯邦、ドイツ、印度、カナダ、フランス、オーストラリア、イギリス、アルゼンチン、ブラジル、日本等は、いづれも三萬軒以上の延長を有してゐる。面積に對する鐵道延長の最も長いのはベルギーで、面積百方軒につき三六六軒に達し、スウェーデン、イギリス、ドイツ、フィンランド、フランス、オランダ、ハンガリー等は、いづれも百方軒につき十

軌幅四呎八吋半のものを標準軌道と稱し、それよりも廣いものを廣軌、狭いものを狹軌と稱する。

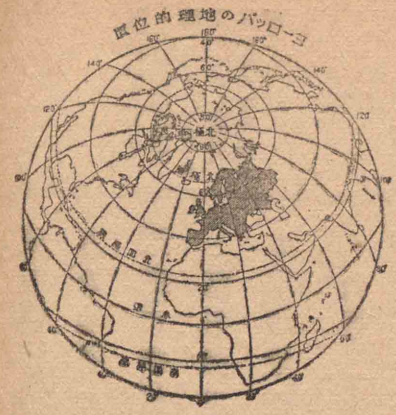


長延道鐵の國列

ベルギー	80
アメリカ合衆國	75
ソヴェト聯邦	70
ドイツ	65
印度	60
カナダ	55
フランス	50
オーストラリア	45
アルゼンチン	40
ブラジル	35
イギリス	30
メキシコ	25
南アフリカ	20
日本	15
イタリヤ	10
スウェーデン	5
イスパニア	5
オーストリア	5
ルーマニア	5
チロル	5

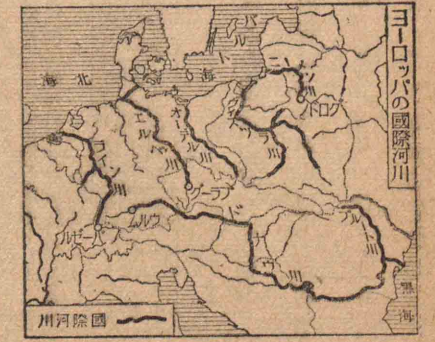
國際河川とは國際條約によつて世界各國の船舶の自由に通航することの出来る河川をいふ。

ヨーロッパの可航河川は十萬軒以上に達し、北海系統・バルト海系統・黒海系統・地中海系統に分たれる。



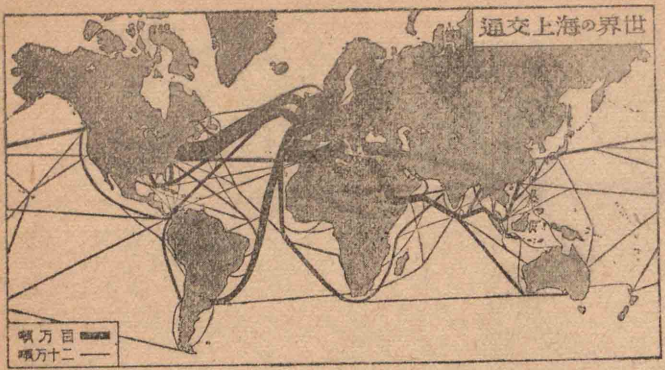
軒以上の密度を持つてゐる。我が國の鐵道延長は三萬二千軒で、百万軒につき四七軒に當り、その密度はアメリカ合衆國と略同じである。

〔内陸水路交通〕 河川湖沼内陸運河を利用する水上交通で、ヨーロッパ・北アメリカが最も發達してゐる。ヨーロッパの諸河川は概ね流れが緩やかで、水量が豊かであり、上流まで舟を通じ、剩さ

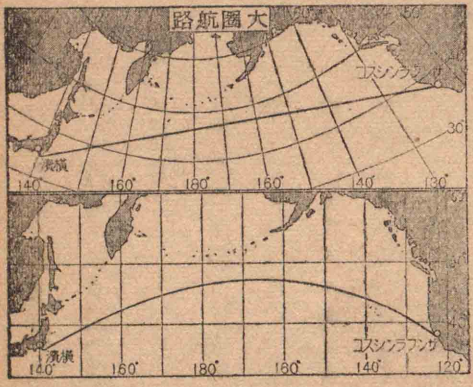


へ分水嶺が低く、河床の高度も大差がないので、多くの運河によつて連絡され、内陸交通に貢獻する所が多い。中にもライン・エルベ・オーデル・ヴィスツラ・ニーメン・ドナウ等の諸河川は國際河川とされて各國の船舶に開放されてゐる。北アメリカの内陸水路交通は五大湖・ミシシッピ川及び幾多の運河によつて行はれる。アジアの内陸水路では揚子江が著しい。

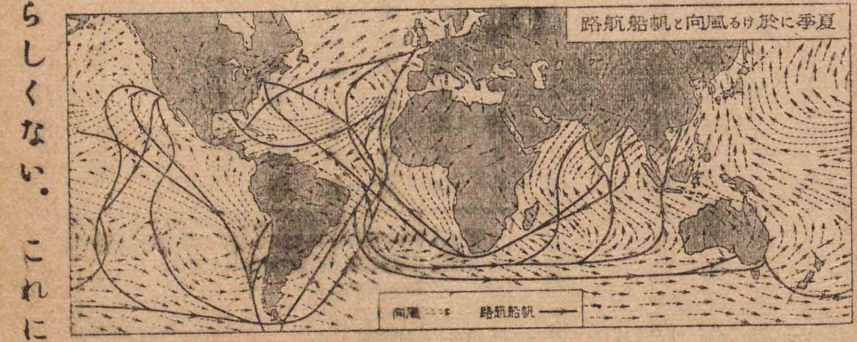
伊羅がニユーヨクから南洋を行くには大西米を横断して、大西洋から南米に下す風を利用して南

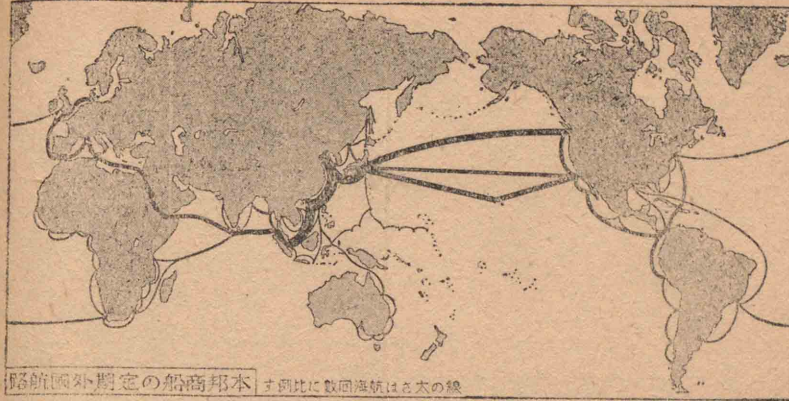


〔海上交通〕 海洋を利用する水上交通で、十六世紀の地理的發見時代以後大いに發達し、汽船の發明があつてからは遂に世界交通は海上交通といつても差支ないやうになつた。今日世界貿易の五分の四は海上交通によつてゐる。海上交通は廣大な海洋に自由に航路を設けることが出来るが、帆船は風向に支配されて、時には非常に迂廻航路をとることが珍らしくない。これに



今日世界貿易の五分の四は海上交通によつてゐる。海上交通は廣大な海洋に自由に航路を設けることが出来るが、帆船は風向に支配されて、時には非常に迂廻航路をとることが珍らしくない。これに





本邦主要外國航路 本邦主要外國航路 本邦主要外國航路

反し汽船は風向や海流に支配されることが少く、二點間の最短距離である大圏航路を航海するやうに努めてゐる。

〔世界の船舶〕 世界の商船總噸數は六千八百萬噸に達する。イギリスは約二千萬噸の船舶を所有し、世界第一の海運國としてユニオンジャックは世界のいづれの港にも見ない處はないと誇號してゐる。アメリカ合衆國は世界大戦中から有力になつた新進の大海運國で、約一千二百萬噸の船舶を擁してゐる。我が國は約四百二十萬噸の船舶を有し、英米に次いでゐる。ノルウェー、ドイツ、フランス、イタリア等も亦三百萬噸以上の船舶をもつ海運國である。

〔世界の主要航路〕 世界の海洋中、交通の最も頻繁なのは大西洋で、印度洋太平洋がこれに次ぐ。殊に北大西洋航路には世界船舶の約四割が就航する。又世界最大の巨船もこゝに往來する。南大西洋航路、地中海、アジア航路、北太平洋航路等がこれに次いで重要である。

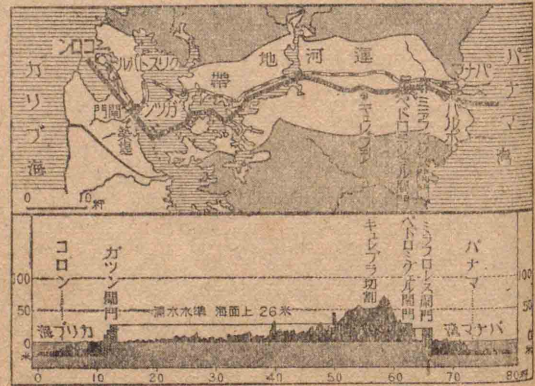
〔日本の航路〕 我が國の海運は世界大戦中から發達し、今や世界第三

- 本邦主要外國航路
- ヨーロッパ航路
- ロンドン線
- ハンブルグ線
- 北アメリカ航路
- シヤトル線
- 桑港線
- ニユーヨーク線
- 南アメリカ航路
- 世界一周線
- 南米西岸線
- 南米東岸線
- 東アフリカ航路
- 西アフリカ航路
- オーストラリア航路
- 印度航路
- カルカッタ線
- ボンベイ線
- 南洋航路



〔運河〕 世界の海上交通の幹線は概ね東西に走つてゐるのに對し、世界の大陸は多く北から南に延びてゐるので、海上交通は時には大迂廻をしなければならないことがある。

それ故、この迂廻を避けるために近年大陸のうちで自然的障碍の最も少い地峽に人工によつて水路を作り、船舶を通ずるやうになつた。スエズ、パナマの二大運河を始め、キール、コリント等の運河がこれである。運河の交通上の價値は運河の連絡する兩海面の交通状



	500(万噸)	1000	1500	2000
イギリス	[Bar chart showing 100%]			
アメリカ	[Bar chart showing 20%]			
日本	[Bar chart showing 65%]			
ノルウェー	[Bar chart showing 30%]			
ドイツ	[Bar chart showing 20%]			

列國汽船噸數比較



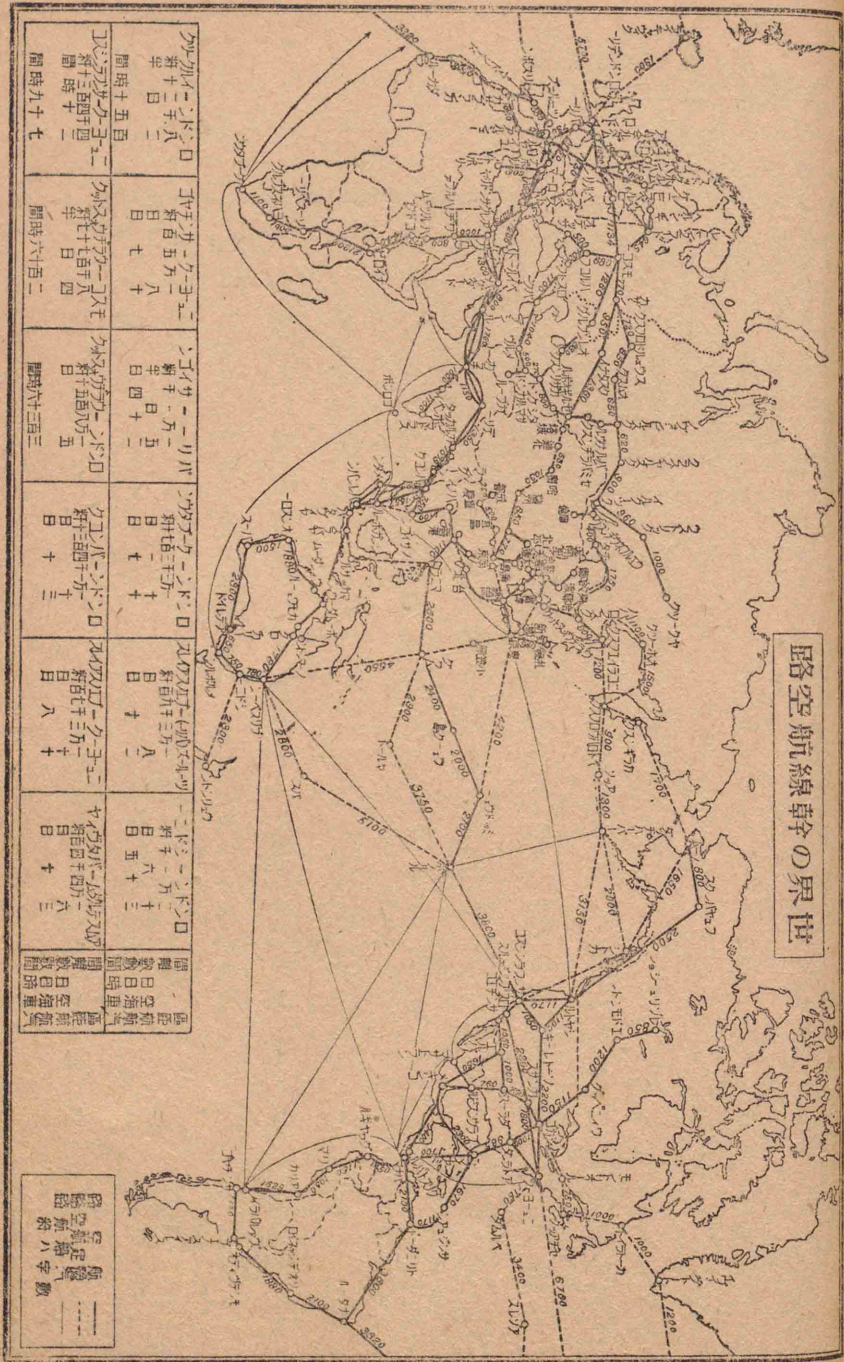
- 列國の民間航空機
- アメリカ合衆国 九、〇七
 - フランス 二、一八六
 - ドイツ 一、八七
 - イギリス 一、七六
 - イタリヤ 三、八
 - カナダ 三、六
 - 日本 三、三
 - ベルギー 二、六
 - オランダ 一、〇

況と、運河の利用から生ずる距離と時間との短縮によつて決定される。この點で第一位にあるのはスエズ運河とパナマ運河とである。

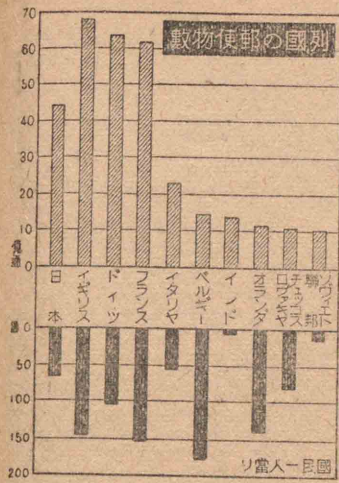
〔航空交通〕 航空機の始めは十八世紀に作られた輕氣球であつたが、十九世紀

末から飛行機、飛行船の研究が大いに進み、次第に實用化されるやうになつた。世界大戦中及び大戦後、軍事的交通の必要から各國とも、その進歩に全力を傾倒したので、非常な勢で發達した。航空交通は大圏航空路を自由に航行することが出來、又あらゆる交通のうちで最も快速である。併し、今日の所では天候の支配を受けることが大きく、航行の安全性と發着の規則性とに缺ける所があり、又大量輸送をなし得ない缺點がある。

〔世界の航空路〕 ヨーロッパと北アメリカとが最も發達し、稠密な航空路網が天空を被

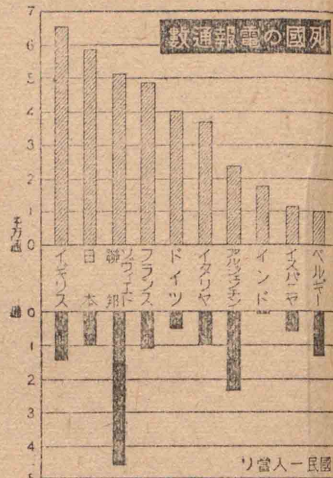


アメリカ合衆国	九、〇七	フランス	二、一八六	ドイツ	一、八七	イギリス	一、七六	イタリヤ	三、八	カナダ	三、六	日本	三、三	ベルギー	二、六	オランダ	一、〇
航空機	九、〇七	航空機	二、一八六	航空機	一、八七	航空機	一、七六	航空機	三、八	航空機	三、六	航空機	三、三	航空機	二、六	航空機	一、〇
飛行船	九、〇七	飛行船	二、一八六	飛行船	一、八七	飛行船	一、七六	飛行船	三、八	飛行船	三、六	飛行船	三、三	飛行船	二、六	飛行船	一、〇
航空機	九、〇七	航空機	二、一八六	航空機	一、八七	航空機	一、七六	航空機	三、八	航空機	三、六	航空機	三、三	航空機	二、六	航空機	一、〇



が經營してゐる。更に通信は國際的性質を持つてゐるから、各國は他の多くの國々と國際條約を結んで通信を益、圓滑ならしめてゐる。

【郵便】 書翰及び小形、輕量な物品を送達する。郵便制度は十五世紀から次第に發達し、今日では世界の國家はいづれも萬國聯合郵便條約に加盟し、國際間でも低廉迅速に通信することが出来る。



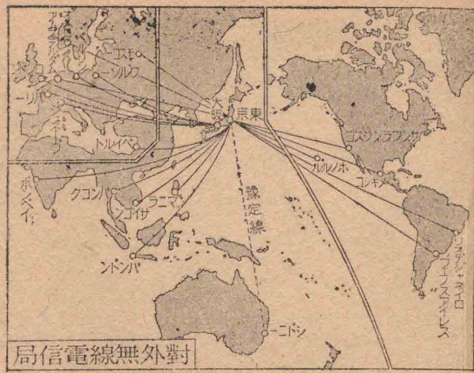
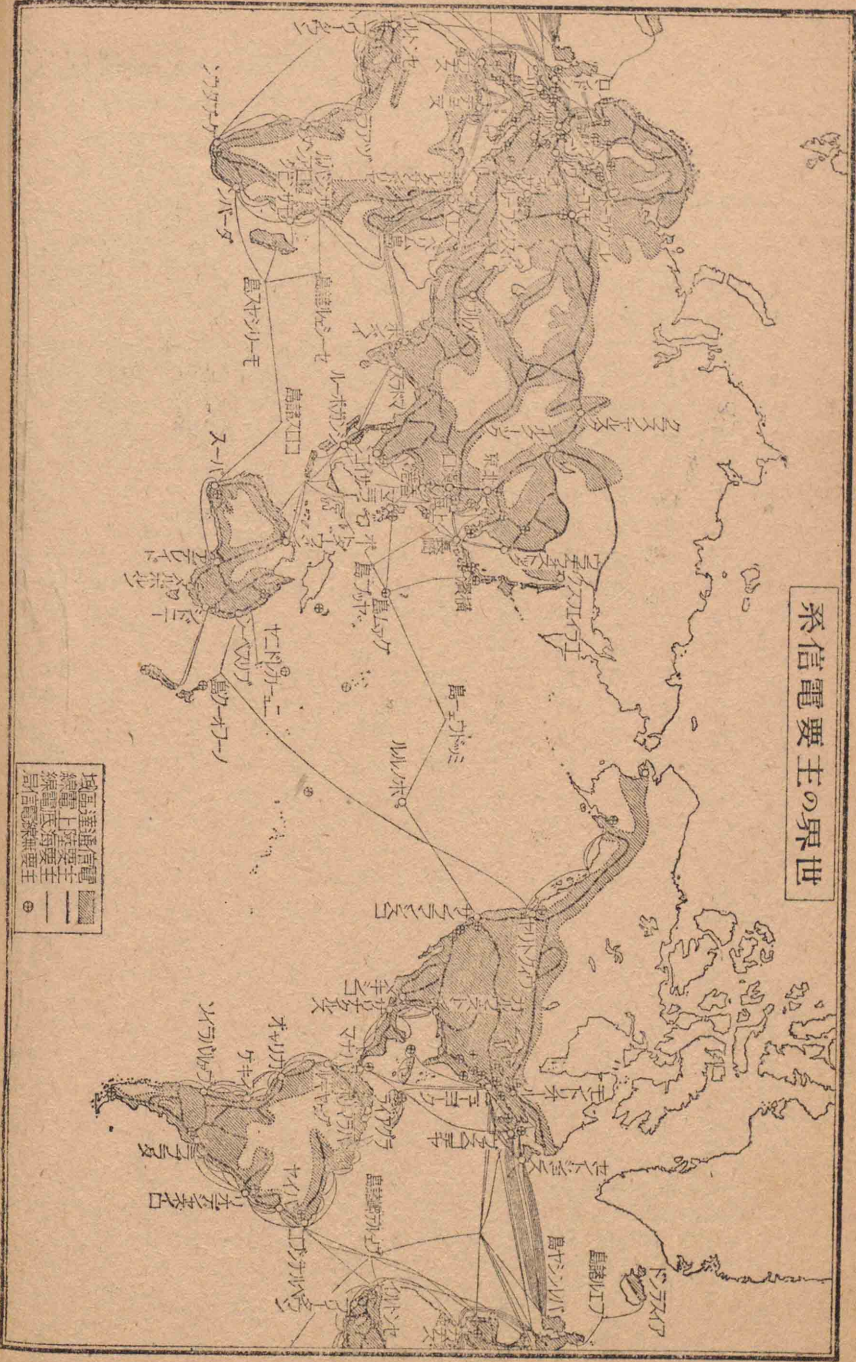
我が國の郵便制度は明治四年に始まり明治十年には萬國郵便條約に加盟し、その後長足の進歩を示し、今日では歐米各國に比して少しも遜色がない。國內滿洲國、中華民國各地とは國內料金で通信することが出来、又他のいづれの外國に對してもすべて均一の料金で差支へない。尙ヨーロッパに向ふ郵便物はシベリヤ經由、エズ經由北アメリカ經由の三線がある。

【電信】 電線を通じて通信するもので、迅速なのがその特徴である。陸上電線の延長の最も大きいのはアメリカ合衆國で、フランス、ドイツ、イギリス等がこれに次ぐ。我が國の電信は明治二年に始まり、同十二年には萬國電信條約に加盟し、その後著しく發展して今日では國內到處に電信を通じてゐる。

【海底電線】 一八五一年に英佛間に設けられたのを始めとして、その後著しく普及し、大西洋横斷線、太平洋横斷線も設けられ、大陸間の通信が著しく促進された。イギリスが世界の海底電線の大部分を有し、アメリカ合衆國がこれに次ぐ。我が國の海底電線は明治以後、内地主要島嶼間を始め、各植民地、滿洲國、中華民國等との間に設けられた。そのうち小笠原島に通ずる線はアメリカ合衆國の太平洋横斷線と連絡する。我が國海底電線中には國際的な大幹線がなく、ヨーロッパ、アメリカ等と通信する時は多くイギリス、アメリカ合衆國等の電線によつてゐる。

國名	2(万円)	4	6	8
日本	8	8	8	8
イギリス	8	8	8	8
ドイツ	8	8	8	8
フランス	8	8	8	8
イタリア	8	8	8	8
ベルギー	8	8	8	8
インド	8	8	8	8
オランダ	8	8	8	8
スイス	8	8	8	8
ノルウェー	8	8	8	8
フィンランド	8	8	8	8
デンマーク	8	8	8	8

通信電要主の界世



設備があり、又各都市をつなぐ設備も非常によく發達してゐる。

〔無線電價〕 建設費が比較的低廉な上に、航行中の船舶、飛行中の航空機、進行中の列車、自動車とも通信することが出来るので、急に各國に擴まり、今日では大電力を用ひて大陸間の通信にも利用されてゐる。アメリカ合衆國が最も發達し、イギリス、ドイツ、フランス、スイタリヤ等でも亦盛大である。我が國の無線電信も近來長足の進歩を示し、航行中の船舶との通信はもとより、植民地やアジア、南北アメリカ、ヨーロッパ等の各地とも通信を交換する大無線電信局が設けられてゐる。

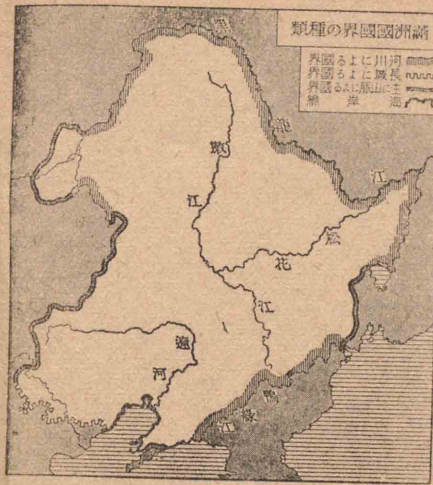
〔電話〕 アメリカ合衆國が最も發達し、ドイツ、イギリス、フランス等がこれに次ぐ。我が國の電話は明治十年に始めて京濱間に設けられ、三十二年には東京大阪間に長距離電話が通じた。今日では全國の都市にはいづれも電話の

第八章 政治

〔國家〕 人類は孤立して生活することがなく、常に何人かの人々が集まり、社會を作り、共同生活を營んでゐる。國家は社會の一であつて、一定の人々が共同の目的を以て一定の土地に定住し、唯一の權力

我が國・イギリス・滿洲國等は立憲君主國の代表であり、アメリカ合衆國・フランス・ドイツ等は立憲共和國の代表である。ソヴェエト聯邦も亦共和國の一つである。

複合國とは自治國をもつ數國または數州を集めて組織せる國家である。單部國とは連結せる地方から成り、複部國は分離してゐる地方から成つてゐる。ポーランドは前者、アメリカ合衆國・ドイツは後者の例であり、又日本の如き島國も後者に屬する。



によつて統一せられる。國民領土及び主權が國家の三要素であつて、これ等の一つを缺けば國家は成立せず、又この三要素の實質の如何によつて國家に大小強弱の別が生ずる。

〔國家の種類〕これ等の國家は主權の所在を標準として君主國、民主國又は共和國とに、主權行使の形式を標準として立憲國と專制國とに分たれる。かつては專制の君主國が多かつたが、今日では世界の

文明國はいづれも立憲國となり、專制國は殆ど跡を絶ち、君主國の數も非常に減じた。又國家は組織の上から單一國と複合國とに分けられ、民族の數の上から單族國と複族國とに分けられる。標準として單部國と複部國とに分けられる。

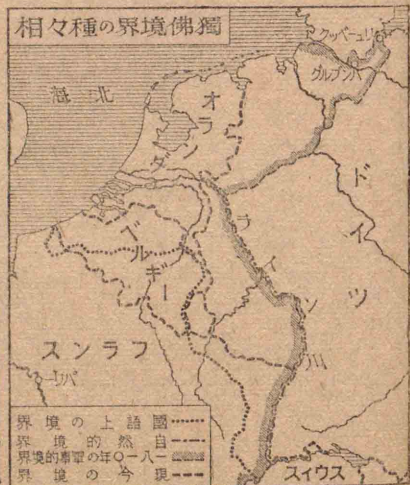
〔國境〕國家の領域を限定する境界線を國境と稱する。國境には自然的國境と人為的國境とがある。山脈・河川・湖沼・森林等の地形、その他



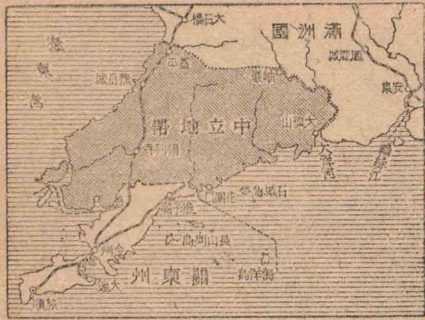
昭和十五年七月二十四日
第七師團司令部 偵察圖

國境は實際は線ではなく、地帯である。世界大戰後改造せられたヨーロッパの國境には民族分布線に基づいたところが多い。經緯線による人為的國境を特に數理的國境と稱する。

の自然的物事を利用したものを自然的國境といふ。宗教言語民族等を標準にした境界も亦これに加へられる。これに對してかくの如く顯著な自然的物事がないので、經緯線・城壁・柵・塹壕等によつたものを人為的國境と稱する。國境附近は國際上の紛争が起り

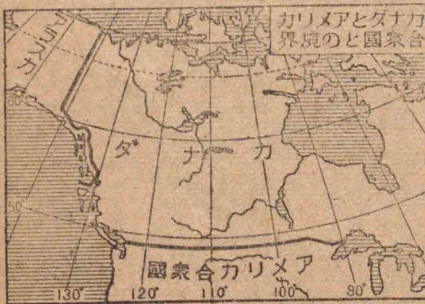


國境の上 諸國
自然の境界 〇—八—
人為的の境界 〇—一—
現 況 〇—二—

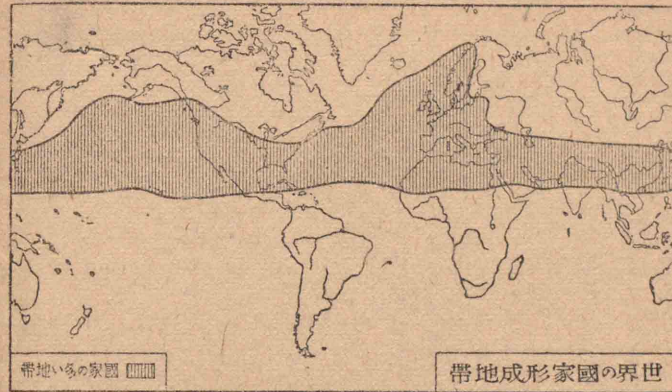


易いので、各國とも防備を嚴重にして他國の侵入に備へ、又時には中立地帯を設けて衝突を避けるやうに努めてゐる。

〔領土〕國境にとり圍まれ、一國の主權の及ぶ地域をその國の領土と稱する。國家の主權は領土の上空及び地下に及ぶばかりでなく、海洋に臨む場合は海岸から三哩



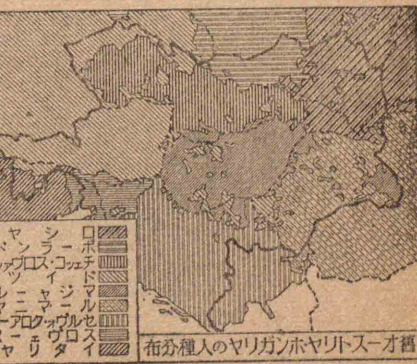
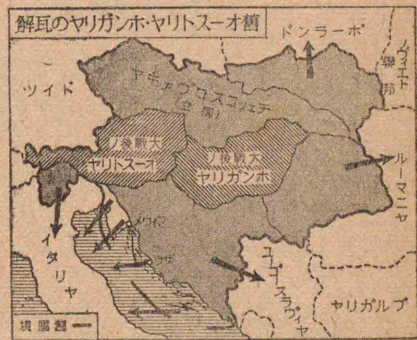
自國人口に對する隣接國全體の人口統計を壓力比と稱し、人口數から見た一國の危險率を表はす證左となる



世界國家の形成地帯

はその統一上不利が多い。又他方では一民族で幾つかの國家を作つてゐるものもある。世界大戰後は一民族一國家を方針とする民族自決主義が唱へられた。

ある。世界大戰後は一民族一國家を方針とする民族自決主義が唱へられた。

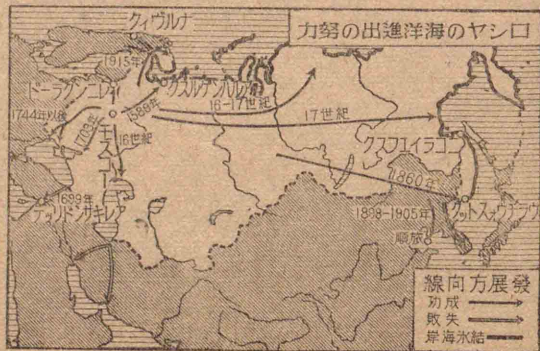
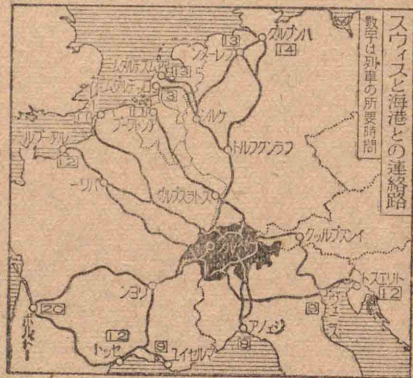


〔國家の位置〕 世界の諸國家は概ね温帯又は濕潤亞熱帯に位してゐる。殊に北半球の温帯地方に多く集中してゐる。これに反し、寒帯地方、亞熱帯の乾燥地方、熱帯地方には國家が乏しい。これは氣候が人類の生活資料や能力に強い影響を與へるためである。

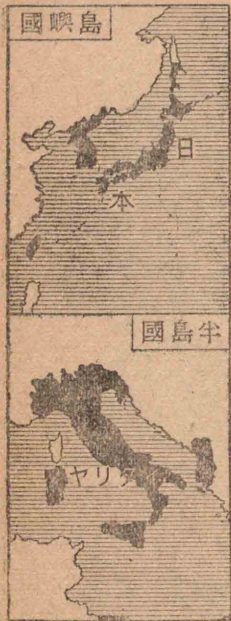
海洋に對する位置によつて、國家は内陸國、海濱國、島嶼國に分けられ

年平均氣温零度以下の地方や又それ以上の氣温をもつ地方でも、沙漠・荒蕪地・密林帯は文化の發達を阻害し國家の形成を著しく妨害する。これに對して北半球の濕潤亞熱帯と温帯とは文明地帯で國家に富んでゐる。

る。世界の國家は概ね海濱國で、内陸國及び島嶼國は少い。内陸國は世界の海上交通に参加せんがために常に海洋への出口を求め、島嶼國は交通上、軍事上、有利な地位を占めてゐるので、國內に資源が相當多い時は我が國やイギリスのやうな強國になるものがある。



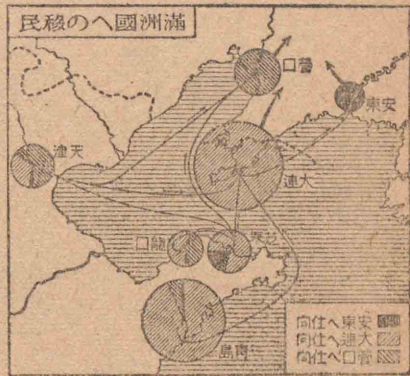
〔國家の成長〕 國家は人口の増大、經濟實力の増加等により絶えず成長しようとする。國家がその勢力を増大する前提として交通上、軍事上の要地である小地域を獲得することがある。これを國家の成長尖端と稱する。シンガポール、パナマ等がこれである。又國家が成長する



る前提として交通上、軍事上の要地である小地域を獲得することがある。これを國家の成長尖端と稱する。シンガポール、パナマ等がこれである。又國家が成長する

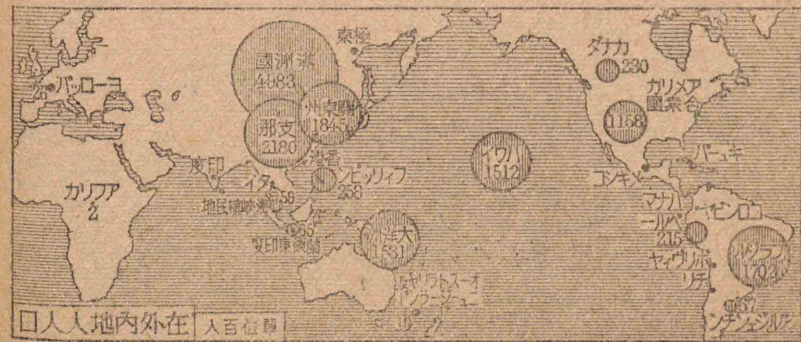
列國の本國面積

中華民國	九、八〇〇
ブラジル	八、三二一
アメリカ合衆國	七、八〇〇
ソヴェエト聯邦	七、七〇〇
(ヨーロッパ)	七、七〇〇
アルゼンチン	二、七五七
メキシコ	二、〇六九
イラン	一、六四四
ポリアヤ	一、三三三
滿洲國	一、三〇〇
ペルー	一、二〇九
コロンビア	一、一〇二
グアテマラ	一、〇〇〇



ワイアメリカ合衆國等に住む

〔植民地〕 國家は國力が増進すると新しい土地を獲得して過剰な勢力を移すことがある。本國以外に未開拓地を先占により、又は他國の領土を占領又は買収して得たる土地を植民地といふ。植民地獲得は主に過剰人口の解決、原料品、食料品の獲得、加工品の販賣等の經濟上の



列國の植民地面積

イギリス	三、〇〇〇
ソヴェエト聯邦	二、七〇〇
(アジア)	二、七〇〇
フランス	二、九四二
ベルギー	二、三六五
イタリヤ	二、〇〇九
ポルトガル	一、〇七九
オランダ	二、〇四二
アメリカ合衆國	一、八四三
イスパニヤ	一、三三三
日本	二、九二五
デンマルク	一、〇〇〇
移住植民地	
カナダ	オース
トラリヤ	
投資植民地	
印度	マレー諸
島	
商業植民地	
香港	シンガポ
ール	



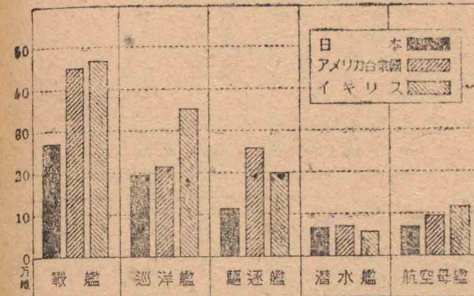
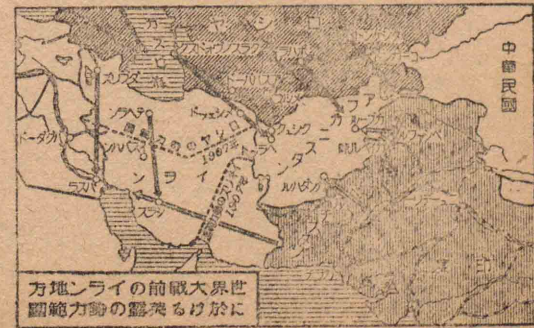
理由による。植民地には本國の移民を收容する移住植民地、専ら資本を投下して生産物を獲得する投資植民地、交通上、商業上の要地を占める商業植民地等がある。世界の主要植民國はイギリス、フランス、イタリヤ、オランダ、ベルギー等概ねヨーロッパにあり、他の地にあるものはアメリカ合衆國、日本等に過ぎない。殊にイギリスは世界最大の植民國で、その植民地は全世界に亙り、太陽の没する處のない英帝國を組織してゐる。

〔租借地〕 他國の領土を一定の期間借受けたものをいひ、中華民國に於けるイギリス、フランスの租借地、パナマに於けるアメリカ合衆國の租借地等がこれである。
 〔保護國保護領〕 一國が他國の主權の一部を握つてこの國の施政を監督する時、この他國を保護國又は保護領と稱する。マレー聯邦、バスターランドはこの例である。
 〔委任統治地〕 世界大戰の結果、ドイツ及びトルコの領土のうちで國際聯盟の監督のもとにイギリス、フランス、

今日では實質上滿洲國の一部とも見られる。保護國と保護領との差別は前者が國際團體内で國家を認められてゐるのに對し後者が認められてゐない點にある。

ベルギー・日本等が援助又は統治してゐる土地を委任統治地といふ。委任統治の形式にはA式B式C式の三種があり、それによつて委任國の施政方法に多少の差異がある。我が南洋群島はC式委任統治地である。
 【勢力範圍】 一國が他國の領土内の或地域で列國の承認を得た特權を有する時、この地域を勢力範圍といふ。

〔軍備〕 列國は互に親交和親に努めてはゐるが、成長しようとする國家間には利害衝突が起り易いので、列國は軍備を整へてゐる。最近列國は軍事費の負擔の多きに苦しんでゐるが、併し、苟も自國が他國から絶えず脅威される場合には何を措いても軍備を充實することが必要である。今日陸軍の優勢なのは日本、ソヴィエト聯邦、ドイツ、フランス、イタリヤ等で、海軍の有力なのは日本、イギリス、アメリカ合衆國等である。又最近空軍が著しく重要となり、列國はその充實に努めてゐる。これ等陸海空軍の用に供するために要塞、軍港、飛行場等が設けられてゐる。



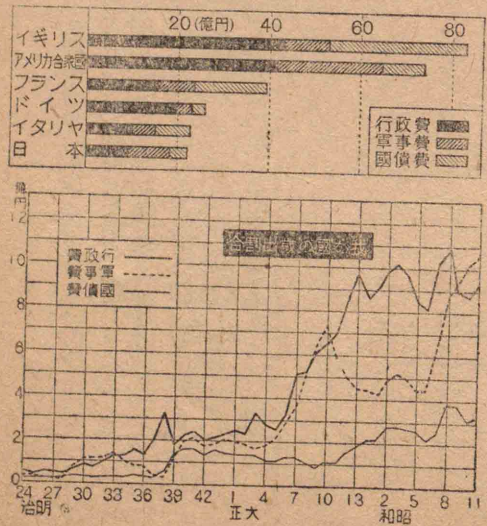
列國の歳出

列國	歳出 (億圓)
イギリス	八、三〇〇
アメリカ合衆國	六、三〇〇
フランス	三、六〇〇
ドイツ	二、五〇〇
イタリヤ	二、三〇〇
日本	二、二〇〇

列國の歳出比較

〔財政〕 國家がその存立の目的を達成するために營む所の經濟を財政といふ。財政は歳出をはかり、歳入を定めるを原則とする。歳出は軍事費、行政費、國債費等がその主なもので、歳入は租税、官業收入等により、尙不足する時は國債によつて補ふ。近年國家の目的が擴大し、列國の歳出は膨脹の傾向にあり、而も收入が概ねこれに伴はないので、國債は年々増加してゐる。

〔國民經濟〕 一國の國民はそれぞれに適當な生業に従事し、分業の利を收めてゐると共に、同時に又交換によつて結ばれて國民經濟を組織してゐる。國民經濟は近世國家の



十五世紀以後の地理的發見時代は近世の中央集權的國家の成立の時期であり、同時に國民經濟の發達の時期である。

特に多くの原料を世界市場に提供する國は原料供給國といはれる。

成立と共に發達して來たもので、國家の諸政策財政等の基礎である。

〔農業國と工業國〕 國民經濟の主たる産業が農業であるか、工業であるかに應じて、國家を農業國と工業國とに分つ。職業別の人口構成、輸出入の内容等はこれを示す證左である。農業國は多く原料品、食料品を供給し、工業品を需要するが、工業國は概ね原料品、食料品を輸入し、工業品を輸出する。イギリス、ドイツ、ベルギー、フランス、アメリカ合衆國等は主なる工業國であり、ソヴィエト聯邦、印度、中華民國等は主なる農業國である。

〔自給自足〕(アウタルキ)

國家が自己の消費する物資の多くを外國から輸入するのは有事の際に危険なので、列國はいづれも自給自足の確立に腐心してゐる。國家が自給自足を得て經濟的國家主義を確立するためには、領土が廣大で、生産物の種類と數量とが豊富でなければならぬ。然るに今日列強中では、條件を十分に備へてゐる國は一つもないので、いづれの國も容易に自給自足經濟を營むことが出來ず、強ひて一國內で自給自足經濟を營まうとすれば、國民の生活を非常に切り詰めて、物資の需要を甚だしく減じなければならぬ。

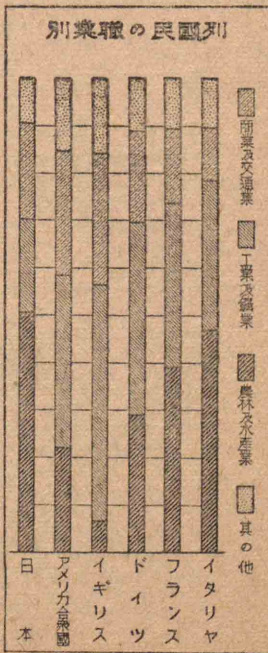
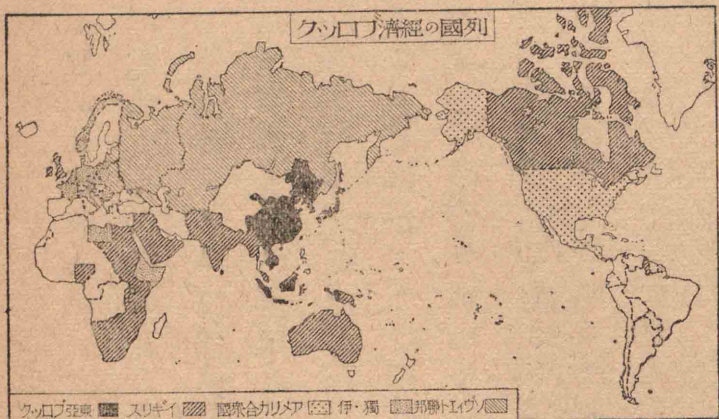
〔ブロック經濟〕 經濟的國家主義に基いて自給自足を確立しようとしても、容易に得られないので、幾つかの國が團結して一塊となり、廣い土地と豊かな産物とを基礎として、その間だけで自給自足經濟を營み、經濟上政治上の有力者にならうとする運動が近年起つて來た。これをブロック經濟運

アメリカ合衆國、中華民國、ソヴィエト聯邦等はアウタルキを得易い豊かな自然的條件をもつてゐる。

江戸時代の我が國は自給自足國であつたが、當時の國民一般の生活程度は非常に低いものであつた。

各ブロック面積

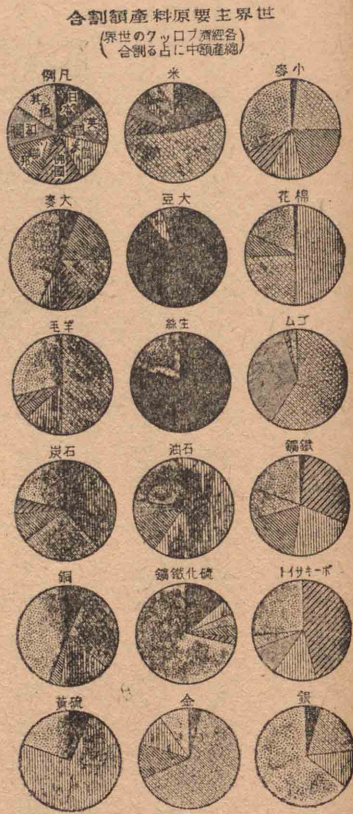
- 東亞 一、八九二
- ドイツ 二、七〇〇
- ソヴィエト聯邦 三、一七六
- アメリカ合衆國 二、三三三
- イギリス 三、一八六
- 各ブロック人口
- 東亞 百萬人
- ドイツ 七〇七
- ソヴィエト聯邦 一、七〇〇
- アメリカ合衆國 一、六〇〇
- イギリス 五、九〇〇



國際的分業が行はれる時は各國が自國にとつて最も生産條件の有利なものだけを作ることが出来る、そしてこのものを外國に輸出して、外國にとつて最も生産條件の有利な生産物と交換することが出来るので各國にとつて有利である。

動といひ、ブロック經濟の行はれる範圍を經濟ブロックと稱する。ブロック經濟は經濟的國家主義の上に立ちながらも、他方では國際的分業の利益をも或程度まで享受しようとするもので、今日の有力な經濟ブロックはアメリカ合衆國ブロック・イギリスブロック・ドイツブロック・ソヴィエト聯邦ブロック・東亞ブロック等である。

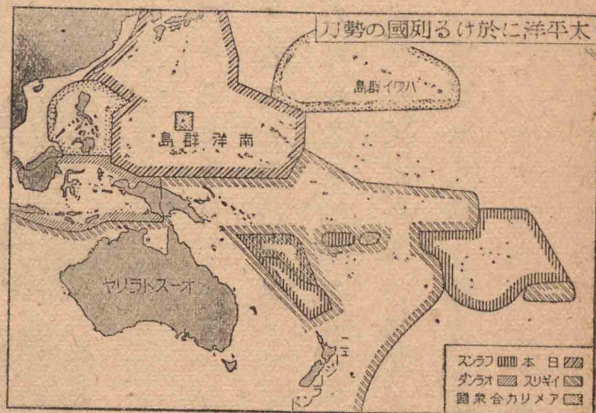
〔東亞經濟ブロック〕昭和七年の滿洲國建國後我が國はこれと提携して日滿經濟ブロックの建設に努めたが、更に昭和十二年支那事變後は親日新支那を加へて日滿支經濟ブロックの建設に進み、最近は更に南洋をも加へた東亞共榮圈の諸國を一體とする東亞經濟ブロックの建設に邁進してゐる。我等が既に學び知つたやうに、我が國は國土が狭小なため、生産物の種類が豊かであるにも拘はらず、各個の生産額は必ずしも多からず、且つ鐵・石油を始め、棉花・羊毛・生ゴム等の重要資源に恵まれず、國家の死活に關係の深い物資にしてこれを輸入に仰いでゐるものが少くない状態である。しかるに、滿洲・支那・南洋の



地は面積が廣大で、而も未開發の資源が豊富なので、この地域内に於ける經濟提携が成就し、我が資本と技術とに

よつてこれが未開發資源の開拓に成功すれば、これらの諸國が利益を享けることはいふまでもなく、我が國もまたこの豊かな物資を利用することが出来ることとなり、帝國の經濟力は實に世界に冠たるものになると信ぜられる。かくて、東亞經濟ブロックの建立される日こそ、我が國が世界の最大強國となる日ともいふべきである。

〔東亞新秩序の建設と我等の使命〕我が大日本帝國は建國以來ここに二千六百年、上に萬世一系の天皇を戴く萬邦無比の尊い國體の光はいやまに輝き、國運は隆々として榮え、今や世界最大強國の一



の種類が頗る多く、且つ國民の性能が優秀な上に、上御一人を中心として國民が一家の如く一致團結、産業の發達に、文化の向上に全力を傾注して來たことに負うてゐる。

而して、今や太平洋は世界に於ける經濟交通軍事上の中心となり、

アメリカ合衆國を始め、世界の列強は等しく太平洋及び東アジアに勢力を伸張しようとしてゐる。見よ、イギリスは南方から、ソヴィエト聯邦は北方から、アメリカ合衆國は東方から、こゝに進攻の體勢を採つてゐるではないか。實に太平洋及び東アジアの覇者たる者はよく世界の覇者たり得べく、この時に當り、アジア大陸東方の防波堤たる位置を占める我が大日本帝國は、列強の勢力に對應してよく太平洋及び東アジアを守り、アジアの盟主となり、アジアの平和を確立し、以てアジア人のアジアを建設し、世界の秩序維持、文化の向上に資し、八紘一宇、廣大無邊の皇道を世界に宣布すべきである。これがためには産業の躍進、軍備の充實に俟つところは實に多大である。然るに惜しいかな、我が國の産業の發達は未だ日が淺く、これを産業の繁榮、國富の充實について觀れば、尙列強に比して多少遜色のあるところがないでもない。併し、上に述べた如く東亞經濟ブロックの確立はこの憂を全く解消するものと期待される。

として全世界の指導的地位に昇るに至つた。殊に明治維新以來僅々七十年、産業に、交通に、軍備に、文化に、飛躍的發展を遂げ、國勢の充實は實に世界列強の驚異するところとなつてゐる。今日既に世界一の生産を誇るものは實に十を以て數ふべく、交通上に於ても太平洋の核心に位してゐる。

これ實に我が國がアジアの季節風帯に位置し、國土が南北に長いので各種の氣候を有し、加ふるに地形が複雑なために物産

今や帝國は滿洲國・新支那を始め、東亞の諸國と手を合せて東亞新秩序の建設に邁進してゐる。この東亞新秩序の骨幹とするところは東亞共榮圈に於ける諸國が提携して一體となり、政治經濟文化の各般に互り、互助連鎖の關係を樹立し、以て東亞に於ける國際正義を確立し、新文化を創造せんとするものである。而もこの新秩序建設の指導者は我が大日本帝國であり、これを完成することは帝國肇國の精神に淵源する聖なる使命であり、これを完成することは我等帝國臣民に課せられた光榮ある責務である。かゝる重大なる秋に當り、女子もよろしく男子と力を合せ、眞に舉國一致、この聖業の達成に邁進し、以て君恩に報い奉るの覺悟を持たなければならぬ。

〔終〕

附 録

地圖の描き方と讀み方

〔地表狀況の表現〕 地理學は地球表面の狀況を知ることが目的とするものである。それがためにはこれを表現する必要がある。而してこれには地球儀による方法と地圖による方法とがある。

〔地球儀〕 地球に象どつて作られた球模型で、その表面に地球表面の相貌や經緯度等が記入されてゐる。地球の眞の形を示すには最も理想的であるが、作成が面倒で、大きさに制限があり、又取扱ひも不便な缺點がある。

〔地圖〕 地球表面上の相貌を平面上に表現したもので、作成が比較的容易で、取扱ひも便利であるが、球面を平面に表すのであるから、根本的に無理があり、次の如き種々な描圖法があるが、そのいづれも距離方位・面積のうちどれかが不正確となる。従つて地圖は使用の目的に應じて適當な描圖のものを使用する必要がある。

〔投影法〕 地圖を描くには先づ經線と緯線とを正確に描かなければならぬ。これを描く方法には種々あるが大別して次の三方法とする。

一 透視圖法 一定點を視點として地球の經緯線を畫面に透視すると考へる圖法で更に

次の如く細分される。

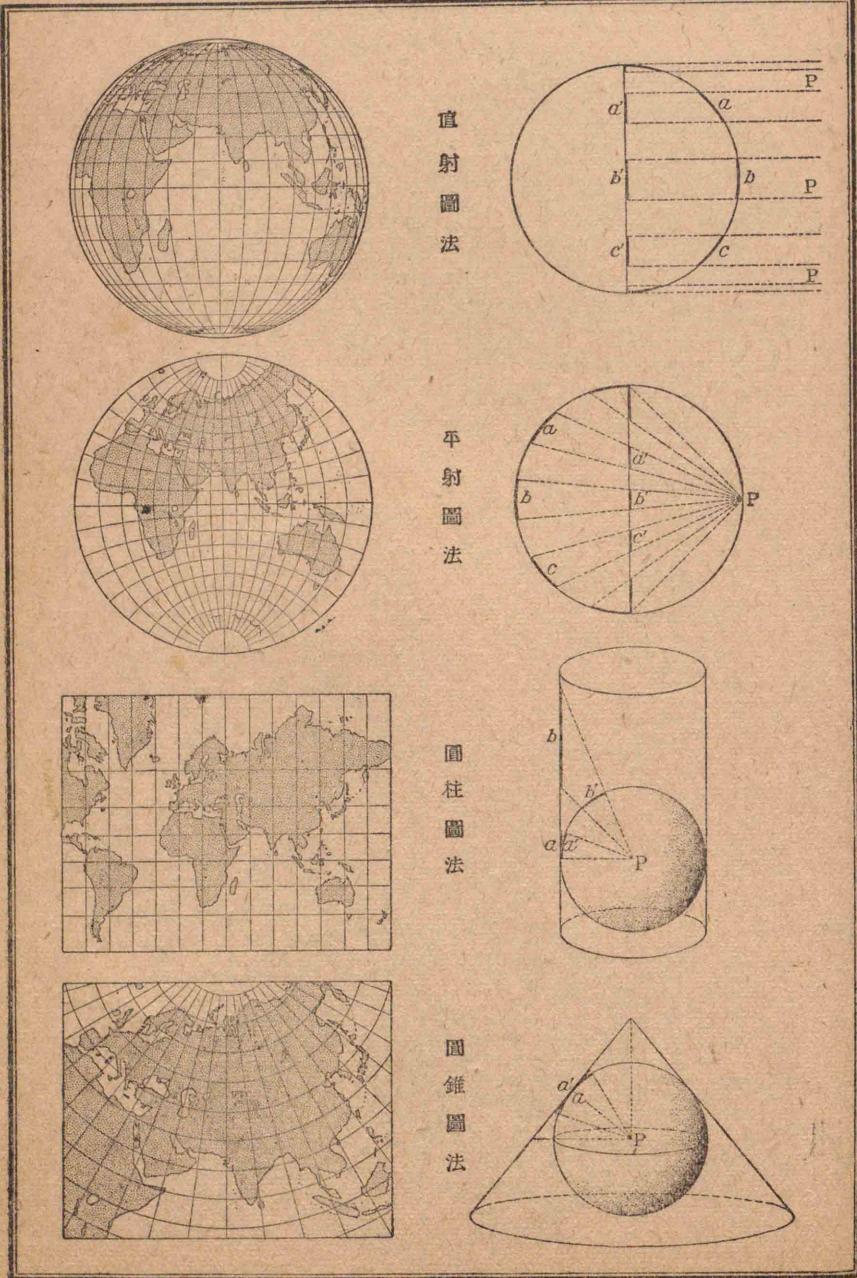
(イ) 直射圖法 正斜圖法ともいはれ、視点を無限大の距離に置いて、經緯線を地球の中心に立てた紙面上に投影する。無限大の距離からの光線は皆平行するので、赤道上方を見た場合には中央經線と緯線とは直交する。この圖法によると地球の中央部は誤差が少いが、周邊に近づくに従つて縮少し誤差が大となる。一般の投影法としては不適當であるが、半球面や月面圖を描くに用ひられる。

(ロ) 平射圖法 視点を地球表面上に置いて反対側を眺め、地球の中心に立てた紙面上に投影する方法で、視点を赤道上に置いた場合は、中央經線と中央緯線とは直交する。この圖法による地圖は周邊は誤差が少いが、中心に至るに従つて縮少し誤差が大となる。半球圖を描くに用ひられる。

(ハ) 心射圖法 大圈圖法ともいはれ、視点を地球の中心に置き、地表に切する紙面上に投影するもので、二點間の最短距離が常に直線で表れるのが特色である。

二 展開圖法 地球を圓柱形、圓錐形の紙面で包み、これに投影した後に紙面を展開する圖法で次の如きものがある。

(イ) 圓柱圖法 視点を地球の中心に置き、地球を取巻く圓柱形の紙面に投影したものである。この圖法の一の有名なメルカトル圖法は、赤道に於て地球に切する紙面に投影したものである。この圖法は方位を正しく表し、航海用として適當であるが、經緯間



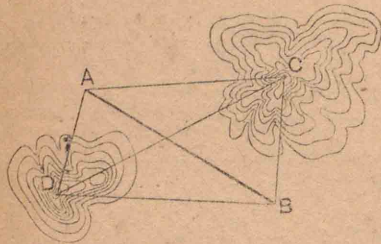
直射圖法

平射圖法

圓柱圖法

圓錐圖法

…… 録 附 ……



三角測量

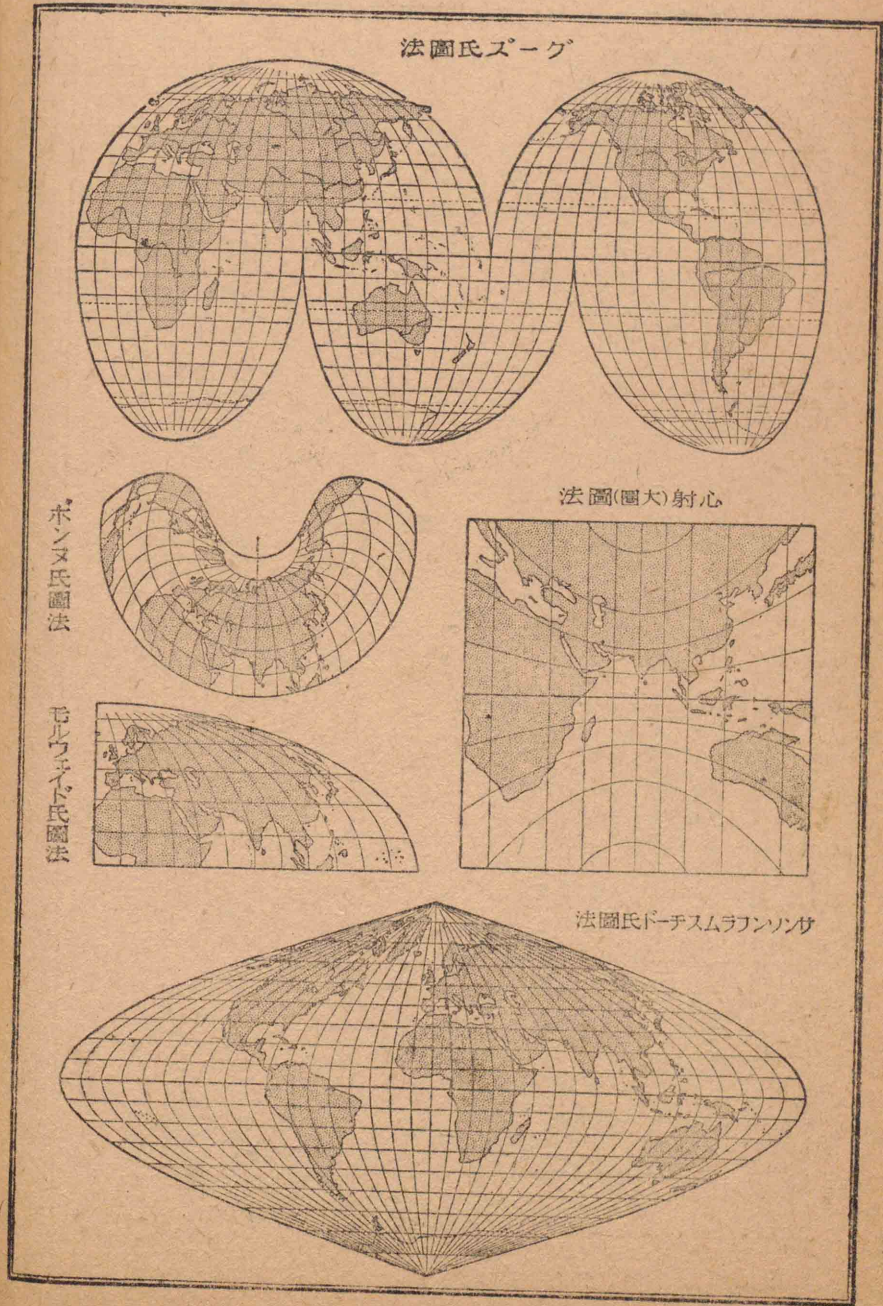
の距離はいづれの緯度に於ても同一であり、又緯線間の距離は基線メルカトル圖法では赤道を距るに従つて擴大され、遂に兩極は圖中に收められないのが缺點である。

ロ 圓錐圖法 視點を地球の中心に置き、或緯線で地球に切して地球を包んだ圓錐形の紙面に投影したもので、小地域を比較的正しく描くに用ひられる。尙紙面に切する緯線の部分は眞形に近いが、これから離れるに従つて眞形との差違が大となる。

三 任意圖法 以上の諸圖法を基礎として任意に工夫改良したもので、グーズ氏圖法、ボンヌ氏圖法、モルウェイド氏圖法等があり、それら、地圖の目的に応じて利用される。我が國の陸地測量部發行の諸地圖は概ね圓錐圖法に近似した圖法による。

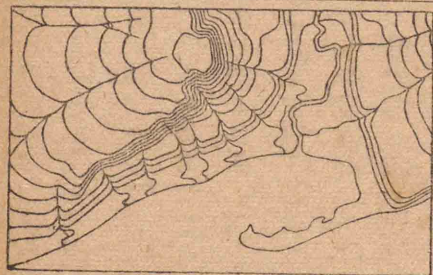
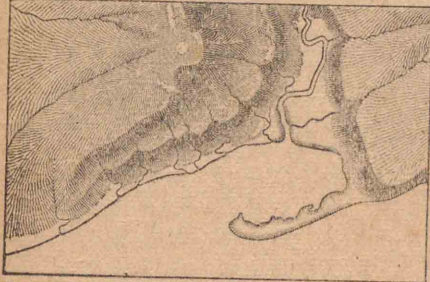
〔測量〕 新たに地圖を作るには、先づ精細な測量を行はなければならぬ。陸地測量部は我が國に於ける陸地測量の唯一の機關である。陸地測量は一般測量と地形測量とに大別される。一般測量は基準となるべき點を設ける測量で、三角測量と水準測量とに分ける。三角測量は基準點即ち三角點の位置を定める。先づ地表に基線を設けて精密にその位置と長さを測定し、これを基準として漸次に主要地點の位置を確定して行くのである。水準測量は標高を決定するものである。地形測量は以上の一般測量の結果を利用して地圖を作る測量の謂である。

〔地圖の描法〕 以上の測量によつて得た諸々の事項を投影を終つた紙面上に正確に記入して始めて地圖が作られる。地圖の描法のうちで最も重要なのは地形の表



地形描寫の一
例

中圖は上圖の
前景部を暈滲
式で描いたも
の、下圖は等
高線式で描い
たものである。



現法である。而してこれに次の三方法がある。

一、等高線式 等高線とは等しい高さを持つ諸點を連続的に結んで得られる曲線で、土地の各部の高さが正確に示されるのが特色である。我が陸地測量部の五萬分の一地形圖は等高線式によつて描かれてゐる。等高線の密な所は傾斜が急で、その粗な所は傾斜が緩かであつて、その粗密によつて土地の傾斜を判讀することが出来る。

二、暈滲毛羽式 等高線に直角な短い線の群を暈滲と稱し、これを用ひて土地の傾斜の状態を表す。その密で短い所は傾斜が急で、粗で長い所は傾斜が緩かである。

三、暈渲式

地圖に施された濃淡の色彩で、普通は褐色又は淡綠色を以て急斜面は濃く、緩斜面は淡く採色し、これによつて地上の起伏の狀況を表すのである。

〔地圖の種類〕 目的に応じて種々な地圖が作られてゐるが、その主なものは次のやうである。

一、地形圖 専ら陸地の形状を示す地圖で、前述の三方式のいづれかによつて、又それ等を併用することによつて地形を明示するものである。

二、地質圖 地質の狀況を示す地圖で、岩石の種類を色刷或は記號等によつて示し、又地層の傾斜・褶曲・斷層等の地質構造をも示したもので、これによつて地形圖では知ることの出来ない地盤の性質を知ることが出来る。

三、海圖 海洋の狀況を示す地圖で、數字で深度を示し符號で海底の狀況を示し、又潮流・海流の速度・性質・港灣の設備・航路標識海上から好目標となる山・建物等が記入され、航海に缺くことが出来ない。我が國では海軍省水路部が日本及び世界の海圖を作つてゐる。

四、産業圖・交通圖 土地利用・物産分布・交通狀況等を示す地圖で、各種の記號を用ひて記入する。

五、その他の地圖 天氣圖・航空圖・土性質・人種分布圖等、その目的に応じて種々なる地圖がある。

〔地圖の用途〕 地圖の用途は文明の進歩するにつれて擴大した。殊に我が陸地測量部刊行の地形圖の如き正確な地圖は軍事上・政治上・産業上・交通上・學術上・教育上・遊覽上等各方面に絶大な用途を持つてゐる。地圖を有効に利用するには地圖が如何に作成されるかを知つて、これを正確に讀み得るやうになつてゐなければならぬ。

〔讀圖の條件〕 次に地圖、特に陸地測量部刊行の地圖を讀む際の注意すべき事項のうち主なものを掲げる。

一、位置の見方 経緯度によつて調べることが出来る。
二、方位の見方 普通の地圖は上を北、下を南、右を東、左を西としてある。特別な場合は矢印によつて北を示すこともある。

三、距離の測り方 圖の二點間の距離をはかり、これを縮尺と照合すれば距離を概算することが出来る。縮尺とは地圖の標準となる部分に於ける線の長さが、その表す實際の長さに対する比率で、通常は一を分子とする分數の形で表される。

四、面積の測り方 測らうとする地圖と同じ縮尺で方眼紙を作り、その方眼の數によつて面積を概算することが出来る。

五、地形の見方 等高線、暈滯、暈渲に着眼すればよい。最も重要なのは等高線である。

六、植物の見方 潤葉樹林、針葉樹林、竹林、篠地、矮松地、荒地等は一定の記號で記入されるので、その記號によつて知ることが出来る。

七、産業交通の見方 土地利用その他産業關係や道路、鐵道等は一定の記號で記入されてあるから記號に注目すればよい。

八、聚落の見方 都市であるか村落であるか、又どんな種類の都市村落であるかは記號によつて判讀することが出来る。

(略名) 開成佐藤女概説

最新
女子地理概説



定價金 79 錢

昭和十二年七月二十四日印 刷
昭和十三年一月一日訂正再版印刷
昭和十五年十二月二十三日修正三版印刷
昭和十八年七月六日修正四版印刷
昭和十二年七月二十八日發行
昭和十三年一月五日訂正再版發行
昭和十五年十二月二十七日修正三版發行
昭和十八年七月十日修正四版發行

著者 佐藤 弘
發行者 東京都神田區岩本町三番地
中等學校教科書株式會社
代表者 山本慶治
印刷者 東京都小石川區西江戸川町二十一番地
富士印刷株式會社
(東東三三) 代表者 佐藤精亮

發行所 東京都神田區
岩本町三番地
中等學校教科書株式會社
日本出版會會員番號 一一七五二二

配給元 日本出版配給株式會社
東京都神田區淡路町二ノ九

日
廿
四
星
管
君
子

日彰館高等女学
五升

庫
3
44

広島大学図書
2000080144

